令和５年度
（2023年度）

学生の栞

シラバス（授業要綱）

２年次

学籍番号

氏　　名

福岡医療短期大学

歯科衛生学科

建学の精神

歯科衛生学に関する専門の学術を教授研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学の進展に寄与する

教育の理念

本学は、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、歯科衛生士に必要な専門の知識と技術を教授研究し、教養と良識を備え、口腔医学に基づいた歯科医療を実践できる有能な人材を育成するとともに、もって医療、保健、福祉に寄与する」（学則第１条）ことを使命とする。

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成が強く求められている。これらの社会的要請に応えるために、幅広い知識と高度な技術を兼ね備えた歯科衛生士の養成を目指す。

福岡医療短期大学　歯科衛生学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学科は、卒業認定･学位授与の方針（ディプロマ･ポリシー）及び教育課程編成･実施の方針（カリキュラム･ポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる「知識・理解・技能」や「思考力・判断力・表現力」及び「態度・主体性」を備えた人を求めます。

1　入学後の修学に必要な基礎学力としての知識・理解や実技を行う能力を有している。（知識・理解・技能）
2　物事を多面的かつ論理的に考えることができる。（思考力・判断力）
3　自分の考えを的確に表現し伝えることができる。（表現力）
4　対話を通して、相互理解に努めようとする態度を有している。（態度）
5　口腔保健に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。（主体性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、医療人としての自覚と倫理観を持ち、生涯を通じた口腔の健康管理、要介護者および高齢者や障がい者への専門的口腔ケア（口腔介護）を実践できる歯科衛生士の養成を目的にカリキュラムを編成しています。１年次から３年次へと体系的・順序性を考慮して「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「選択必修分野」にわけて、カリキュラムを編成し、講義、実習を適切に組み合わせた授業を開講しています。カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連、学修の段階や順序等を表した番号をふるナンバリングを行い、カリキュラムの構造をわかりやすくシラバスに明示しています。

（教育内容）

1　「基礎分野」（知識・理解、態度・主体性）
　生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士の育成を目指します。また、グローバルな対人コミュニケーション能力を身につけた人材を育成します。

2　「専門基礎分野」（知識・理解、態度）
　高度化および専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解した人材を育成します。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、歯や口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組みを理解し、地域における関係諸機関等との連携ができる能力を持つ人材を育成します。

3　「専門分野」（知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性）
　生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾病やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、生活環境や全身状態が多様な個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導を実践する能力を身につけた歯科衛生士を育成します。また、「歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士」、「福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、専門性を発揮できる歯科衛生士」、「キャンパス内外の介護保険施設等での臨地実習では多職種と連携し、要介護高齢者や障がい者の口腔介護を実践できる歯科衛生士」、「口腔および全身介護の実践で必要となる生活介護や身体介護を修得し、超高齢社会に対応した知識・技能を身につけた歯科衛生士」の育成を目指します。

4　「選択必修分野」（知識・理解、表現力、態度・主体性）
　すべてのライフステージにおける口腔保健管理のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観や、生涯にわたって学修を継続する意欲を持ち、また、アジアに視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身につけ、国際的にも活躍できる歯科衛生士の育成を目指します。

（教育方法）

1　主体的に学ぶ力を高めるために、アクティブ･ラーニングを取り入れた教育方法を実践します。（思考力･判断力、態度・主体性）
2　教育効果を上げるために、シラバスに学修内容や準備学修の項目を設け、ホームワークやレポートは整合性や連続性を図ると共に、形成的評価のための学期中のフィードバックを行います。（知識・理解）
3　目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを３年間かけて作成し、自己の学生生活を自分

自身で管理し、「ふりかえり」を行います。（態度・主体性）
4　国家試験に必要な専門的知識の修得確認のために外部テスト（歯科衛生士模擬試験）を導入し、結果のモニタリングを行い、自己学修の推進を図ります。また、模擬試験や国家試験対策のための時間を設定し、２年次から段階を追った学修プログラムを実施します。（知識・理解）
5　臨床･臨地実習は、指導教員および実習指導者から助言を受けながら知識や技能を深め、また、小グループでのグループ学修により他者の意見も聞き、考えを広げ、専門知識を活用した問題発見や問題解決の方法の修得を図ります。（知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性）

（教育評価）
1　履修した各講義や実習科目においては、シラバスに明記された評価方法に従い、学期末毎の学修到達度の評価を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
2　各年次において、修得すべき全単位を取得した場合を進級とします。
3　３年次臨床・臨地実習の期間に、身に付けるべき能力の修得について評価します。臨床・臨地実習試験の不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
4　３年次期末に、それまでの専門基礎分野および専門分野の修得を確認する「卒業試験」を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学科では、建学の精神を基本理念とし、下記（Ⅰ）の目指すべき人物像に向けて、本学の学位プログラムの課程を修め、すべての単位取得を充たした上で、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変化に対応した専門知識・技術を修得し、下記（Ⅱ）の能力を身につけた者に卒業認定を行います。

Ⅰ　目指すべき人物像
豊かな教養と人間性を持ち、口腔保健の専門性を発揮するとともに、多職種と協働、連携し、歯科衛生士のリーダーとして活躍できる人物。

Ⅱ　修得すべき能力
（知識・理解）
1　歯科衛生士として豊かな教養と人間性を持ち、基本的な医療・保健・福祉の知識を体系的に理解し、多様な対象者を支援することができる。

（思考力・判断力）
2　多様な情報や知識を論理的に分析、考察することができる。
3　科学的思考力を持ち、口腔保健活動における問題を発見・解決することができる。

（態度・主体性）
4　医療人としての自覚と倫理観を備えている。
5　口腔の健康管理に関心を持ち、生涯にわたって学修を継続することができる。
6　自己管理力や主体性を発揮し、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。
7　国際交流にも視点をおいた多様な対象者に対して幅広いコミュニケーションを図ることができる。

（技能、表現力）
8　根拠や理論に基づいた口腔保健管理のための知識や技能を活用し、対象者の生活の質（QOL）の向上を図ることができる。

別　表　Ⅰ　　歯科衛生学科（１・２年生）

科目			科目番号	時間数	単位	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	DH011001	30	1	30					
		情報処理概論Ⅰ	DH011002	18	1		18				
		情報処理概論Ⅱ	DH021003	18	1			18			
		情報処理実習Ⅰ	DH011004	42	1		42				
	5	情報処理実習Ⅱ	DH021005	42	1			42			
	人間と社会生活の理解	経済学	DH021011	30	1			30			
		英語Ⅰ	DH011012	60	2	30	30				
		英語Ⅱ	DH021013	30	1			30			
		キャリアデザイン	DH021014	20	1				20		
		健康生理学Ⅰ	DH011015	30	1	30					
12	7	健康生理学Ⅱ	DH011016	30	1		30				
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	DH011101	30	2	30					
	4	全身疾患の病態・生理	DH021102	30	2			30			
	歯・口腔の構造と機能	口腔組織学	DH011111	30	2	30					
		口腔解剖学	DH011112	30	1		30				
		口腔生理学	DH011113	30	2	30					
	7	口腔生化学	DH011114	30	2		30				
	疾病の成り立ちと回復の促進	口腔病理学	DH011121	30	2		30				
		口腔微生物学	DH011122	30	2	30					
	6	歯科薬理学	DH011123	30	2		30				
	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	DH011131	30	2	30					
		口腔衛生学Ⅱ	DH011132	30	2		30				
		歯科衛生統計	DH031133	18	1					18	
		衛生学・公衆衛生学	DH021134	30	2			30			
		衛生行政	DH031135	18	1					18	
26	9	社会福祉論	DH031136	18	1					18	
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	DH011201	30	1	30					
	2	看護学総論	DH021202	30	1				30		
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	DH011211	30	1	30					
		歯科保存修復・歯内治療学	DH011212	30	1		30				
		歯周病治療学	DH021213	30	1			30			
		歯科補綴学	DH011214	30	1		30				
		口腔外科学	DH011215	30	1		30				
		小児歯科学	DH011216	30	1		30				
		矯正歯科学	DH011217	30	1		30				
		高齢者・障害者歯科学	DH021218	30	1			30			
	9	歯科麻酔学・歯科放射線学	DH021219	30	1				30		
	歯科予防処置論	歯科予防処置論（講義）Ⅰ	DH011221	20	1	20					
		歯科予防処置論（講義）Ⅱ	DH021222	18	1				18		
		歯科予防処置実習Ⅰ	DH011223	40	1	40					
		歯科予防処置実習Ⅱ	DH011224	40	1		40				
		歯科予防処置実習Ⅲ	DH021225	40	1			40			
		歯科予防処置実習Ⅳ	DH021226	80	2			80			
	8	歯科予防処置実習Ⅴ	DH021227	40	1				40		
	歯科保健指導論	歯科保健指導論（講義）Ⅰ	DH021231	20	1			20			
		歯科保健指導論（講義）Ⅱ	DH021232	18	1				18		
		栄養学	DH021233	30	1			30			
		食育	DH021234	24	1				24		
		歯科保健指導実習Ⅰ	DH011235	30	1	30					
		歯科保健指導実習Ⅱ	DH011236	30	1		30				
		歯科保健指導実習Ⅲ	DH021237	30	1			30			
	8	歯科保健指導実習Ⅳ	DH021238	30	1				30		
	歯科診療補助論	歯科診療補助論（講義）Ⅰ	DH011241	20	1	20					
		歯科診療補助論（講義）Ⅱ	DH021242	24	1				24		
		歯科材料学	DH011243	30	1	30					
		歯科診療補助実習Ⅰ	DH011244	40	1	40					
		歯科診療補助実習Ⅱ	DH011245	40	1		40				
		歯科診療補助実習Ⅲ	DH021246	40	1			40			
	7	歯科診療補助実習Ⅳ	DH021247	40	1				40		
	口腔・全身介護論	介護研修Ⅰ	DH021251	30	1			30			
		介護研修Ⅱ	DH021252	48	2				48		
		口腔・全身介護論	DH021253	24	1				24		
	5	口腔・全身介護技術	DH021254	32	1				32		
	臨床・臨地実習	臨床実習	DH031261	900	20					450	450
	20	(含口腔介護施設実習)									
	総括	口腔保健テーマ別講義	DH031271	60	2						60
63	4	卒業研究	DH031272	50	2						50
必修合計				2962	101	480	530	510	378	504	560
選択必修分野		コミュニケーションスキル＊	DH022301	30	2				30		
		接遇＊	DH022302	30	2				30		
		中国語＊＊	DH022303	30	2				30		
		韓国語＊＊	DH022304	30	2				30		
		物理学＊＊＊	DH012305	18	1	18					
		化学＊＊＊	DH012306	18	1	18					
		心理学＊＊＊＊	DH022307	30	2			30			
		倫理学＊＊＊＊	DH022308	30	2			30			
選択合計				108	7	18	0	30	60	0	0
総計				3070	108	498	530	540	438	504	560

講義15時間～30時間を１単位、実習30時間～45時間を１単位とする。
＊コミュニケーションスキルまたは接遇を選択　　＊＊中国語または韓国語を選択
＊＊＊物理学または化学を選択　　＊＊＊＊心理学または倫理学を選択

福岡医療短期大学試験、
成績の評価及び進級に関する規則

（平27.4.1適用）

（試験）

第１条　試験は定期試験、追試験、再試験及び卒業試験とする。ただし、必要に応じ随時に試験を行うことがある。

２　定期試験は、学期末又は学年末に各授業科目について行う。

３　追試験は、病気その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかった者に対し当該試験科目について行う。

４　再試験は、定期試験において不合格となった試験科目のある者（当該試験科目について）及び卒業試験に不合格となった者に対し、必要がある場合行う。

５　卒業試験は、学則第13条に定める別表Ⅰ、Ⅱの教育課程を履修した者に対して行う。

（試験方法）

第２条　試験は、筆記又は口頭による質疑応答又は実習、実技の審査によるほか、レポート、論文の審査又は平常の成績をもって替えることができる。

（受験資格）

第３条　次の各号の一に該当する者は試験を受けることができない。ただし、相当の事由がある場合は、仮に試験を受けさせることができる。

⑴　各授業科目について、出席日数が授業時間数の３分の２に達しない者及び実習については５分の４に満たない者

⑵　学則第33条の規定により現に懲戒（停学）処分中の者

⑶　学生納付金及び追試験又は再試験の場合における受験料を未納の者

⑷　その他短大学長の指定した者

（受験者心得）

第４条　受験者は次の各号に定める事項を遵守しなければならない。

⑴　試験開始後20分経過した後は試験場に入る（受験する）ことを認められないこと及び試験開始後30分までは退場を認められないこと。

⑵　試験場においては、必ず学生証（追・再試験の場合は追・再試験受験票、以下本号において同じ）を机上に提示すること　（当日学生証を忘れた者は、あらかじめ事務室で臨時学生証の交付を受けること。）。

⑶　試験場においては、指定の場所に着席すること。

⑷　試験場においては、指定ある場合を除きノート、教科書、参考書等を身辺に置かないこと。

⑸　試験場においては、監督者の指示に従うこと。

⑹　答案用紙は白紙でも学籍番号、氏名を明記し、提出すること。

⑺　試験に関する掲示に注意すること。

⑻　追・再試験を受けようとする者は、短大学長の許可を受け、受験料を納付し追・再試験受験票の交付を受けること。

（試験中の不正行為）

第５条　試験中不正行為を認めたときは、監督員は直ちに答案を没収し、退場を命ずるとともに試験終了後速やかに短大学長に報告しなければならない。

２　不正行為を行った者に対しては、当該学期の全受験科目の評価を無効とし、かつ、学則第33条の規定により懲戒処分を行うものとする。

（成績の評価）

第６条　試験の成績は、優･良･可･不可の評語をもって表わし、可以上を合格とする。ただし、再試験においては可又は不可とし、卒業試験においては合又は否とする。

（進級及び留級）

第７条　学則第16条の規定により、当該学年において修得すべき全授業科目に合格した場合は進級とし、不合格の科目がある場合は、短大学長が進級又は留級を決定する。

（留級者）

第８条　留級者は原則として当該学年において修得すべき全授業科目のうち特に免除された科目のほかの授業に出席し、試験を受けなければならない。

福岡医療短期大学試験、成績の評価に関する細則

（平31.4.1適用）

試験、成績の評価等の取り扱いについて

１　試験の成績における評語の点数区分等

試験の成績における各評語の点数区分は次のとおりとする。

なお、「優、良、可、不可」はそれぞれ「Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ」で表すこともできる。

⑴　定期試験等

優	（Ａ）	100点～ 80点
良	（Ｂ）	79点～ 70点
可	（Ｃ）	69点～ 60点
不可	（Ｄ）	59点～ 0点

⑵　卒業試験等

合	100点～ 70点
否	69点～ 0点

２　追・再試験の採点方法

⑴　追試験

点数は最高100点とする。

⑵　再試験

点数は最高60点とする。ただし、卒業試験の再試験は最高70点とする。

３　再試験欠席者の成績評価

⑴　再試験欠席者の成績（学年成績）の評価は、通常、定期試験の成績をもって代えるものとするが、これによることなく、担当教員が必要に応じてその他の方法により評価を行うことができる。

⑵　再試験の成績報告書において欠席の旨表示された者については、定期試験の成績をもってその学年成績とする。

福岡医療短期大学 ＧＰＡ に関する実施要項

（令5.4.1適用）

（目的）

第１条　この要項は、福岡医療短期大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「ＧＰＡ」という。）に関し必要な事項を定め、教育課程における学修到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、学修支援等に資することを目的とする。

（評価等）

第２条　学生が履修した授業科目のグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「ＧＰ」という。）は、次表のとおりとする。

区　分	グレード	１単位あたりのＧＰ	成績評価基準	学修成果の達成度
合　格	S	4	100点～90点	基準を大きく超えて優秀である
	A	3	89点～80点	基準を超えて優秀である
	B	2	79点～70点	望ましい基準に達している
	C	1.5	69点～60点	単位を認める基準に達している
	C *	1	再試験合格60点	単位を認める最低限の基準には達している
不合格	D	0	59点～0点	基準を下回っている

（ＧＰＡ の算定）

第３条　各学期の ＧＰＡ（以下「学期 ＧＰＡ」という。）及び累積の ＧＰＡ（以下「累積 ＧＰＡ」という。）は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

学期ＧＰＡ ＝

$$\frac{\text{（当該学期の履修科目の ＧＰ×当該科目の単位数）の総和}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

累積ＧＰＡ ＝

$$\frac{\text{（全学期の履修科目の ＧＰ×当該科目の単位数）の総和}}{\text{修得した科目の総単位数}}$$

（対象授業科目等）

第４条　本学で進級あるいは卒業により認定されたすべての授業科目をＧＰＡの対象授業科目とする。

２　前項の規定にかかわらず、次の場合は、ＧＰＡの対象外科目とする。

（１）選択科目で必要単位数を超えて取得した科目

（２）編入学または転入学等の単位認定科目

（３）本学入学前に修得した単位認定科目

（４）その他教授会で認めたＧＰＡ算出除外科目

（ＧＰＡの公表）

第５条　ＧＰＡは、成績配付時に学生へ公表する。

（ＧＰＡの活用）

第６条　学期ＧＰＡは、次のとおり活用するものとする。

（１）１つの学期（１セメスター）のＧＰＡが１.５未満となった場合は、学生本人を呼び出し、学年担任による注意と指導を行う。

（２）ＧＰＡ１.５未満が２学期（２セメスター）連続した場合は、学生本人及び保証人（父母又はこれに準ずる者）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、学年担任と助言教員等が継続的な学修支援等を行う。

（３）ＧＰＡ１.５未満が３学期（３セメスター）連続した場合は、学生本人及び保証人（父母又はこれに準ずる者）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、退学するか、就学を継続するか意思確認を行う。就学意思がある場合には、学年担任及び助言教員等が継続的な学修支援・生活指導等を行う。なお、面談に応じない、または面談の結果、学修意欲の改善が著しく困難と判断された場合は、退学勧告を行うことができる。

２　累積ＧＰＡは、次のとおり活用するものとする。

（１）学生の主体的な学修を促進するための指標

（２）学生の学業成績を総合的に判断する指標

（３）特別奨学生や奨学金等の算定基礎資料

（４）学生の推薦や就職活動等にかかる資料

（その他）

第７条　この要項に定めるもののほか、ＧＰＡの取扱いに関し必要な事項は、学務・ＦＤ委員会が別に定める。

福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則

（平25.4.1適用）

1　福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則は、次のとおりとする。

2　出席の確認は各授業開始時に行う。

3　出席確認時にあらかじめ決められた座席に着席していない者は欠席とする。

4　授業担当者が正当な理由がないと判断した授業途中の退室は欠席とする。

5　授業中の携帯電話の使用は禁止する。使用した者はその授業を欠席とし、退室を命じる。

6　法令、天災その他本人の責によらない場合には、速やかに届け出ること。

シラバス（授業要綱）

科目ナンバリングのコード配分規則（歯科衛生学科：科目群）

（例）DH011001　『8桁』の科目番号

ＤＨ　０１　１　００１　⇒『生物学』

	学部	学年水準	履修区分	通し番号
（例）	ＤＨ （歯科衛生学科）	01 （第１年次）	1 （必修）	001 （先頭の科目）
詳細	別表１	別表２	別表３	別表４

別表１〔学科〕

識別文字	学科名等	英語標記
ＤＨ	歯科衛生学科	Dental Hygiene
ＨＰ	専攻科	Dental Hygiene Postgraduate Course

別表２〔学年水準〕

番号	付加情報	番号	付加情報
００ ０１ ０２ ０３	導入レベル １年 ２年 ３年	２１	専攻１年

別表３〔履修区分〕

番号	付加情報
０ １ ２	なし 必修 選択必修

別表４－１〔通し番号〕歯科衛生学科

番号	科目分野	科目群
001～100	基礎分野	科学的思考の基盤　001～　人間と社会生活の理解　011～
101～200	専門基礎分野	人体の構造と機能　101～　歯・口腔の構造と機能　111～ 疾病の成り立ちと回復の促進　121～ 歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み　131～
201～300	専門分野	歯科衛生士概論　201～　臨床歯科医学　211～ 歯科予防処置論　221～　歯科保健指導論　231～ 歯科診療補助論　241～　口腔介護論　251～ 臨床・臨地実習　261～　総括　271～
301～400	選択必修分野	301～

別表４－２〔通し番号〕専攻科口腔保健衛生学専攻

番号	科目分野
001～100	専攻外科目
101～200	関連科目
201～300	専門科目

歯科衛生学科

Department of Dental Hygiene

■学習・教育目標

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化･専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成と高齢社会に対応した歯科衛生士が強く求められている。また本学は、キャンパス内に福岡歯科大学および同大学医科歯科総合病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設を擁する福岡学園のグループ校であり、医療・保健・福祉教育に絶好の環境にある。これらの施設での臨床・臨地実習を通じて、医療人としての自覚と倫理観を持ち、地域歯科保健のリーダーとなり、また「口腔・全身介護」を実践できる歯科衛生士の養成を目標とする。

科目領域の学習・教育目標

歯科衛生学科

基礎分野
生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士を目指す。また、国際交流にも視点をおいた対人コミュニケーションを身につける。「選択必修：物理学/化学」

専門基礎分野
高度化・専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解する。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、口腔のセルフケア能力を高めるための教育的役割や、地域における関係諸機関等との調整能力を養う。

専門分野
生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾患やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、多様な生活環境や全身状態にある個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導ができる能力を身につける。また、歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士を目指す。さらに、口腔および全身介護の実践で必要となる生活介護や身体介護を、根拠に基づいた技術により修得し、超高齢社会に対応した多様な情報・知識を身につける。臨床・臨地実習は福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、多職種と連携して専門性を発揮できる歯科衛生士を目指す。また、キャンパス内の介護保険施設での臨地実習を通して、高齢者や障がい者の「口腔介護」を実践できる歯科衛生士を目標とする。

選択必修分野
すべてのライフステージにおける口腔保健のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観を身につける。また、国際交流にも視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身に付け、研究者として国際的にも活躍できる歯科衛生士を目指す。

1 年 次

科目領域	前期	後期
人間と社会生活の理解	DH011012 英語Ⅰ ②	
	DH011015 健康生理学Ⅰ ①	DH011016 健康生理学Ⅱ ①
科学的思考の基盤	DH011001 生物学 ①	DH011002 情報処理概論Ⅰ ①
	DH012305 物理学 ①	DH011004 情報処理実習Ⅰ ①
	DH012306 化学 ①	
人体の構造と機能	DH011101 解剖学 ②	
歯・口腔の構造と機能	DH011111 口腔組織学 ②	DH011112 口腔解剖学 ①
	DH011113 口腔生理学 ②	DH011114 口腔生化学 ②
疾病の成り立ちと回復の促進	DH011122 口腔微生物学 ②	DH011121 口腔病理学 ②
		DH011123 歯科薬理学 ②
歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み	DH011131 口腔衛生学Ⅰ ②	DH011132 口腔衛生学Ⅱ ②
歯科衛生士概論	DH011201 歯科衛生士概論 ①	
臨床歯科医学	DH011211 歯科臨床概論 ①	DH011212 歯科保存修復・歯内治療学 ①
		DH011214 歯科補綴学 ①
		DH011215 口腔外科学 ①
		DH011216 小児歯科学 ①
		DH011217 矯正歯科学 ①
歯科予防処置論	DH011221 歯科予防処置論(講義)Ⅰ ①	
	DH011223 歯科予防処置実習Ⅰ ①	DH011224 歯科予防処置実習Ⅱ ①
歯科保健指導論	DH011235 歯科保健指導実習Ⅰ ①	DH011236 歯科保健指導実習Ⅱ ①
歯科診療補助論	DH011241 歯科診療補助論(講義)Ⅰ ①	
	DH011243 歯科材料学 ①	
	DH011244 歯科診療補助実習Ⅰ ①	DH011245 歯科診療補助実習Ⅱ ①
口腔・全身介護論		
臨床・臨地実習		
総括		

□ 必修科目　■ 選択科目　○の中の数字は単位数

■キーワード
歯科予防処置
歯科診療補助
歯科保健指導
口腔・全身介護

2 年 次

基礎分野科目

情報処理概論Ⅱ〔DH021003〕…… 69
情報処理実習Ⅱ〔DH021005〕…… 71
経済学〔DH021011〕…… 74
英語Ⅱ〔DH021013〕…… 76
キャリアデザイン〔DH021014〕…… 78

専門基礎分野科目

全身疾患の病態・生理〔DH021102〕…… 81
衛生学・公衆衛生学〔DH021134〕…… 84

専門分野科目

看護学総論〔DH021202〕…… 86
歯周病治療学〔DH021213〕…… 88
高齢者・障害者歯科学〔DH021218〕…… 90
歯科麻酔学・歯科放射線学〔DH021219〕…… 92
歯科予防処置論（講義）Ⅱ〔DH021222〕…… 95
歯科予防処置実習Ⅲ〔DH021225〕…… 97
歯科予防処置実習Ⅳ〔DH021226〕…… 99
歯科予防処置実習Ⅴ〔DH021227〕…… 102
歯科保健指導論（講義）Ⅰ〔DH021231〕…… 104
歯科保健指導論（講義）Ⅱ〔DH021232〕…… 106
栄養学〔DH021233〕…… 108
食育〔DH021234〕…… 110
歯科保健指導実習Ⅲ〔DH021237〕…… 112
歯科保健指導実習Ⅳ〔DH021238〕…… 114
歯科診療補助論（講義）Ⅱ〔DH021242〕…… 116
歯科診療補助実習Ⅲ〔DH021246〕…… 119
歯科診療補助実習Ⅳ〔DH021247〕…… 121
介護研修Ⅰ〔DH021251〕…… 123
介護研修Ⅱ〔DH021252〕…… 125

口腔・全身介護論〔DH021253〕…… 127
口腔・全身介護技術〔DH021254〕…… 129

選択必修分野科目

コミュニケーションスキル〔DH022301〕…… 131
接遇〔DH022302〕…… 133
中国語〔DH022303〕…… 135
韓国語〔DH022304〕…… 137
心理学〔DH022307〕…… 139
倫理学〔DH022308〕…… 141

情報処理概論Ⅱ

開講時期：　2年次前期
授業時間数：　9コマ；18時間　1単位
受験資格要件：　2/3（6コマ）以上の出席
科目番号：　DH021003
評価責任者：　松尾　忠行
授業担当者：　内田　竜司

１．一般目標

本講義において、歯科衛生士に必要な情報通信技術（ICT）、数理・データサイエンス・AIを活用する基本的知識、技能、態度を修得し、これらが示唆する分析結果を主体的に使いこなし、健康や生活に関する問題に対し、的確な判断・解決ができる学術的・実践的能力を身に付けることを目指す。また、医療人として必須となるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の向上を目的として、協働で課題を解決することを体験しながら、自らの専門領域を発展させる能力を身に付ける。

２．教育方法

スライドによる解説を中心に、内容に応じて双方向学修形式の授業を行う。

３．教育教材

PC、プリント、PDFファイル、動画

４．学修方法

授業中に配付資料の内容を理解し、要点や補足を追記すること。講義時間内に実施する確認テスト（Googleフォーム等）により、講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、疑問点は随時、質問すること。授業後は、講義・実習内容の確認をその日のうちに行うこと。また、本講義を理解するうえで、情報処理概論Ⅰ・情報処理実習Ⅰで得た知識・技能・態度が必須であり、各自不十分な部分について復習すること。
【単位修得に必要な授業外学修時間：27時間】

５．評価方法

［形成的評価］講義時間内で実施する確認テストにより講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、随時、指導する。
［フィードバック］講義時間内で実施する確認テストは、回答終了時に得点が表示され、理解度を自己確認できる。また、演習課題の模範解答例を講義・実習時に提示するので、自己評価し、修正する。
［総括的評価］講義時間内で実施する確認テストおよびメールに添付して提出する演習課題について、提出方法を含め評価する。評価は掲示にて公開する。

６．教科書

プリント、PDFファイル

７．参考書

なし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/7 (金) 3限	内田竜司	オリエンテーション ユニット１ プレゼンテーション基礎 ［講義］	1）効果的なプレゼンテーション技法と、建設的なフィードバック法を修得する。	1）上手なプレゼンテーションのポイントを説明できる。 2）フィードバックのポイントを説明できる。	プレゼンテーション 3時間	認知 (解釈)
2	4/14 (金) 1限	内田竜司	ユニット２ 企画立案 ［講義］	1）企画を立案する手順や企画書にまとめるポイントを修得する。	1）企画を立案する必要性を説明できる。 2）企画を立案する手順を説明できる。 3）企画書にまとめるポイントを説明できる。	企画の立案 3時間	認知 (解釈)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	4/21 (金) 1限	内田竜司	ユニット３ 情報収集 ［講義］	１）レポート作成に必要な情報収集方法を修得する。	１）必要な情報の収集方法について説明できる。 ２）文献の検索方法を説明できる。	情報収集 3時間	認知 (想起)
4	4/28 (金) 1限	内田竜司	ユニット４ レポート作成１ ［実習］	１）レポートの作成方法を修得する。	１）レポートの構成について説明できる。 ２）参考文献の引用方法について説明できる。	文献引用 課題の理解 3時間	認知 (解釈)
5	5/12 (金) 1限	内田竜司	ユニット５ レポート作成２ ［実習］	１）レポートの作成方法を修得する。	１）レポートの構成について説明できる。 ２）参考文献の引用方法について説明できる。	文献引用 課題の理解 3時間	認知 (解釈)
6	5/19 (金) 1限	内田竜司	ユニット６ レポート作成３ ［実習］ ［相互学修］	１）グループでレポートを作成する方法を修得する。	１）レポートの構成について説明できる。 ２）参考文献の引用方法について説明できる。	文献引用 課題の理解 3時間	認知 (解釈)
7	5/26 (金) 1限	内田竜司	ユニット７ レポート作成４ ［実習］ ［相互学修］	１）グループでレポートを作成する方法を修得する。	１）レポートの構成について説明できる。 ２）参考文献の引用方法について説明できる。	文献引用 課題の理解 3時間	認知 (解釈)
8	6/2 (金) 1限	内田竜司	ユニット８ レポート作成５ ［実習］ ［相互学修］	１）グループで作成したレポートのプレゼンテーション方法を修得する。	１）レポートの構成について説明できる。 ２）参考文献の引用方法について説明できる。 ３）レポートのプレゼンテーションについて説明できる。	文献引用 レポート内容の理解 3時間	認知 (解釈)
9	6/9 (金) 1限	内田竜司	ユニット９ データ統計の基礎 ［講義］	１）データ統計に必要な統計的手法を修得する。	１）基本的な統計学の用語について説明できる。	統計学の用語 3時間	認知 (想起)

情報処理実習Ⅱ

開講時期：　2年次前期
授業時間数：　21コマ；42時間1単位
受験資格要件：　4/5（17コマ）以上の出席
科目番号：　DH021005
評価責任者：　松尾　忠行
授業担当者：　内田　竜司

１．一般目標
本講義において、歯科衛生士に必要な情報通信技術（ICT）、数理・データサイエンス・AIを活用する基本的知識、技能、態度を修得し、これらが示唆する分析結果を主体的に使いこなし、健康や生活に関する問題に対し、的確な判断・解決ができる学術的・実践的能力を身に付けることを目指す。また、医療人として必須となるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の向上を目的として、協働で課題を解決することを体験しながら、自らの専門領域を発展させる能力を身に付ける。

２．教育方法
スライドによる解説講義を踏まえた演習課題への取り組みを中心に、内容に応じて双方向学修形式の授業を行う。

３．教育教材
PC、プリント、PDFファイル、動画

４．学修方法
講義中はデモ画面を注視すること。授業にはUSBメモリーを必ず持参し、授業で作成した提出課題のファイルを保存しておくこと（演習課題の模範解答例を講義・実習時に提示するので、自己評価し、修正する）。日頃、パソコンにできるだけふれること。また、本講義を理解するうえで、情報処理概論Ⅰ・情報処理実習Ⅰで得た知識・技能・態度が必須であり、各自不十分な部分について復習すること。
【単位修得に必要な授業外学修時間：21時間】

５．評価方法
［形成的評価］講義時間内で実施する確認テストにより講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、随時、指導する。
［フィードバック］講義時間内で実施する確認テストは、回答終了時に得点が表示され、理解度を自己確認できる。また、演習課題の模範解答例を講義・実習時に提示するので、自己評価し、修正する。
［総括的評価］講義時間内で実施する確認テストおよびメールに添付して提出する演習課題について、提出方法を含め評価する。評価は掲示にて公開する。

６．教科書
プリント、PDFファイル

７．参考書
なし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/7 (金) 4限	内田竜司	ユニット１ プレゼンテーション基礎 ［実習］	1）効果的なプレゼンテーション技法と、建設的なフィードバック法を修得する。	1）決められた時間内でプレゼンテーションができる。 2）建設的なフィードバックを実践する。	コミュニケーション法 １時間	認知 (問題解決) 情意 (反応)
2	4/14 (金) 2限	内田竜司	ユニット２ 企画立案 ［実習］ ［相互学修］	1）企画を立案するプロセスや企画立案の手順、企画書にまとめるポイントを修得する。	1）企画を立案できる。 2）企画書にまとめることができる。 3）立案した企画のプレゼンテーションができる。	企画書 １時間	認知 (問題解決) 情意 (反応)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	4/21 (金) 2限	内田竜司	ユニット３ 情報収集 [実習]	1）レポート作成に必要な情報収集方法を修得する。	1）必要な情報を収集することができる。 2）文献検索を使って必要な医学論文を探すことができる。	文献検索 １時間	認知 (解釈)
4	4/28 (金) 2限	内田竜司	ユニット４ レポート作成１ [実習]	1）レポートの作成方法を修得する。	1）レポートを作成できる。 2）参考文献リストを作成できる。	レポート作成 １時間	認知 (問題解決)
5	5/12 (金) 2限	内田竜司	ユニット５ レポート作成２ [実習]	1）レポートの作成方法を修得する。	1）レポートを作成できる。 2）参考文献リストを作成できる。	レポート作成 １時間	認知 (問題解決)
6	5/19 (金) 2限	内田竜司	ユニット６ レポート作成３ [実習]	1）グループでレポートを作成する方法を修得する。	1）レポートを作成できる。 2）参考文献リストを作成できる。	レポート作成 １時間	認知 (問題解決) 情意 (反応)
7	5/26 (金) 2限	内田竜司	ユニット７ レポート作成４ [実習]	1）グループでレポートを作成する方法を修得する。	1）レポートを作成できる。 2）参考文献リストを作成できる。	レポート作成 １時間	認知 (問題解決) 情意 (反応)
8	6/2 (金) 2限	内田竜司	ユニット８ レポート作成５ [実習] [相互学修]	1）グループで作成したレポートのプレゼンテーション方法を修得する。	1）レポートを作成できる。 2）参考文献リストを作成できる。 3）レポート内容をプレゼンテーションすることができる。	レポート作成 プレゼンテーション内容の理解 １時間	認知 (問題解決) 情意 (内面化)
9	6/9 (金) 2限	内田竜司	ユニット９ データ統計の基礎 [実習]	1）データ統計に必要な統計的手法を修得する。	1）基本的な統計量を求めることができる。	統計量 １時間	認知 (解釈)
10	6/16 (金) 1限	内田竜司	ユニット１０ データ分析１ [実習] [相互学修]	1）データから情報を取り出すための分析方法を修得する。	1）分析方法について説明できる。 2）データの活用について説明できる。	統計量 １時間	認知 (問題解決)
11	6/16 (金) 2限	内田竜司	ユニット１０ データ分析１ [実習] [相互学修]	1）データから情報を取り出すための分析方法を修得する。	1）データを分析できる。 2）分析結果を解釈し、課題を特定することができる。 3）分析結果についてプレゼンテーションができる。	データ分析 １時間	情意 (反応)
12	6/23 (金) 1限	内田竜司	ユニット１１ データ分析２ [実習] [相互学修]	1）データから情報を取り出すための分析方法を修得する。	1）分析方法について説明できる。 2）データの活用について説明できる。	統計量 １時間	認知 (問題解決)
13	6/23 (金) 2限	内田竜司	ユニット１１ データ分析２ [実習] [相互学修]	1）データから情報を取り出すための分析方法を修得する。	1）データを分析できる。 2）分析結果を解釈し、課題を特定することができる。 3）分析結果についてプレゼンテーションができる。	データ分析 １時間	認知 (内面化)
14	6/30 (金) 1限	内田竜司	ユニット１２ 情報セキュリティ [実習] [相互学修]	1）情報セキュリティ対策を修得する。	1）情報セキュリティに関する用語について説明できる。 2）情報セキュリティについて説明できる。	情報セキュリティ １時間	認知 (問題解決)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
15	6/30 (金) 2限	内田竜司	ユニット１２ 情報セキュリティ [実習] [相互学修]	1）情報セキュリティ対策を修得する。	1）情報セキュリティ対策についてプレゼンテーションができる。	情報セキュリティ対策 １時間	情意 (内面化)
16	7/7 (金) 1限	内田竜司	ユニット１３ 人工知能 [実習] [相互学修]	1）人工知能について理解する。	1）人工知能について説明できる。 2）日常生活において人工知能がどのように関わっているか説明できる。	人工知能 １時間	認知 (問題解決)
17	7/7 (金) 2限	内田竜司	ユニット１３ 人工知能 [実習] [相互学修]	1）人工知能について理解する。	1）人工知能についてプレゼンテーションができる。 2）医療分野における、人工知能の関わりについて説明できる。	人工知能 １時間	情意 (内面化)
18	7/14 (金) 1限	内田竜司	ユニット１４ 歯科医療提供体制 [実習] [相互学修]	1）歯科医療提供体制について考察する。	1）現在の歯科医療提供体制の問題点について説明できる。	歯科医療提供体制 １時間	認知 (問題解決)
19	7/14 (金) 2限	内田竜司	ユニット１４ 歯科医療提供体制 [実習] [相互学修]	1）歯科医療提供体制について考察する。	1）現在の歯科医療提供体制の問題点についてプレゼンテーションができる。 2）問題点の解決策について説明できる。	歯科医療提供体制 １時間	情意 (内面化)
20	7/21 (金) 1限	内田竜司	ユニット１５ 歯科衛生課程 [実習] [相互学修]	1）歯科衛生課程を理解し、卒後の歯科衛生活動に活用できる能力を涵養する。	1）歯科衛生課程について説明できる。	歯科衛生課程 １時間	認知 (問題解決)
21	7/21 (金) 2限	内田竜司	ユニット１５ 歯科衛生課程 [実習] [相互学修]	1）歯科衛生課程を理解し、卒後の歯科衛生活動に活用できる能力を涵養する。	1）歯科衛生課程についてプレゼンテーションができる。 2）卒後の歯科衛生活動に活用するために、卒業までに為すべき事について説明できる。	歯科衛生課程 １時間	情意 (内面化)

経　済　学

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件：　2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021011
評価責任者：　松尾　忠行
担当教員：　諸原　真樹

１．一般目標
本講義では，まず経済学がどのような学問なのかという所からはじめる。様々な具体例を検討しつつ，社会の在り方を経済学の視点から捉え，ミクロ経済学についての教養を身に着ける。ミクロ経済学を理解することで，現代社会の時事問題から多様な情報，問題関心を引き出し，論理的かつ良識ある分析・考察ができる。

２．教育方法
講義，アクティブラーニング

３．教育教材・機材
テキスト，ＰＣ＋プロジェクターによるプレゼンテーション，必要に応じて板書。

４．学修方法
事前にテキストを熟読し，問題意識をもって講義に臨むこと。講義 1 回あたり最低 60 分以上の事前・事後学習が望ましい。授業中は配布プリントの穴埋めを完成させること。事後学習は，テキストと配布プリントを参考に，復習を行い，また，次の授業で小テストがある場合は、その範囲を学習しておくこと。レポート課題の締め切りは守ること。本講義は、３年次における臨床実習の患者・利用者の理解に不可欠である。
［単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間］

５．評価方法
［形成的評価］ミニテスト・レポート
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを付して返却し，場合によっては再提出を求める。
［総括的評価］記述試験（50%）・確認テスト 2 回（20%）・レポート（10%）・授業参加状況（20%）
［フィードバック］解答例を示し，答案を返却する。

６．教科書
『スタンフォード大学で一番人気の経済学入門 ミクロ編』ティモシー・テイラー(著),池上彰(著)，高橋璃子(翻訳)かんき出版，2013 年。

７．参考書
『スタンフォード大学で一番人気の経済学入門 マクロ編』ティモシー・テイラー(著),池上彰(著)，高橋璃子(翻訳)かんき出版，2013 年。

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/4 (火) 2 限	諸原	イントロダクション ユニット 1 経済学の考え方 経済学とは何か ［講義］	1）経済学の身につけ方 2）だまされないために経済学を学ぶ 3）マクロ経済とミクロ経済について	1）経済学の重要性について理解できる。 2）マクロ経済とミクロ経済の違いが説明できる。	経済学全般について調べる。 (事前 0.5 時間，事後 0.5 時間)	認知 (想起)
2	4/11 (火) 2 限	諸原	ユニット 1 分業 需要と供給 ［講義］	1）分業の意味について知る 2）需要と供給について知る	1）分業について説明できる。 2）需要と供給について説明できる。 3）均衡点について説明できる。	分業について調べる。 (事前 0.5 時間，事後 0.5 時間)	認知 (解釈)
3	4/18 (火) 2 限	諸原	ユニット 2 価格統制 ［講義］	1）価格統制の理解	1）価格統制について家賃を例に説明することができる。 2）家賃以外の例で価格統制について論じることができる。	価格統制について調べる。(事前 0.5 時間，事後 0.5 時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
4	4/25 (火) 2限	諸原	ユニット 2 価格弾力性 ［講義］	1) 価格弾力性について理解する	1) 価格弾力性についてタバコ、ガソリン、コーヒーを例に説明することができる。 2) 価格弾力性についてテキスト以外の例で論じることができる。	価格弾力性について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈)
5	5/2 (火) 2限	諸原	ユニット 2 労働市場 ［講義］ ［小テスト1］	1) 労働市場について理解する 2) 給与決定の仕組みを理解する	1) 労働市場について説明することができる。 2) 現代の労働市場について論じることができる。 3) 給与決定の仕組みについて説明ができる。	労働市場について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈)
6	5/9 (火) 2限	諸原	ユニット 2 資本市場 ［講義］	1) 利子率の理解 2) 企業の資金調達の理解	1) 利子率について説明できる。 2) 企業の資金調達について説明できる。	資本市場について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈)
7	5/16 (火) 2限	諸原	ユニット2 個人投資 ［講義］	1) リスクの理解 2) 流動性の理解 3) 税金の理解	1) 個人投資について、リスクや流動性や税金などを理解したうえで、普通預金、MMF、定期預金、社債、株式、不動産、貴金属など適切な投資先について判断できる。	普通預金、定期預金、社債、株式、不動産、貴金属などの投資について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (問題解決)
8	5/23 (火) 2限	諸原	ユニット 3 完全競争と独占 ［講義］	1) 完全競争、独占、独占的競争、寡占についての理解。	1) 完全市場、独占、独占的競争、寡占について具体的な業種・企業名を挙げて説明できる。	独占について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈)
9	5/30 (火) 2限	諸原	ユニット 4 独占禁止法 ［講義］ ［レポート］	1) 独占禁止法についての理解。	1) 再販価格維持、排他的取引、抱き合わせ販売、略奪的価格設定について説明できる。 2) 独占禁止法の必要性について説明できる。	独占禁止法について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入)
10	6/6 (火) 2限	諸原	ユニット 4 規制と規制緩和 ［講義］	1) 総括原価方式についての理解。 2) 規制より技術競争の促進が有効な状況とは。	1) 総括原価方式について説明できる。 2) インターネットの発展は何に支えられたか規制緩和の側面から説明できる。	規制と規制緩和について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
11	6/13 (火) 2限	諸原	ユニット 4 負の外部性 ［講義］	1) 規制の限界、市場原理による解決の理解。	1) 現代の環境問題について経済学の知見を使って自分の意見を述べることができる。	負の外部性について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入)
12	6/20 (火) 2限	諸原	ユニット4 正の外部性 ［講義］	1) 知的財産権とは。 2) 知的財産権と外部性の関係。	1) 特許権、著作権、商標権、企業秘密について説明できる。	知的財産権について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
13	6/27 (火) 2限	諸原	ユニット 5 公共財 ［講義］ ［小テスト2］	1) 公共財と市場との関係	1) 公衆衛生対策、道路、科学研究、教育はなぜ市場に任せることができないのか説明ができる。	公共財について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入)
14	7/4 (火) 2限	諸原	ユニット 5 貧困と福祉 格差問題 ［講義］	1) 現代の貧困問題について知る。 2) 金銭的援助と意欲の問題について知る。	1) 生きるスキルの重要性を理解できる。 2) 社会保障の必要性について説明できる。	貧困と福祉について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
15	7/11 (火) 2限	諸原	ユニット 5 情報の非対称性 企業と政府のガバナンス 講義のまとめ ［講義］	1) 情報の非対称性と保険市場。 2) 医療費の抑制について。	1) 情報の非対称性を説明できる。 2) 医療費の抑制の問題について自分の見識と経済学の知識で論評できる。	情報の非対称性について調べる。(事前0.5時間, 事後0.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)

英語Ⅱ(English Conversation)

開講時期：　2年次前期
授業時間数：　15コマ；30時間　1単位
受験資格要件：　2/3（10コマ）以上の出席
科目番号：　DH021013
評価責任者：　松尾忠行
授業担当者：　Oliver Anthony John
山根モーゼス

1. (General Aim)
As a dental hygienist, Learners will obtain an interpersonal communication both skills and attitude, and improve their English competence for cultural enrichment.

2. (Method of Instruction)
Lecture・Group work.

3. (Education Material・Device)
Textbook、Handouts、DVD、PC＋Projector.

4. (Method of Learning) Learners have to bring a textbook shown below in the class. Every time they should study the contents that they are going to study before the class. Also they are expected to review the contents they learned on the same day.　【Necessary Studying Hours to Earn Enough Credits for Graduation ：15hours】

5. (Evaluation)
Written Examination (80%)
Class Participation (approx.20%)
The results of the exams are announced after the exams on the Bulletin Board.
Detailed information will be explained on the first class.

6. (Textbook)
“My First PASSPORT second edition 2　English for International Communication”, Angela Buckingham & Lewis Lansford, Oxford University Press , Handouts

7. (参考書)
English Japanese Dictionary & Japanese English Dictionary (electronic dictionary is also available)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習･復習 項目と 必要時間	教育目標領域
1	4/4 (火) 1限	Oliver 山根	Orientation Unit 1 May I open your suitcase? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 1. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 1 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
2	4/11 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 2 How was your flight? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 2. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 2。 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
3	4/18 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 3 What should we do tomorrow? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 3. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 3 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
4	4/25 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 4 We’re going to visit Chinatown. Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 4. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 4 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習･復習 項目と 必要時間	教育目標領域
5	5/2 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 5 what do you do in your free time? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 5. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 5 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
6	5/9 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 6 This one is cheaper Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 6. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 6 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
7	5/16 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 7 Don’t forget your money! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 7. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 7 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
8	5/23 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 8 Do you want to go to a concert? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 8. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in unit 8 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
9	5/30 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 9 I have to study Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 9. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 9 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
10	6/6 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 10 Did you go on the roller coaster? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 10. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 10。 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
11	6/13 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 11 I need some help Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 11. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 11 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
12	6/20 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 12 Have you been to Kyoto? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 12. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 12 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
13	6/27 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 13 Can you describe it? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 13. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 13 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
14	7/4 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 14 I’d like the nachos, please Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 14. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 14 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)
15	7/11 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 15 If I pass my exams, I’ll go to college Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 15. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 15 1hours	Cognitive(Interpretation) ・ Affective(Responding)

キャリアデザイン

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　10 コマ；20 時間　1 単位
受験資格要件：2/3（7 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021014
評価責任者：　後藤加寿子
授業担当者：　後藤加寿子、黒木まどか、石井綾子、南レイラ、高木未沙稀、手嶋直美、草場裕美、久保美由紀、山口佳那子、縄田和歌子、江端紀代美、北向由紀子、常岡由美子、関真理子、野村亜美

1．一般目標

キャリアとは単なる職歴・経歴だけではなく、仕事への憧れやこだわり、その仕事を通じて実現できる生活水準などを含んだ、生涯にわたるライフスタイルのプロセス（過程）を指す。したがって、キャリアデザインとは、どういうプロセスを描き、何を実現したいかを明確にすることである。

この授業では、多様化し拡大している歯科衛生士の業務や専門性を今一度考察し、自分は「どのような仕事をするのか」「どのような経験を積んでいくのか」を考え、自身の将来像を描くこと（デザインすること）や人生のプラン二ングの基礎を修得することを目標とする。また、3 年次から始まる臨地実習では、チーム医療の一員としての行動やコミュニケーションが必要であり、医療安全の視点を通してこれを学修する。

2．教育方法

講義を行う。

歯科医療機関（歯科大学医科歯科総合病院、歯科医院）や介護保険施設において、歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3．教育教材

プリント、配布資料、PC＋プロジェクター、DVD

4．学修方法

授業には配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し、求められている課題についてノートにまとめること。授業中はノートを取ること。授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については教員に質問し、説明を受けて確実に理解すること。レポート課題は締切日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。

本授業を理解するうえで、保存修復学、歯科補綴学、口腔外科学、矯正歯科学、小児歯科学、高齢者歯科学、障がい者歯科学の理解が必要である。　［単位修得に必要な授業外学修時間：25 時間］

5．評価方法

［形成的評価］レポートなど
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。
［総括的評価］課題レポート（80%）授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）

6．教科書

特になし

7．参考書

1．「みがこう！コミュニケーション・センス　歯科医院での医療安全のために」 中島丘　他
　医歯薬出版 2017
2．新・歯科衛生士教育マニュアル『歯科臨床の基礎と概論』クインテッセンス出版 2015

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	10/16 （月） 2限	南	ユニット 1 キャリアデザイン総論 〔講義・スライド〕	1)この授業のねらい並びに「キャリアデザイン」の意味を理解する。 2)チーム医療におけるコミュニケーション・センスを理解する。 3)仕事のやりがいを感じさせるチームワークとは何かを理解する。	1）キャリアデザインの定義を説明することができる。 2)「ロールモデル」を説明できる。 3）チーム医療と医療安全の関係を説明できる。	インターネット等で、「キャリアデザイン」の意味を事前に調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
2	10/23 （月） 2限	後藤 高木	ユニット 2-1 歯科衛生士の専門性の理解 〔講義・スライド〕	1)キャリア教育とは何かを理解する。 2) 専門歯科衛生士・認定歯科衛生士について理解する。	1）キャリア教育について説明できる。 2）専門歯科衛生士・認定歯科衛生士について説明できる。	「専門衛生士・認定衛生士」について調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
3	10/30 （月） 2限	黒木	ユニット 2-1 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 3 ヒヤリ・ハット予防のためのコミュニケ―ション 〔講義・スライド〕	1）開業歯科医院、介護施設における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2）ヒヤリ・ハットとはなにか、その予防のためのコミュニケーションを理解する。	1）開業歯科医院および介護施設における歯科衛生士業務の特徴や違いをおおまかに説明できる。 2）ヒヤリ・ハットとコミュニケーションの関係について説明できる。	「ヒヤリ・ハット」について調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
4	11/6 （月） 2限	南 野村	ユニット　2-1 歯科衛生士の専門性の理解 〔講義・スライド〕	1)企業における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。	1）企業における歯科衛生士業務の概要を説明できる。 2）自分のキャリアデザインをレポートに記述できる。	歯科衛生士が従事している企業を調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
5	11/20 （月） 2限	石井	ユニット　2-1 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 4 患者との信頼関係の形成 〔講義・演習・スライド〕	1）歯科衛生士としてのキャリアと展望について理解する。 2）歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーションを理解する。	1）歯科衛生士としてのキャリアと展望について理解できる。 2）行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「インフォームド・アセント」について調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
6	12/15 （金） 4限	石井 手嶋 草場	ユニット　2-2 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 4 患者との信頼関係の形成 〔講義・スライド〕	1）大学病院における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2）口腔医療センターにおける歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 3）歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーションを理解する。	1）大学病院における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 2）口腔医療センターにおける歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 3）行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「大学病院における歯科衛生士の役割」について調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
7	1/17 （水） 4限	石井 久保 江端	ユニット　2-2 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット 4 患者との信頼関係の形成 〔講義・スライド〕	1）矯正歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2）障がい者歯科におけるインフォームド・アセントを理解する。 3）歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーションを理解する。	1）矯正歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 2）障がい者歯における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 3）行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「矯正歯科・障がい者歯科における歯科衛生士の役割」について調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)
8	1/18 （木） 4限	石井 縄田 山口	ユニット　2-2 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット4 患者との信頼関係の形成 〔講義・スライド〕	1）訪問歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2）小児歯科を担う歯科衛生士のキャリアを理解する。 3）歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーションを理解する。	1）訪問歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 2）小児歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 3）行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「訪問歯科・小児歯科における歯科衛生士の役割」について調べる。 （2.5時間）	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
9	1/19 （金） 1限	石井 関 常岡	ユニット　2-2 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット4 患者との信頼関係の形成 〔講義・スライド〕	1）補綴科・インプラント科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2）保存科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 3）歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーションを理解する。	1）補綴科・インプラント科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 2）保存科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 3）行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「補綴科・インプラント科・保存科における歯科衛生士の役割」について調べる。 （2.5時間）	認知 （想起） 情意 （受入）
10	1/22 （月） 3限	石井 北向	ユニット　2-2 歯科衛生士の専門性の理解 ユニット4 患者との信頼関係の形成 〔講義・スライド〕	1）総合歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを理解する。 2）周術期管理を担う歯科衛生士のキャリアを理解する。 3）歯科保健指導における信頼関係形成のためのコミュニケーションを理解する。	1）総合歯科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 2）口腔外科における歯科衛生士とキャリアモデルを説明することができる。 3）行動変容を起こさせるための歯科衛生士の行動を説明できる。	「総合歯科・口腔外科における歯科衛生士の役割」について調べる。 （2.5時間）	認知 （想起） 情意 （受入）

全身疾患の病態・生理

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間　2 単位
受験資格要件：2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021102
評価責任者：　田口　智章
授業担当者：　田口　智章

1．一般目標
口腔内には全身疾患の症状や服用中の薬の副作用がでることがあり、また口腔内の病気が全身疾患に影響することもある。一方、医療・介護の現場では、医師や看護師をはじめ理学療法士、作業療養士、歯科衛生士などによる多職種連携が重要である。本授業では、全身疾患と口腔との関連を理解し、歯科診療上の注意点と対応を修得するとともに、歯科衛生士は多職種協働の一翼を担うことも理解した上で、その共通言語の働きをする全身疾患の知識を通して、医療人としての自覚・倫理観を身につける。

2．教育方法
講義・討議

3．教育教材
教科書、プリント、PC、プロジェクター

4．学修方法
授業には指定教科書を必ず持参し、下記の表の予習・復習項目欄にある教科書の該当箇所を予習しておくこと。また、授業で重要と説明された部分は下線を引くとともに必要に応じてメモをとること。さらに、理解できない点や疑問点があったら積極的に質問すること。本授業には、生物学、解剖学、組織学、生理学、生化学、微生物学、病理学、薬理学等の基本知識が必要で、本授業で得た知識は口腔外科学、歯周病治療学、高齢者・小児・障害者歯科学などの理解に重要である。　［単位修得に必要な授業外学修時間：60 時間］

5．評価方法
［形式的評価］ミニテスト、討議
［フィードバック］不十分な部分に対して追加のコメントないし回答する。
［総括的評価］定期試験：記述試験（70%）・ミニテスト（10%）・討議（10%）・授業参加状況（10%）
［フィードバック］試験終了後に正解例を示すとともに、結果（成績）を掲示する。

6．教科書
1．歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック（橋本賢二・増本一真 編著)、医歯薬出版株式会社、2021

7．参考書
1．歯科衛生士国試対策集 2024 年対応（歯科衛生士国試対策研究会 偏)、クインテッセンス出版株式会社、2023

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
1	4/10 (月) 1 限	田口	オリエンテーション 全身疾患総論 ［講義］ ユニット 1 代謝・内分泌疾患 ［講義］	1）歯科衛生士に全身疾患の知識が必要な理由を理解する。 2）体の系、疾患の全体像、診療科を理解する。 3）全身疾患の診断法と治療法を理解する。 1）主な代謝・内分泌疾患を理解する。 2）代謝・内分泌疾患と口腔との関連を理解する。	1）歯科衛生士に全身疾患の知識が必要な理由を説明できる。 2）体の系10種類および疾患分類10種類を説明でき、診療科との関係を説明できる。 3）全身疾患の診断法と治療法の種類を説明できる。 1）糖尿病、骨粗鬆症、甲状腺疾患を説明できる。 2）代謝・内分泌疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P6-9および P12-26を通読 4 時間	認知 (想起)
2	4/17 (月) 1限	田口	ユニット 2 消化器疾患 ［講義］	1）消化器の管腔臓器の疾患の概要を理解する。 2）消化器の実質臓器の疾患の概要を理解する。 3）消化器疾患と口腔との関連を理解する。	1）胃・食道逆流症、胃炎、消化性潰瘍、胃がんを説明できる。 2）肝炎、肝硬変、肝臓がん、膵炎、膵臓がんなどを説明できる。 3）消化器疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P28-43を通読 4時間	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
3	4/24 (月) 1限	田口	ユニット 3 循環器疾患 ［講義］	1) 心臓の虚血性疾患と炎症性疾患を理解する。 2) 不整脈と除細動を理解する。 3) 高血圧と低血圧を理解する。 4) 循環器疾患と口腔との関連を理解する。	1) 狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋炎を説明できる。 2) 不整脈と自動体外式除細動器(AED)を説明できる。 3) 高血圧と低血圧を説明できる。 4) 循環器疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P44-54を通読 4時間	認知 (想起)
4	5/1 (月) 1限	田口	ユニット 4 血液疾患 ［講義］	1) 赤血球の疾患を理解する。 2) 白血球の疾患を理解する。 3) 血小板と血液凝固因子の疾患を理解する。 4) 血液疾患と口腔との関連を理解する。	1) 貧血を説明できる。 2) 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫を説明できる。 3) 特発性血小板減少性紫斑病や血友病を説明できる。 4) 血液疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P56-59を通読 4時間	認知 (想起)
5	5/8 (月) 1限	田口	ユニット 5 呼吸器疾患 ［講義］	1) 呼吸器の炎症・感染症やアレルギー疾患を理解する。 2) 歯科領域に関連するその他の肺疾患を理解する。 3) 呼吸器疾患の病態把握に使う検査法を理解する。 4) 呼吸器疾患と口腔との関連を理解する。	1) 肺炎・誤嚥性肺炎、結核、気管支喘息を説明できる。 2) 慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群を説明できる。 3) スパイロメーターや動脈血酸素飽和度(SpO_2)測定を説明できる。 4) 呼吸器疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P60-77を通読 4時間	認知 (想起)
6	5/15 (月) 1限	田口	ユニット 6 腎・泌尿器疾患 ［講義］	1) 腎疾患を理解する。 2) 頻尿と尿失禁をきたす疾患を理解する。 3) 腎・泌尿器疾患と口腔との関連を理解する。	1) 慢性腎臓病を説明できる。 2) 頻尿と尿失禁をきたす疾患を説明できる。 3) 腎・泌尿器疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P78-84を通読 4時間	認知 (想起)
7	5/22 (月) 1限	田口	ユニット 7 免疫疾患・膠原病 ［講義］	1) アレルギー疾患を理解する。 2) 膠原病(自己免疫疾患)を理解する。 3) アレルギーの診断によく使われる検査法を理解する。 4) 免疫疾患・膠原病と口腔との関連を理解する。	1) アトピー性の皮膚炎・鼻炎・結膜炎、アナフィラキシーショックを説明できる。 2) 全身性エリテマトーデス、慢性関節リウマチ、シェーグレン症候群、ベーチェット病を説明できる。 3) パッチテストやプリックテストを説明できる。 4) 免疫疾患・膠原病における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P86-99を通読 4時間	認知 (想起)
8	5/29 (月) 1限	田口	ユニット 8 感染症 ［講義］	1) 感染症を理解する。 2) ウイルス性感染症、細菌性感染症、真菌感染症を理解する。 3) 感染症と口腔との関連を理解する。 4) ワクチンについて理解する。	1) 病原微生物、感染源、感染経路、日和見感染を説明できる。 2) インフルエンザ、エイズ、新型コロナ感染症、カンジダ症を説明できる。 3) 感染症における歯科領域の注意点と対応を説明できる。 4) ワクチンの意義について説明できる。	教科書 P100-111を 通読 4時間	認知 (想起)
9	6/12 (月) 1限	田口	ユニット 9 神経系疾患 (1) ［講義］	1) 脳血管障害を理解する。 2) 脳血管障害の診断に使われる検査法を理解する。 3) てんかんを理解する。 4) てんかんの診断に使われる検査法を理解する。	1) 脳梗塞、脳塞栓症、脳出血、くも膜下出血を説明できる。 2) コンピュータ断層撮影(CT)や磁気共鳴イメージング(MRI)を説明できる。 3) てんかんを説明できる。 4) 脳波(EEG)を説明できる。	教科書 P112-119を通読 4時間	認知 (想起)
10	6/14 (水) 4限	田口	ユニット 10 神経系疾患 (2) ［講義］	5) 認知症を理解する。 6) 神経難病である神経変性疾患を理解する。 7) 脊髄損傷や脳性麻痺を理解する。 8) 神経系疾患と口腔との関連を理解する。	5) 認知症を説明できる。 6) パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を説明できる。 7) 脊髄損傷や脳性麻痺を説明できる。 8) 神経系疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P120-129を通読 4時間	認知 (想起)
11	6/19 (月) 1限	田口	ユニット 11 精神疾患 ［講義］	1) 心身症・神経症やうつ病を理解する。 2) 統合失調症を理解する。 3) 発達障害を理解する。 4) 精神疾患と口腔との関連を理解する。	1) 心身症・神経症やうつ病を説明できる。 2) 統合失調症を説明できる。 3) 発達障害を説明できる。 4) 精神疾患における歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P130-138を通読 4時間	認知 (想起)
12	6/26 (月) 1限	田口	ユニット 12 がん ［講義］	1) がんの特徴や種類、病因、転移を理解する。 2) 全身的ながんと口腔との関連を理解する。 3) 頭頸部がんを理解する。 4) 頭頸部がんにおける歯科衛生士のかかわりを理解する。	1) がんの特徴や種類、病因、転移を説明できる。 2) 全身的ながんにおける歯科領域の注意点と対応を説明できる。 3) 頭頸部のがんを説明できる。 4) 頭頸部がんにおける歯科領域の注意点と対応を説明できる。	教科書 P140-149を通読 4時間	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
13	7/3 (月) 1限	田口	ユニット 13 その他：産科・婦人科疾患・妊娠、運動器疾患、感覚器疾患、皮膚疾患 ［講義］	1) 妊娠中の身体の変化と口腔内の変化を理解する。 2) 更年期障害と口腔との関連を理解する。 3) 老人に多い運動器疾患を理解する。 4) 老人に多い感覚器疾患を理解する。	1) 妊娠による身体の変化と口腔内の変化に対して歯科診療における注意点・対応を説明できる。 2) 更年期障害における歯科領域の注意点と対応を説明できる。 3) 大腿骨頚部骨折、変形性膝関節症を説明できる。 4) 白内障、老人性難聴、皮膚の加齢性変化、老人性乾皮症(老人性皮膚掻痒症)、蓐瘡を説明できる。	教科書 P150-159を通読 4時間	認知 (想起)
14	7/10 (月) 1限	田口	ユニット 14 複数領域にまたがる医療項目 (1) ［講義］	1) 検体検査を理解する。 2) 紹介状と照会状、医療面接を理解する。 3) 生活習慣病、廃用症候群、メタボリック症候群を理解する。	1) 検体検査の主な種類とデータを説明できる。 2) 紹介状と照会状、医療面接を説明できる。 3) 生活習慣病、廃用症候群、メタボリック症候群を説明できる。	教科書 P160-168およびP26を通読 4時間	認知 (想起)
15	7/24 (月) 1限	田口	ユニット 15 複数領域にまたがる医療項目 (2) ［講義］	4) ロコモティブ症候群、サルコペニア、高齢者のフレイルを理解する。 5) リハビリテーション、周術期口腔ケア、観血的処置、救命救急、トリアージを理解する。	4) ロコモティブ症候群、サルコペニア、高齢者のフレイルを説明できる。 5) リハビリテーション、周術期口腔ケア、観血的処置、救命救急、トリアージを説明できる。	教科書 P169-172、P127およびP148―149を通読 4時間	認知 (想起)

衛生学・公衆衛生学

開講時期：　２年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間２単位
受験資格要件：　2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021134
評価責任者：　松尾　忠行
実施担当者：　島津　篤、内藤麻利江、
藤本　暁江

１．一般目標

将来、歯科衛生士として、口腔領域だけでなく、健康と予防医学の概念および人間を取り巻く自然的・社会的環境要因と健康との関係性についての知識と洞察力を備えるとともに、医療、保健、福祉の専門家の一員として多職種連携のできる歯科衛生士として地域保健活動を実践・活躍するために、法律や制度など人々の健康を守る基本的な医療、保健、福祉の知識と社会の仕組みを体系的に理解する。

２．教育方法

教科書、スライドおよびプリントによる講義。

３．教育教材

教科書、プリント、PC＋プロジェクター

４．学修方法

衛生学・公衆衛生学は社会と密接に関連している学問であり、普段から、新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどを通じて、環境や健康の問題に広く関心を持つことは、授業の理解に役立ちます。

授業には、指定教科書を必ず持参し、下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業後は、記憶が鮮明なその日のうちに、教科書や配布プリントなどで講義内容の確認を行いましょう。授業内容は多岐にわたりますので、特段の理由のない限り、毎回出席しましょう。

授業中、ポイントとなる点については、教科書や配布プリントの記載に、～と関連があると追加して説明することがあります。板書されたことだけをノートに取るのではなく、しっかりと言葉を聞き取りメモしましょう。

【単位修得に必要な授業外学修時間：60時間】

５．評価

定期試験：客観試験・記述試験（試験において、知識と理解度の評価判定を行う）（80%）
平常評価：授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）
必要に応じて口頭試問、レポートを課す場合がある。掲示による結果周知にてフィードバックを行う。

６．教科書

１．歯科衛生学シリーズ 保健生態学　医歯薬出版　2023

７．参考書

なし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/10 (月) ４限	島津	ユニット 3 健康および予防医学の概念 講義	1）衛生・保健・健康の概念について理解する。	(1)衛生学・公衆衛生学の概略について説明できる。 (2)健康の概念、プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、ICFについて説明することができる。 (3)第一・二・三次予防について説明することができる。	教科書１の総論（Ⅰ編１章 P2～7）を精読する 4時間	認知 （解釈）
2	4/17 (月) ４限	島津	ユニット ２ 人口に関する統計 講義	1）人口について理解する。	(1)人口動態統計と静態統計について説明することができる。 (2)日本の人口構造、高齢化とその指標について説明することができる。	教科書１の人口（Ⅰ編３章 P18～25）を精読する 4時間	認知 （解釈）

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	4/24 (月) ４限	島津	ユニット ４ 人口に関する統計 講義	１）人口統計について理解する。	(1)出生、死亡、生命表、平均余命、平均寿命について説明することができる。	教科書１の人口（Ｉ編３章P25～33）を精読する 4時間	認知 （想起）
4	5/1 (月) ４限	島津	ユニット １ 大気 講義	１）大気の健康への影響と地球規模の環境問題について理解する。	(1)空気に含まれる異常成分と健康への影響について説明することができる。	教科書１の健康と環境（Ｉ編４章P34～39）を精読する 4時間	認知 （問題解決）
5	5/8 (月) ４限	内藤	ユニット5 公害 講義	１）公害と環境問題について理解する。	(1)地球規模の環境問題について説明することができる。	教科書１の健康と環境（Ｉ編４章P52～55）を精読する 4時間	認知 （想起）
6	5/15 (月) ４限	内藤	ユニット ６ 水質 講義	１）水質環境と健康被害について理解する。	(1)水質汚濁と健康被害について説明することができる。 (2)水質の浄化方法について説明することができる。	教科書１の健康と環境（Ｉ編４章P42～45）を精読する 4時間	認知 （想起）
7	5/22 (月) ４限	島津	ユニット ７ 温熱環境 講義	１）温熱環境について理解する。	(1)気温、気湿、気流、輻射熱などの温熱環境について説明することができる	教科書１の健康と環境（Ｉ編４章P39～42）を精読する 4時間	認知 （問題解決）
8	5/29 (月) ４限	島津	ユニット ８ 感染症 講義	１）感染症の原因、成り立ちおよびその予防と主な感染症の動向を理解する。	(1)感染成立の三要因およびその対策について説明することができる。 (2)主な感染症の動向について説明することができる。	教科書1.の感染症 （Ｉ編5章P60～75）を精読する 4時間	認知 （想起）
9	6/5 (月) ４限	藤本	ユニット ９ 廃棄物処理 講義	１）廃棄物とその処理について理解する。	(1)一般廃棄物と産業廃棄物について説明することができる。 (2)特別管理廃棄物について説明することができる。 (3)診療室から出る廃棄物の種類と処理方法について説明することができる。	教科書１の健康と環境（Ｉ編４章P56～59）を精読する 4時間	認知 （問題解決）
10	6/12 (月) ４限	内藤	ユニット 10 食中毒 講義	１）食品保健、食中毒を理解する。 ２）国民栄養の現状、栄養と健康を理解する。	(1)食中毒の分類、原因、発生状況および食品の安全性確保について説明することができる。 (2)日本人の食事摂取基準、国民栄養の現状と問題点、食生活指針について説明することができる。	教科書1.の食品と健康 （Ｉ編６章P76～82、82～86）を精読する 4時間	認知 （想起）
11	6/19 (月) ４限	島津	ユニット 11 地域保健 講義	１）地域保健について理解する。	(1)地域保健を担う組織、ヘルスプロモーションならびに地域保健の基本的な進め方について説明することができる。	教科書１の地域保健・公衆衛生（III編1章P216～247）を精読する 4時間	認知 （想起）
12	6/26 (月) ４限	島津	ユニット 12 母子保健 講義	１）母子保健事業について理解する。	(1)母子保健事業（母子健康手帳、妊産婦・乳幼児の保健指導および健康診査など）について説明することができる。	教科書１の母子保健（III編2章P248～262）を精読する 4時間	認知 （想起）
13	7/3 (月) ４限	島津	ユニット 13 学校保健 講義	１）学校保健について理解する。	(1)学校保健の対象者と関係職員、保健教育・保健管理・学校保健委員会について説明することができる。	教科書１の学校保健（III編2章P263～279）を精読する 4時間	認知 （想起）
14	7/10 (月) ４限	島津	ユニット 14 成人保健・産業保健 講義	１）成人および産業保健について理解する。	(1)成人保健の現状およびその対策について説明することができる。 (2)生活習慣病のリスクファクターについて説明することができる。 (3)産業保健の目的、根拠法令、作業環境管理、作業管理、健康管理およびＴＨＰについて説明することができる。	教科書１の成人保健（III編4章P280～286）と産業保健（III編5章P287～298）を精読する 4時間	認知 （想起）
15	7/24 (月) ４限	内藤	ユニット 15 高齢者保健・国際保健 講義	１）高齢者保健について理解する。 ２）国際保健について理解する。	(1)高齢者保健の現状およびその対策について説明することができる。 (2)介護保険制度の概要について説明できる。 (3)国際保健の概要を説明することができる。	教科書１の老人（高齢者）保健（III編6章P299～308）、国際保健（III編9章P325～329）を精読する 4時間	認知 （想起）

看護学総論

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　15 コマ；30 時間　1 単位
受験資格要件：　2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号　：　DH021202
評価責任者：　松尾　忠行
授業担当者：　末松美保子

１．一般目標

歯科衛生士が、全身管理を視野に入れた口腔管理や予防を実践するために、病院における歯科衛生士の役割とチーム医療について理解することができる。また、専門職としての思考力や判断力を養うために、基本的な看護技術についても理解することができる。さらに、地域医療活動における歯科衛生士の役割について理解することができる。

２．教育方法

講義

医療機関（病院等）、施設などで、看護師として患者や要介護高齢者の看護に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、DVD＋PC＋プロジェクター

４．学修方法

授業には、遅刻せず始業時間には着席していること。指定教科書と配布資料等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。歯科保健指導や健康学などと関連付けた学修をする。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布資料等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。　【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

５．評価

総括評価：記述試験（１００％）
フィードバック：試験結果（成績）、模範解答は試験終了後に掲示する。
尚、詳細は講義の初日に解説する。

６．教科書

１．「歯科衛生士のための看護学大意　第４版」全国私立歯科大学・歯学部附属病院看護部長会編医歯薬出版　2023

７．参考書

１．「系統看護学講座　看護学概論　基礎看護学［１］」　医学書院　　藤崎　郁他

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/19 (火) 3限	末松	オリエンテーション ユニット 1 病院における歯科衛生士の役割 講義	1）歯科衛生士の活動の場について理解し、医療チームの中での歯科衛生士の役割について理解する。	(1)活動の場について理解し、医療チームの中での活動について理解することができる。 (2)歯科衛生士の役割、医療チームの職種について説明できる。	教科書のP2-11を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
2	9/26 (火) 3限	末松	ユニット 2 看護の概念 講義	1）看護の歴史について学び、看護の起こりと歴史的変遷を理解する。	(1)近代看護について理解することができる。 (2)ナイチンゲールが現代の看護に貢献している点について説明できる。	教科書のP14-19を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
3	10/3 (火) 3限	末松	ユニット 2 看護の概念 講義	2）看護とは何かについて理解することができる。	(1)看護とはなにか、誰のために、どのように行うのか理解することができる。 (2)看護の対象者について説明できる。	教科書１．のP2-10を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/10 (火) 3限	末松	ユニット3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	1) 健康とは何か、健康の状態の把握について理解する。	(1)バイタルサインの測定方法について理解することができる。 (2)測定時の留意点について説明できる。	教科書のP20-21を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起・解釈)
5	10/17 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	2) 酸素療法と吸引について理解する。	(1)吸引の種類と方法について、安全で適切な方法について理解することができる。酸素療法について理解することができる。 (2)吸引方法の種類と留意点について述べることができる。	教科書のP58-59を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
6	10/24 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	3) 患者の安全と安楽について理解する。	(1)安楽への援助と具体的技術について理解することができる。 (2)安楽な体位の工夫について説明できる。	教科書のP46-49を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
7	10/31 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義・演習	4) 摂食への支援について理解する。	(1)経管栄養法、静脈栄養法について理解することができる。 (2)経管栄養における留意点について説明できる。	教科書のP52-53、配布資料を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
8	11/7 (火) 3限	末松	ユニット 3 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	5) 薬物治療患者への寛喜について理解する。	(1)与薬について、薬物の種類や保管方法について理解することができる。 (2)与薬上の留意点について説明できる。	教科書のP54-55を精読し、ノートに書く。 1時間	認知 (想起)
9	11/14 (火) 3限	末松	ユニット 4 歯科衛生士に必要な看護実務 講義	1) 患者の観察と外来、病棟での業務について理解する。	(1)外来、入院患者の特徴と基本的看護について理解することができる。 (2)全身疾患を有する患者の看護における留意点について説明できる。	教科書のP61-10を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
10	11/21 (火) 3限	末松	ユニット4 歯科衛生士に必要な看護実務 講義	2) 救急時の看護について理解する。	(1)一次救命処置について理解することができる。 (2)心肺蘇生時の留意点について説明できる。	教科書のP78-80を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
11	11/28 (火) 3限	末松	ユニット4 歯科衛生士に必要な看護実務 講義	3) 患者の安全と危機管理について理解する。	(1)消毒と滅菌方法および、取扱いについて理解し、感染予防対策やリスクマネージメントについて理解することができる。 (2)標準予防対策について説明できる。	教科書のP81-97を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
12	12/5 (火) 3限	末松	ユニット5 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	1）患者への支援について理解する。	(1)認知症患者への接し方について理解することができる。 (2)認知症の中核症状とBPSDについて説明できる。	配布資料を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
13	12/12 (火) 3限	末松	ユニット5 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 講義	1）災害時の看護について理解する。	(1)どのような災害があるか理解することができる。 (2)具体的な支援について理解することができる。	配布資料を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
14	12/19 (火) 3限	末松	ユニット6 地域活動における歯科衛生士の役割 講義	1）地域社会における看護の在り方について理解する。	(1)在宅医療について理解することができる。 (2)在宅医療を支える職種について説明できる。	教科書のP98-105を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
15	1/9 (火) 3限	末松	ユニット7 地域活動における歯科衛生士の役割 講義・DVD視聴・グループワーク	1）在宅医療における看護活動から歯科衛生士の役割について理解する。	(1)地域医療にかかわるチーム医療の実際について理解することができる。 (2)DVD視聴後、グループの中で意見を述べることができる。	教科書のP105-110を精読し、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起・解釈)

歯周病治療学

開講時期：　2年次前期
授業時間数：　15コマ；30時間1単位
受験資格要件：2/3（10コマ）以上の出席
科目番号：　DH021213
評価責任者：　力丸哲也
授業担当者：　力丸哲也

１．一般目標

本授業は将来歯科衛生士として多様な対象者に、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な歯周病治療に関する基本的知識を体系的に修得し、理論的に分析・考察するための科学的思考を修得する。

２．教育方法

講義　大学病院において歯科医師として歯周病治療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、PC＋プロジェクター

４．学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業には指定教科書を必ず持参する事。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど事前学修を怠らない事。授業中は指示された教科書内の重要箇所にアンダーラインを引き、必要に応じてノートを取ること。授業後は教科書やノート等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については、教員に質問し確実に理解する事。

［単位修得に必要な授業外学修時間：15時間］

５．評価方法

［形成的評価］ミニテスト
［フィードバック］試験結果ならびに正解例は採点後掲示する。
［総括的評価］記述試験（80%）・ミニテスト（20%）
［フィードバック］試験結果ならびに正解例は採点後掲示する。

６．教科書

『新・歯科衛生士教育マニュアル　歯周病学』　栢　豪洋　他編集、クインテッセンス出版、2018

７．参考書

『最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論』　高阪利美、全国歯科衛生士教育協議会、医歯薬出版、2021

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/10 （月） ２限	力丸	ユニット１ 歯周病治療学概論 歯周組織の構造と機能 ［講義］	１）歯周病の定義を理解する。 ２）歯周病治療の意義と目的を理解する。 ３）歯周組織の構造と機能を理解する。	（１）歯周病の定義を説明できる。 （２）歯周病治療の意義と目的を説明できる。 （３）歯周組織の構造を図示できる。 （４）歯周組織の構造と機能をを説明できる。	教科書P12-20を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
2	4/17 （月） ２限	力丸	ユニット２ 歯周病の疫学 ユニット３ 歯周病の予防 ［講義］	１）歯周病の実態を理解する。 ２）歯周病の疫学に用いる指数を理解する。 ３）歯周病予防の基礎を理解する。	（１）日本人の歯周病の有病状況を説明できる。 （２）日本人の歯周病治療の受診状況を説明できる。 （３）歯周病の疫学に用いる指数を説明できる。 （４）プラークコントロールを説明できる。	教科書P24-38を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
3	4/24 （月） ２限	力丸	ユニット４ 歯周病の原因 ［講義］	１）歯周病の局所的原因を理解する。	（１）歯周病の局所的原因を分類し、列挙できる。 （２）歯周病の局所的原因を説明できる。	教科書P39-51を精読する。 （１時間）	認知 （想起）

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	5/1 （月） ２限	力丸	ユニット４ 歯周病の原因 ［講義］	１）歯周病の全身的原因を理解する。	（１）歯周病の全身的原因を分類し、列挙できる。 （２）歯周病の全身的原因を説明できる。 （３）歯周病のリスクファクターを説明できる。	教科書 P51-57 を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
5	5/8 （月） ２限	力丸	ユニット５ 歯周病の病態と分類 ［講義］	１）歯周病の病態を理解する。	（１）歯周組織の病的変化を説明できる。	教科書 P58-71 を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
6	5/15 （月） ２限	力丸	ユニット６ 歯周病の病態と分類 ［講義］	１）歯周病の分類を理解する。	（１）歯周病を分類できる。 （２）歯周病の種類を説明できる。	教科書 P71-76 を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
7	5/22 （月） ２限	力丸	ユニット６ 歯周病の病態と分類 ［講義］	１）歯周病の分類を理解する。	（１）歯周病の種類を説明できる。	教科書P77-83を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
8	5/29 （月） ２限	力丸	ユニット７ 歯周病の検査 ［講義］	１）歯周組織の検査を理解する。	（１）歯周組織の検査法を説明できる。 （２）歯周組織の検査結果を説明できる。	教科書P84-89を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
9	6/5 （月） ２限	力丸	ユニット７ ［講義］	１）歯周組織の検査を理解する。	（１）歯周組織の検査法を説明できる。 （２）歯周組織の検査結果を説明できる。	教科書 P90-99 を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
10	6/12 （月） ２限	力丸	ユニット８ 歯周病の診断と治療の進め方 ユニット９ 歯周治療の実際 ［講義］	１）歯周治療の診断と治療の進め方を理解する。 ２）歯周基本治療を理解する。	（１）歯周治療の流れを説明できる。 （２）歯周基本治療の目的と意義を説明できる。	教科書 P100-115 を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
11	6/19 （月） ２限	力丸	ユニット９ 歯周治療の実際 ［講義］	１）歯周基本治療を理解する。	（１）歯周基本治療を列挙できる。 （２）歯周基本治療の内容を説明できる。	教科書 P116-129 を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
12	6/26 （月） ２限	力丸	ユニット 10 歯周外科治療 ［講義］	１）歯周外科治療を理解する。	（１）歯周外科治療の目的を説明できる。 （２）歯周外科治療の適応と禁忌を説明できる。 （３）歯周外科治療の分類と術式を大まかに説明できる。	教科書P131-136を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
13	7/3 （月） ２限	力丸	ユニット 10 歯周外科治療 ［講義］	１）歯周外科治療を理解する。	（１）歯周外科治療の分類と術式を大まかに説明できる。 （２）ペリオドンタルパックの目的と取扱いを説明できる。	教科書P136-146を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
14	7/10 （月） ２限	力丸	ユニット 10 根分岐部に対する処置 ユニット 11 口腔機能回復治療［講義］	１）根分岐部に対する処置を理解する。 ２）口腔機能回復治療を理解する。	（１）根分岐部に対する処置の種類と目的を説明できる。 （２）口腔機能回復治療の目的を説明できる。 （３）口腔機能回復治療の種類を説明できる。	教科書 P148-163を精読する。 （１時間）	認知 （想起）
15	7/24 （月） ２限	力丸	ユニット 12 メインテナンス ［講義］	１）歯周治療後のメインテナンスを理解する。	（１）歯周治療後のメインテナンスを分類できる。 （２）歯周治療後のSPTを説明できる。 まとめ	教科書P165-176を精読する。 （１時間）	認知 （想起）

高齢者・障害者歯科学

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　15コマ；30時間1単位
受験資格要件：　2/3（10コマ）以上の出席
科目番号：　DH021218
評価責任者：　松尾　忠行
授業担当者：　梅崎陽二朗、江頭　留依、田﨑　園子

１．一般目標
　精神・身体的な能力の不全を有し、歯科保健医療を健常な人達と同じように受けることができない障害者や重篤な基礎疾患を有した者、要介護高齢者を対象に、歯科保健医療を提供するための基本的知識や歯科治療法および口腔ケアに関する問題点とそれらへの対処法について理解する。

２．教育方法
　スライドおよび配付プリントを用いた講義

３．教育教材
　教科書、プリント、プロジェクター
　大学病院において診療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

４．学修方法
　授業には、指定教科書と配布プリント等を持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本講義は、３年次「臨床実習」の理解に必要不可欠である。
【単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間】

５．評価方法
［総括的評価］定期試験：記述試験（100%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

６．教科書
全国歯科衛生士教育協議会　監修：『歯科衛生学シリーズ　障害者歯科学』、医歯薬出版、2023
森戸光彦 編集主幹：歯科衛生士講座 高齢者歯科学、第 3 版、永末書店、2017

７．参考書
『スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科』日本障害者歯科学会 編集 第2版、医歯薬出版、2017

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/10 (月) 3限	田﨑	ユニット 1 障害者歯科学序論 【講義】	1）障害者が置かれた環境について理解する。	(1) 障害者の定義を説明できる。 (2) 障害者関連法規を説明できる。 (3) 障害者の医療、福祉制度を説明できる。 (4) ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザインを説明できる。 (5) 障害者の QOL を説明できる。 (6) 国際生活機能分類を説明できる。 (7) 障害者の家族の心理を説明できる。 (8) 障害者歯科におけるパターナリズムとインフォームドコンセントを説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 (解釈)
2	4/17 (月) 3限	田﨑	ユニット 2 障害児の成長発達 ［講義］	1）障害児の成長・発達について健常児との違いを理解する。	(1) 粗大運動発達を説明できる。 (2) 微細運動発達を説明できる。 (3) 原始反射を説明できる。 (4) 吸啜・摂食咀嚼の発達を説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 (解釈)
3	4/24 (月) 3限	田﨑	ユニット3 疾患各論（1） ［講義］	1）種々の疾患（障害）の特徴と歯科保健医療上の留意事項について理解する。	(1) 視覚・聴覚・構音障害について説明できる。 (2) 内部障害が列挙できる。 (3) 精神遅滞について説明できる。 (4) Down 症候群について説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育目標 領域
4	5/1 （月） 3限	田﨑	ユニット3 疾患各論（２） ［講義］		(1) 発達障害（自閉スペクトラム症ほか）について説明できる。 精神疾患について説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 （解釈）
5	5/8 （月） 3限	田﨑	ユニット3 疾患各論（３） ［講義］		(1) 脳性麻痺について説明できる。 (2) 重症心身障害について説明できる。 てんかんについて説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 （解釈）
6	5/15 （月） 3限	田﨑	ユニット 4 障害者への対応 【講義］	１）障害者歯科診療における患者への対応法について理解する。	(1) 感覚障害をもつ者への対応を説明できる。 (2) 行動変容法を説明できる。 (3) 体動のコントロールや開口保持について説明できる。 (4) 薬物による行動調整法（鎮静法、全身麻酔法）を説明できる。 (5) 身体拘束について説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 （解釈）
7	5/22 （月） 3限	田﨑	ユニット 5 障害者の口腔ケアと地域医療 ［講義］	１）障害者の QOL の維持・向上について理解する。 ２）地域における医療連携について理解する。	(1) 障害者の口腔ケアの必要性と留意点を説明できる。 (2) 障害児の摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 (3) 障害者歯科診療におけるリスク評価と対応を説明できる。 (4) 一過性菌血症とその予防について説明できる。 (5) 地域における障害者歯科医療を説明できる。 (6) 障害者歯科医療における多職種連携を説明できる。	教科書の該当箇所を読む。 1時間	認知 （解釈）
8	5/29 （月） 3限	梅﨑	ユニット 6 高齢社会の現状 ［講義］	1）高齢社会の現状について理解する。	(1) 高齢社会の現状を説明できる。 (2) おもな人口学的指標を列挙できる。 (3) 高齢社会の問題点を説明できる。	資料振り返り 復習１時間	認知 （問題解決）
9	6/5 （月） 3限	梅﨑	ユニット 7 加齢変化と高齢者の特性 ［講義］	1）全身と口腔の加齢変化を理解する。	(1) 老化のメカニズムを説明できる。 (2) 高齢者の身体的特徴を説明できる。 (3) 口腔領域の加齢変化を説明できる。 (4) 認知症の症状、分類を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修 復習１時間	認知
10	6/12 （月） 3限	梅﨑	ユニット 8 要介護高齢者の歯科医療と医療安全 ［講義］	1) 訪問診療の実際を理解する。 2) リスクマネージメントを理解する。	(1) 訪問診療の特徴を説明できる。 (2) 診療時の介助を説明できる。 (3) 要介護高齢者の診療上の留意点を説明できる。 (4) 医療事故防止策を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修。 復習１時間	認知 （解釈）
11	6/19 （月） 3限	梅﨑	ユニット 9 高齢者の疾患と頻用される薬剤 ［講義］	1) 高齢者に多い疾患と歯科治療上の留意点を理解する。 2) 高齢者の薬剤代謝の特性を理解する。	(1) 高齢者に多い疾患の概略を説明できる。 (2) 老年症候群、サルコペニアを説明できる。 (3) 高齢者に頻用される薬剤とその副作用を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修。 復習１時間	認知 （解釈）
12	6/26 （月） 3限	江頭	ユニット 10 口腔ケア ［講義］	1）要介護高齢者の口腔ケアを理解する。	(1) 口腔ケアの意義を説明できる。 (2) 口腔ケアの定義と関連用語を説明できる。 (3) オーラルフレイルと廃用症候群を説明できる。 (4) 口腔ケアの必要度を示す指標を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修。 復習１時間	認知 （解釈）
13	7/3 （月） 3限	江頭	ユニット 11 摂食・嚥下障害 ［講義］	1) 摂食・嚥下障害の診断を理解する。 2) 摂食嚥下障害のリハビリテーションを理解する。	(1) 嚥下の解剖と生理を説明できる。 (2) 嚥下障害のスクリーニングを説明できる。 (3) 摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修。 復習１時間	認知 （解釈）
14	7/10 （月） 3限	江頭	ユニット 12 要介護高齢者の身体機能と栄養評価 ［講義］	1) 要介護高齢者の機能評価を理解する。 2) 高齢者の栄養評価を理解する。	(1) 高齢者の検査所見と臨床指標を説明できる。 (2) 高齢者の栄養評価を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修。 復習１時間	認知 （解釈）
15	7/24 （月） 3限	江頭	ユニット 13 要介護高齢者の福祉 ［講義］	1) 介護保険の概要を理解する。 2) 福祉と医療の多職種連携を理解する。	(1) 介護保険制度を説明できる。 (2) 要介護高齢者の医療と福祉に関係する職種を説明できる。 (3) 各種の介護福祉施設の特性を説明できる。	前回配付の資料で振り返り学修。 復習１時間	認知 （解釈）

歯科麻酔学・歯科放射線学

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　15 コマ；30 時間 1 単位
（歯科麻酔学 7 コマ、歯科放射線学 8 コマ）
受験資格要件：2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021219
評価責任者：　松尾忠行
担当教員：　池田水子、野上堅太郎
小川美香、守永紗織
香川豊宏、筑井朋子
吉田祥子、稲冨大介

１．一般目標

歯科麻酔学：歯科衛生士として歯科臨床業務に従事する際に必要な局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔に関する事項を理解する。また周術期の全身管理、緊急事態の回避および対処法についても理解を深める。そしてそれらを基盤に一般歯科、口腔外科、インプラント、障害者歯科、高齢者歯科、有病者歯科などについても理解を深めるとともに、安心で安全な歯科医療を患者に提供でき、他職種の医療従事者とも連携できるようになること。

歯科放射線学：歯科放射線診療における適切な補助および放射線防護を行うために放射線の基礎的知識および画像診断学の基本を習得する。

２．教育方法

講義、プリント配布を行う。

大学病院において診療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、PC＋プロジェクター

４．学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。

歯科麻酔学の理解には解剖学、生理学、薬理学、口腔外科学、内科学などの知識が必要である。また歯科麻酔学は日常の歯科臨床業務では不可欠な知識であるうえ、全身管理や緊急事態の回避および対処については医療従事者として必要不可欠な知識である。

歯科放射線学は下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

５．評価

［総括的評価］定期試験：記述試験（100％）

［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

６．教科書

「新・歯科衛生士教育マニュアル　口腔外科学・歯科麻酔学」　クインテッセンス出版　2013

「わかりやすい歯科放射線学　歯科衛生士テキスト」第3版、2017

７．参考書

「顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔　最新歯科衛生士教本」　医歯薬出版　2017

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
1	9/19 (火) 4限	野上	ユニット1 術前管理 ［講義］	歯科医療における術前管理について理解する。	(1)患者の全身状態の評価として、バイタルサインについて説明することができる。 (2)術前の評価として、全身疾患の診察や問診上の注意点、検査項目とその内容について説明することができる。	バイタルサインについて理解する。それぞれのバイタルサインの計測の仕方、評価を理解する。全身疾患の診察や問診上の注意点を理解する。それぞれの臨床検査について理解する。 (1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
2	9/26 (火) 4限	小川 (野上)	ユニット２ 局所麻酔薬 ［講義］	各種の局所麻酔製剤を理解する。	(1)各種局所麻酔薬の特徴を理解し、作用について説明できる。 (2)各種血管収縮薬の特徴を理解し、使用目的と注意点について説明できる。	それぞれの局所麻酔薬の特徴を理解する。 各種血管収縮薬を分類し、それぞれの長所と短所を理解する。 (1時間)	認知 (想起)
3	10/3 (火) 4限	野上	ユニット２ 局所麻酔法 ［講義］	各種の局所麻酔方法を理解する。	(1)表面麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔の違いと特徴を理解する。 (2)各種の伝達麻酔について、奏功範囲について理解する。	表面麻酔、浸潤麻酔、伝達麻酔の違いを理解する。 伝達麻酔の奏功範囲を図で説明する。 (1時間)	認知 (解釈)
4	10/10 (火) 4限	野上	ユニット３ 救急救命処置 ［講義］	救急救命処置を理解する。	(1)一次救命処置の各項目について説明することができる。	一次救命処置の手順、各項目について理解する。 (1時間)	認知 (想起)
5	10/17 (火) 4限	守永	ユニット４ 精神鎮静法 ［講義］	精神鎮静法を理解する。	(1)精神鎮静法の使用目的と適応症・禁忌症について説明できる。 (2)笑気吸入鎮静法と静脈内鎮静法の使用薬剤について理解し説明できる。	笑気吸入鎮静法と静脈内鎮静法の使用薬剤、適応症、禁忌症、取り扱い方法、実施上の注意点を理解すること。 (1時間)	認知 (解釈)
6	10/24 (火) 4限	野上	ユニット５ 歯科治療中の偶発症 ［講義］	救急救命処置を理解する。	(1)歯科治療中の偶発症の各項目について説明することができる。	歯科治療中の偶発症の各項目について症状と治療法を理解する。 (1時間)	認知 (解釈)
7	10/31 (火) 4限	池田	ユニット６ 全身麻酔 ［講義］	全身麻酔を理解する。	(1)全身麻酔の概念と4要素について説明することができる。 (2)術前管理、術中のモニタリング、使用する薬剤や機器について説明することができる。	全身麻酔の概念を理解する。術前管理を理解する。吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、筋弛緩薬、麻薬を理解する。気道確保の方法を理解する。術中管理、術後管理について理解する。 (1時間)	認知 (想起)
8	11/7 (火) 4限	香川	ユニット１ 画像診断概論 ［講義］	１）画像診断の概要について理解する。	１）各種画像検査法の原理を説明することができる。 ２）各種画像検査の特徴を説明することができる。	教科書のP1-3, 115-127を精読する。 (1時間)	認知 (解釈)
9	11/14 (火) 4限	稲冨	ユニット２ 放射線物理学 ［講義］	１）放射線の特徴について理解する。 ２）エックス線発生について理解する。	１）放射線の種類を説明することができる。 ２）エックス線の発生原理を説明することができる。 ３）エックス線と物質の相互作用を説明することができる。 ４）エックス線発生装置の構造を説明することができる。	教科書のP421-20、30-35を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
10	11/21 (火) 4限	稲冨	ユニット３ 写真処理法 ［講義］	１）エックス線写真の画像形成について理解する。	１）現像方式によるエックス線画像形成を説明することができる。 ２）デジタル方式のエックス線画像形成を説明することができる。	教科書のP36-51を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
11	11/28 (火) 4限	筑井	ユニット4 エックス線撮影法 ［講義］	１）口内法エックス線撮影法の原理および適用を理解する。	１）二等分法の撮影法および適用を説明することができる。 ２）平行法の撮影法および適用を説明することができる。 ３）咬翼法の撮影法および適用を説明することができる。 ４）偏心投影法の撮影法および適用を説明することができる。 ５）咬合法の撮影法および適用を説明することができる。	教科書のP32-89を精読する。 (1時間)	認知 (解釈)
12	12/5 (火) 4限	筑井	ユニット５ エックス線撮影法 ［講義］	１）口外法エックス線撮影法の原理および適用を理解する。	１）パノラマエックス線撮影法の原理および適応を説明することができる。 ２）顔面骨エックス線撮影法の種類および適応を説明することができる。	教科書のP90-114を精読する。 (1時間)	認知 (解釈)
13	12/12 (火) 4限	吉田	ユニット6 エックス線撮影法 ［講義］	１）エックス線解剖を理解する。 ２）基本的な疾患のエックス線所見を理解する。	１）口内法エックス線写真の解剖を説明することができる。 ２）パノラマエックス線写真の解剖を説明することができる。 ３）う蝕、歯石、歯周病、歯根嚢胞、歯牙腫、等のエックス線所見を説明することができる。	教科書のP144-163を精読する。 (1時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
14	12/19 (火) 4限	稲冨	ユニット7 放射線生物学 ［講義］	1）放射線が生物に与える影響について理解する。	1）放射線の間接的影響、直接的影響を説明することができる。 2）確率的影響、確定的影響を説明することができる。 3）早期障害、晩期障害を説明することができる。 4）身体的影響、遺伝的影響を説明することができる。	教科書のP12-29を精読する。 (1時間)	認知 (解釈)
15	1/9 (火) 4限	稲冨	ユニット8 放射線生物学 ［講義］	1）放射線防護の目標および基本概念を理解する。	1）放射線の線量の単位を説明することができる。 2）被曝のカテゴリーを説明することができる。 3）放射線防護の３原則を説明することができる。	教科書のP162-179を精読する。 (1時間)	認知 (解釈)

歯科予防処置論（講義）Ⅱ

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　9 コマ；18 時間　1 単位
受験資格要件：　2/3(6 コマ)以上の出席
科目番号：　DH021222
評価責任者：　松尾忠行
授業担当者：　力丸哲也、泉喜和子、松尾忠行、後藤加寿子、黒木まどか、石井綾子、南レイラ、川尻　望、森沙耶香、高木未沙稀、岡崎晴菜、奥村明日香

1．一般目標
　将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を理論的に分析・考察し、さらに問題解決・発見能力を修得する。

2．教育方法
　講義・演習・グループワークを行う。
　大学病院において、歯科医師または歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3．教育教材
　教科書、プリント、DVD、PC ＋プロジェクター

4．学修方法
　授業には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。本授業を理解する上で、歯科予防処置論Ⅰの知識が必要であり、本授業は臨床臨地実習の理解に不可欠である。　［単位修得に必要な授業外学修時間：27 時間］

5．評価方法
　［総括的評価］定期試験:記述試験（80%）平常評価：レポート・観察記録・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）
　［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6．教科書
　1．「最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第 2 版」　高坂利美等、医歯薬出版、2021
　2．「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学」クインテッセンス出版、2018
　3．「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第 2 版」　合場千佳子等、医歯薬出版、2018
　4．「口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第 4 版」　荒川浩久等、学建書院、2020
　5．「新フッ化物で始める虫歯予防」　筒井昭仁等、医歯薬出版、2019
　6．「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療」　クインテッセンス出版、2020
　7．「新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復」　片山直、小松正志、松尾敬志、クインテッセンス出版、2018
　8．「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1　歯科補綴　第 2 版」　赤川安正等、医歯薬出版、2021
　9．「新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学」　クインテッセンス出版、2013
　10．はじめて学ぶ　歯科衛生士のための歯科介護　本間和代　編集　第 3 版　医歯薬出版　2014 年

7．参考書
　なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	9/21 （木） 4 限	力丸 松尾 岡崎 奥村	ユニット 1 臨床検査法 （う蝕・歯周病） ［講義］	1）う蝕・歯周病に関連する臨床検査法を理解する。	（1）う蝕活動性試験が説明できる。 （2）歯周病に関連する検査法が説明できる。	う蝕活動性試験の種類および歯周病検査法を記載すること（3 時間）	認知 （解釈）

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
2	9/27 （水） 1限	松尾 岡崎 奥村	ユニット２ カリオグラム ［講義］	１）う蝕のリスク評価について理解する。	（１）う蝕活動性試験の評価結果（カリオグラム）をもとに、う蝕リスクの診断ができる。	カリオグラムの結果をもとに、う蝕リスクの診断を記載すること（3時間）	認知 （問題解決）
3	9/27 （水） ２限	川尻 岡崎 奥村	ユニット３ 超音波・エアスケーラーの取り扱い ［講義］	１）超音波スケーラーとエアスケーラーについて理解する。	（１）超音波スケーラーの種類と特徴が説明できる。 （２）超音波スケーラーの使用方法が説明できる。 （3）エアスケーラーの種類と特徴が説明できる。 （4）エアスケーラーの使用方法が説明できる。	教科書１．「パワースケーラー（機械的）スケーラー」P207-218 を精読する（3時間）	認知 （解釈）
4 5	10/19 （木） 1,2限	川尻 森 黒木 南 奥村 岡崎	ユニット５ 口腔機能低下症の評価 〔演習、相互実習〕	1）口腔機能低下症を理解する。	(1) 口腔機能低下症に対するスクリーニング検査について説明できる。 (2) 間接訓練について説明できる。 (3) 直接訓練について説明できる。	教科書10　Ｐ158-173口腔リハビリの手法について調べる（3時間）	認知 （問題解決） 精神･運動 （コントロール） 情意 （反応）
6	10/20 （金） 4限	黒木	ユニット４ PMTC ［講義］	１）PMTC について理解する。	(1) PMTC の目的が説明できる。 (2) PMTC の有効性が説明できる。 (3) PMTC で必要な器具や材料が説明できる。 (4) PMTC の手順が説明できる。	教科書１のP222-230を精読する （3時間）	認知 （想起）
7 8	A:10/27 （金） 1,2限 B:11/1 （水） 1,2限	川尻 井上 南 奥村 川尻 泉 南 奥村	ユニット５ 口腔機能低下症の支援・リハビリ 〔演習〕	1）口腔機能低下症の検査法を理解し実施する。 2）口腔機能低下の症状と管理(介入)方法を理解する。 3）口腔機能低下症に対する指導法を理解し実施する。	(1) 口腔機能低下症の検査の実施と評価ができる。 ・口腔衛生状態の不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下、EAT-10、自記式質問票 (2) 口腔機能低下症の管理(介入)方法を説明できる。 ・全身状態、栄養状態、口腔衛生状態不良、口腔乾燥、口唇の運動機能の低下、舌の運動機能の低下、舌の筋力の低下、咬合力・咀嚼機能の低下、嚥下機能の低下 (3) 口腔機能低下症に対する指導ができる。	口腔機能低下症の検査と評価法について調べる。 （予習2時間） 演習内容のまとめを行う。 （1時間）	認知 （問題解決） 精神･運動 （コントロール） 情意 （反応）
9	12/20 （水） 4限	川尻 奥村 岡崎	ユニット６ シーラント ［講義］	１）シーラントについて理解する。	(1) シーラントの目的が説明できる。 (2) シーラントの有効性が説明できる。 (3) シーラントで必要な器具や材料が説明できる。 (4) シーラントの手順が説明できる。	教科書１．「小窩裂溝填塞」 P254-260を精読する （3時間）	認知 （解釈）

歯科予防処置実習Ⅲ

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　20 コマ；40 時間 1 単位
受験資格要件：　4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021225
評価責任者：　川尻　望
授業担当者：　泉喜和子、堀部晴美、力丸哲也
石井綾子、井上庸子、黒木まどか
南レイラ、森沙耶香、高木未沙稀
岡崎晴菜、奥村明日香

1．一般目標
本授業は将来、歯科衛生士として個人に対し、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な口腔内の情報を収集するとともに、口腔の健康を導き支援することができるための知識や技術および態度を修得する。

2．教育方法
講義・演習・実習・相互学習・小グループ学習
歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3．教育教材
教科書、プリント、配布資料、PC＋プロジェクター、DVD、各種実習器材

4．学修方法
授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、歯科診療補助実習、歯科保健指導実習や口腔解剖学、口腔病理学、口腔衛生学、歯周病治療学で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。
［単位修得に必要な授業外学修時間：20 時間］

5．評価方法
［形成的評価］ミニテスト、レポートなど
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。
［総括的評価］記述試験（80%）・ミニテスト・課題レポート（10%）授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）
［フィードバック］試験結果のフィードバックは採点後、答案を返却するとともに正解例を掲示する。

6．教科書
1．「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版　第 2 版　2021
2．「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第 2 版」医歯薬出版　2020
3．「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学」クインテッセンス出版　2018
4．「歯科臨床の基礎と概論」クインテッセンス出版 2020

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	4/5 (水) 3限	力丸	ユニット1-2 口腔衛生アセスメント2 ～歯周組織の観察・記録～ ［講義］	1）歯周組織検査の種類と方法を理解する。 2）根分岐部診査について理解する。	(1)歯周組織検査の種類と方法を説明することができる。 (2)根分岐部診査の方法を説明することができる。	教科書1.P144-151、166-167、教科書3.のP85-95をまとめる。 (1時間)	認知 (解釈)
2	4/13 (木) 3 限	堀部 岡崎 奥村	ユニット1-1 口腔衛生アセスメント1 ～歯式・粘膜の観察・記録～ ［講義］	1）医療面接について理解する。 2）口腔内各部の名称を理解する。 3）歯牙の観察について理解する。 4）正常な粘膜について理解する。	(1)医療面接の目的が説明できる。 (2)口腔内各部の名称と部位が説明できる。 (3)歯式をとるために必要な歯牙の観察法が説明できる。 (4)正常な粘膜について説明できる。	臨床概論ユニット1･2で学修した内容を振り返り、教科書1.のP120-137をまとめる。 (1 時間)	認知 (解釈)
3	4/13 (木) 4限	堀部 井上 森 川尻 高木 岡崎 奥村	ユニット1-1 口腔衛生アセスメント1 ～歯式・粘膜の観察・記録～術者1人目 ［実習］	1）医療面接について理解する。 2）口腔内各部の名称を理解する。 3）歯牙の観察について理解する。 4）正常な粘膜について理解する。	(1)医療面接の目的が説明できる。 (2)口腔内各部の名称と部位が説明できる。 (3)歯式をとるために必要な歯牙の観察法が説明できる。 (4)正常な粘膜について説明できる。	臨床概論ユニット1･2で学修した内容を振り返り、教科書1.のP120-137をまとめる。 (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4 5	4/19 (水) 3,4 限	堀部 岡崎 奥村 泉 川尻 高木	ユニット1-1 口腔衛生アセスメント1 ～歯式・粘膜の観察・記録～ 術者2.3人目 ［実習］	1) 医療面接について理解する。 2) 口腔内各部の名称を理解する。 3) 歯牙の観察について理解する。 4) 正常な粘膜について理解する。	(1)医療面接の目的が説明できる。 (2)口腔内各部の名称と部位が説明できる。 (3)歯式をとるために必要な歯牙の観察法が説明できる。 (4)正常な粘膜について説明できる。	臨床概論ユニット1･2で学修した内容を振り返り、教科書1.のP120-137をまとめる。 (2時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
6 7	4/26 (水) 3,4限	力丸 泉 黒木 川尻 高木 岡崎 奥村	ユニット1-2 口腔衛生アセスメント2 ～歯周組織の観察・記録、根分岐部病変含む～ （マネキン） ［実習］	1) 歯周組織検査の操作法について理解する。 2) 根分岐部診査の操作法について理解する。	(1)プロービングの操作と動揺度診査をマネキン上で実施できる。 (2)ファーケーションプローブの操作をマネキン上で実施できる。	ユニット1-1で学修した内容を確認する。 ユニット1-2講義の内容をまとめる。 (2時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
8 9	5/11 (木) 3,4限	南 石井 井上 川尻 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1-3 口腔衛生アセスメント3 ～初診患者の対応～医療面接・歯式・口腔内写真（染色前後）・染色 術者1人目 ［相互実習］	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 歯牙の観察について理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)歯式をとることが出来る。	ユニット1-2の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 (2時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
10 11	5/18 (木) 3,4限	南 石井 井上 川尻 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1-3 口腔衛生アセスメント3 ～初診患者の対応～医療面接・歯式・口腔内写真（染色前後）・染色 術者2人目 ［相互実習］	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 歯牙の観察について理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)歯式をとることが出来る。	ユニット1-2の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 (2時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
12 13	5/19 (金) 3,4限	南 石井 森 川尻 高木 岡崎 奥村	ユニット1-3 口腔衛生アセスメント3 ～初診患者の対応～医療面接・歯式・口腔内写真（染色前後）・染色 術者3人目 ［相互実習］	1) 医療面接について理解する。 2) 健康調査票の記載法を理解する。 3) 歯牙の観察について理解する。	(1)必要な医療面接が実施できる。 (2)患者から収集した情報を、健康調査票に記録することができる。 (3)歯式をとることが出来る。	ユニット1-2の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 (2時間)	認知 (問題解決) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
14 15	5/25 (木) 3,4限	川尻 力丸 黒木 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1-4 口腔衛生アセスメント4 ～歯周組織の観察記録①～ PMA・P検査 術者1人目［相互実習］	1) 口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 2) 検査結果の説明方法を理解する。	(1) 口腔内診査(歯周組織検査)を実施し、チャートに記録することができる。 (2)検査結果を患者に説明できる。	ユニット1-2の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 (2時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (模倣) 態度 (受入)
16 17	5/26 (金) 3,4限	川尻 井上 黒木 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1-4 口腔衛生アセスメント4 ～歯周組織の観察記録①～ PMA・P検査 術者2人目 ［相互実習］	1) 口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 2) 検査結果の説明方法を理解する。	(1) 口腔内診査(歯周組織検査)を実施し、チャートに記録することができる。 (2)検査結果を患者に説明できる。	ユニット1-2の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 (2時間)	認知 (問題解決) 精神 精神運動 (模倣) 態度 (受入)
18 19	6/1 (木) 3,4限	川尻 力丸 黒木 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1-4 口腔衛生アセスメント4 ～歯周組織の観察記録①～ PMA・P検査 術者3人目 ［相互実習］	1) 口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 2) 検査結果の説明方法を理解する。	(1) 口腔内診査（歯周組織検査）を実施し、チャートに記録することができる。 (2)検査結果を患者に説明できる。	ユニット1-2の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 (2時間)	認知 (問題解決) 精神 精神運動 (模倣) 態度 (受入)
20	7/21 (金) 4限	南	ユニット2 歯面清掃機 ※松風依頼 ［講義］	1) 歯面清掃機の適応、使用方法について理解する。 2) 施術内容の説明方法を理解する。	(1) 歯面清掃を実施することが出来る。 (2) 施術内容を患者に説明できる。 **授業評価アンケート**	教科書1のP230-233を精読し、まとめる。 （1時間）	認知 (想起) 精神 精神運動 (模倣) 態度 (受入)

歯科予防処置実習Ⅳ

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　40 コマ；80 時間　2 単位
受験資格要件：　4/5（32 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021226
評価責任者：　黒木まどか
授業担当者：　泉喜和子、後藤加寿子、石井綾子
南レイラ、川尻　望、黒木まどか
森沙耶香、岡崎晴菜、奥村明日香

１．一般目標
　将来、歯科衛生士として多様な対象者の QOL 向上支援を、根拠や理論に基づく論理的な分析・考察を通して実施するために必要な歯科予防処置の知識や技術を修得する。また、歯科医療に携わる専門職の自覚と倫理観を、口腔保健管理を実践するために必要な態度として修得する。

２．教育方法
　講義・演習・実習
大学病院、歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う

３．教育教材
　教科書、プリント、配布資料、PC＋プロジェクター、DVD

４．学修方法
　授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔生理学、歯科予防処置論Ⅰ・実習Ⅰ、保健指導論Ⅰ・実習Ⅰの知識が必要であり、本授業は歯周病治療学、歯科予防処置論Ⅱ・実習Ⅲ・実習Ⅴの理解、歯科保健指導論Ⅱ・実習Ⅱ実習Ⅲの理解に不可欠である。
［単位修得に必要な授業外学修時間：11 時間］

５．評価方法
［形成的評価］ミニテスト、レポート
［フィードバック］レポートは、不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。ミニテストは次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。
［総括的評価］記述試験（70%）・客観試験（ミニテスト）（20%：ユニット２）授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度）（10%）
［フィードバック］以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。尚、詳細は各ユニットの初日に説明する。

６．教科書
１．『最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版　第 2 版 2021 年
２．『新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学』クインテッセンス出版　2011 年
３．『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第 2 版』医歯薬出版　2020 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1 2	4/12 （水） 3,4 限	後藤 石井 森 奥村 岡崎	ユニット 1 口腔衛生アセスメント1 歯の観察・記録 ［講義・演習］	1）歯の検査方法について理解する。 2）歯の本数、修復物、補綴装置の状況を理解する。	(1) 歯周病のリスクを判断することができる。 (2) 口腔内写真から、歯の本数、修復物、補綴装置の状況を正確に記録することができる。	教科書1の「歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理P 133-152」を精読する。 (1時間)	認知 （想起） 情意 （受入） 精神運動 （模倣）
3	6/7 （水） 2 限	南	ユニット2 歯面研磨・歯面清掃 ［講義］	1）歯面研磨について理解できる。	(1) 歯面研磨・歯面清掃の目的と特徴を説明できる。 (2) 歯面研磨・歯面清掃の有用性を説明できる。 (3) 歯面研磨・歯面清掃の手順が説明できる。	教科書1の「歯面研磨P 222-233」を精読する。 (1時間)	認知 （想起） 情意 （受入）

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4 5	6/7 （水） 3,4限	川尻 森 黒木 奥村	ユニット2 歯面研磨・歯面清掃 ［マネキン実習］	1）歯面研磨・歯面清掃が実施できる。	(1) 歯面研磨・歯面清掃を行う器材を選択できる。 (2) 歯面研磨・歯面清掃方法を選択し、実施できる。	教科書1.の「歯面研磨P 222-233」を精読する 講義で配布した授業プリントを復習する （0.5時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神運動 （模倣）
6 7	6/8 （木） 3,4限	南 後藤 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット2 歯面研磨・歯面清掃 ［マネキン実習］				
8 9	6/9 （金） 3,4限	南 後藤 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット ３ スケーリング相互実習前オリエンテーション１ ［講義］ ユニット３ スケーリング相互実習前オリエンテーション２ ［実習］	1）スケーリング操作を理解する。 2）口腔内の観察項目とポイントを理解する。 3）歯周治療の流れを理解する。	(1) スケーリング操作の手順を説明できる。 (2) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (3) 口腔のアセスメント項目を列挙できる。 (4) 歯周治療の流れを説明できる。	教科書1の手用スケーラー」p186-201、「ミラーテクニック」P 220-222、教科書２の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」を精読する。 （0.5時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神運動 （模倣）
10 11	6/15 （木） 3,4限	黒木 井上 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット３ スケーリング相互１(部位：31-38) （３人一組：1人目） ［実習］	1）スケーリングが実施できる。 2）口腔内状況に応じた患者指導ができる。	(1) 歯肉や歯石の状態に合わせてスケーラーを選択し、安全なスケーリング操作を実施できる。 (2) 部位に合わせた適切なポジショニングをとることができる。 (3) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (4) 口腔アセスメントを実施し、記録できる。	教科書1「部位別操作P196,198,199」教科書２「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。教科書２の「歯周病の予防と歯周病の原因P32-57」を参照し、患者指導案をまとめる。 （1時間）	情意 （反応） 精神運動 （コントロール）
12 13	6/16 （金） 3,4限	黒木 泉 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット３ スケーリング相互２(部位：31-38) （３人一組：２人目） ［実習］				
14 15	6/21 （水） 1,2限	黒木 力丸 泉 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット３ スケーリング相互３(部位：31-38) （３人一組：３人目） ［実習］				
16 17	6/22 （木） 3,4限	黒木 力丸 井上 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット３ スケーリング相互４(部位：41-48) （３人一組：1人目） ［実習］	1）スケーリングが実施できる。 ２）口腔内状況に応じた患者指導ができる。	(1) 歯肉や歯石の状態に合わせてスケーラーを選択し、安全なスケーリング操作を実施できる。 (2) 部位に合わせた適切なポジショニングをとることができる。 (3) スケーリング時に起こりうる不快事項とその予防法を説明できる。 (4) 口腔アセスメントを実施し、記録できる。	教科書1「部位別操作P197,200,201」教科書２「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。教科書２の「歯周病の予防と歯周病の原因P32-57」を参照し、患者指導案をまとめる。 （1時間）	情意 （反応） 精神運動 （コントロール）
18 19	6/23 （金） 3,4限	黒木 力丸 井上 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット３ スケーリング相互５(部位：41-48) （３人一組：2人目） ［実習］				
20 21	6/28 （水） 1,2限	黒木 力丸 泉 川尻 森 奥村	ユニット３ スケーリング相互６(部位：41-48) （３人一組：３人目） ［実習］				
22 23	6/30 （金） 3,4限	南 泉 後藤 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット４ 歯面研磨・歯面清掃 ［相互実習］	1）歯面研磨・歯面清掃が実施できる。	(1) 歯面研磨・歯面清掃を行う器材を選択できる。 (2) 歯面研磨・歯面清掃方法を選択し、安全性や患者に配慮した操作で実施できる。 (3) 使用した器具・器材の適切なメインテナンスができる。	教科書１の「歯面研磨P 222-233」を精読する。 （0.5 時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神運動 （コントロール）
24 25	7/5 （水） 3,4限	南 泉 後藤 森 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット４ 歯面研磨・歯面清掃 ［相互実習］				

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
26 27	7/6 （水） 3,4限	南 後藤 井上 森 奥村 岡崎	ユニット４ 歯面研磨・歯面清掃 ［相互実習］				
28 29	7/7 （金） 3,4限	川尻 泉 井上 黒木 森 奥村 岡崎	ユニット４ 口腔衛生アセスメント4 ～歯周組織の観察記録①～ PMA・P検査 術者1人目 ［相互実習］	1）口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 2）検査結果の説明方法を理解する。	(1) 口腔内診査（歯周組織検査）を実施し、チャートに記録することができる。 (2)検査結果を患者に説明できる。	歯科予防処置実習Ⅲ ユニット1-4の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 （1時間）	認知 （問題解決） 精神 精神運動 （模倣） 態度 （受入）
30	7/11 （火） 4限	川尻 奥村 岡崎	ユニット４ 口腔衛生アセスメント4 ～歯周組織の観察記録②～ PMA・P検査 術者2人目 ［相互実習］				
31	7/12 （水） 1限	川尻 力丸 泉 井上 黒木					
32	7/12 （水） 2限	川尻 力丸 泉 井上 黒木	ユニット５ シャープニング ［講義］	1）シャープニングについて理解できる。	(1) シャープニングの原則および目的を説明できる。 (2) シャープニングする各種スケーラーの形態と名称を説明できる。 (3) 砥石を説明できる。	1年前後期に学習したスケーラーの形態について、授業で配布されたプリントを復習する。 教科書1.の「シャープニングP202-208」を精読する （1時間）	認知 （想起） 情意 （受入） 精神運動 （模倣）
33 34	7/13 （木） 3,4限	黒木 川尻 井上 森 奥村 岡崎	ユニット４ 口腔衛生アセスメント4 ～歯周組織の観察記録②～ PMA・P検査 術者3人目 ［相互実習］	1）口腔内情報（歯周組織検査）の収集法を理解する。 2）検査結果の説明方法を理解する。	(1) 口腔内診査（歯周組織検査）を実施し、チャートに記録することができる。 (2)検査結果を患者に説明できる。	歯科予防処置実習Ⅲ ユニット1-4の学修内容を確認する。 患者の口腔所見をまとめる。 （1時間）	認知 （問題解決） 精神 精神運動 （模倣） 態度 （受入）
35 36	7/19 （水） 1,2限	川尻 力丸 泉 黒木 森	ユニット３ スケーリング ルートプレーニング ［実習］	1）スケーリング・ルートプレーニング(SRP)について理解する。	(1) SRP前の口腔内の観察と留意点を述べることができる。 (2) SRPの基本を説明できる。 (3) マネキンでSRPの基本操作ができる。	教科書1「手用スケーラーp186-201」、教科書２の「歯周病の診断と治療の進め方P100-103」、「スケーリングとルートプレーニング 116-118」を精読する。 （1時間）	認知 （解釈） 精神運動 （模倣）
37 38	7/20 （木） 3,4限	川尻 黒木 奥村 岡崎	ユニット６-2 術前術後の比較 （カルテ整理） ［演習］	１）ユニット6-1でまとめた改善計画が発表できる。	(1) スケーリング前・後の口腔内の状況を比較し、説明できる。 (2) 歯周病のリスクを判断し、立案した改善計画の説明ができる。 **授業評価アンケート実施**	教科書1の「歯科衛生過程P62-74」「歯周病介入の症例P305-310」を精読し、情報を整理し介入計画をまとめる （1時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神運動 （コントロール）
39 40	7/25 （火） 1,2限	南 石井 森 川尻	ユニット５ シャープニング２ キュレットスケーラー ［実習］	1）シャープニングが実施できる。	(1) キュレットスケーラーのシャープニングが実施できる。	講義で配布した講義プリントを復習する。 （0.5時間）	認知 （想起） 情意 （受入） 精神運動 （模倣）

歯科予防処置実習Ⅴ

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　20 コマ；40 時間 1 単位
受験資格要件：　4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021227
評価責任者：　川尻　望
授業担当者：　後藤加寿子、泉喜和子、石井綾子
南レイラ、黒木まどか、井上庸子
森沙耶香、岡崎晴菜、奥村明日香

1．一般目標
　本授業は将来、歯科衛生士として個人に対し、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な齲蝕予防、歯周病予防に関する知識、技術および態度を修得する。

2．教育方法
　講義・演習・実習・相互学習・小グループ学習
歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3．教育教材
　教科書、プリント、配布資料、PC＋プロジェクター、DVD、各種実習器材

4．学修方法
　授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、保存修復学、歯周病治療学、口腔衛生学、口腔解剖学等で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。また、本授業は歯科予防処置実習、歯科診療補助実習、歯科保健指導実習の理解に不可欠である。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。　　［単位修得に必要な授業外学修時間：20 時間］

5．評価方法
［形成的評価］ミニテスト、レポートなど
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。
［総括的評価］記述試験（70%）・ミニテスト（10%）・課題レポート（10%）授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）
［フィードバック］試験結果のフィードバックは採点後、答案を返却するとともに正解例を掲示する。

6．教科書
1.「最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版　第 2 版　2021

7．参考書
1.「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学」クインテッセンス出版　第 2 版　2020
2.「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論」医歯薬出版　第 2 版　2020
3.「口腔衛生学-口腔保健統計を含む-」学建書院　第 4 版　2020
4.「最新歯科衛生士教本　小児歯科」　2019

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標 (GIO)	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1 2	A 班 10/4 (水) 1,2 限 B 班 10/5 (木) 1,2 限	川尻 黒木 後藤 岡崎 川尻 黒木 南 奥村	ユニット1 超音波・エアスケーラーの準備、取り扱い (2人1組) ［実習］	1）超音波スケーラーとエアスケーラーの準備と取り扱いができる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) マネキン模型上で、超音波スケーラーを安全に操作できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) マネキン模型上で、エアスケーラーを安全に操作できる。	歯科予防処置論Ⅱ講義で学習した内容を復習する （2 時間）	認知 （解釈） 精神運動 （模倣）
3 4	A 班 10/6 (金) 1,2 限 B 班 10/11 (水) 1,2限	川尻 南 黒木 奥村 川尻 後藤 黒木 岡崎	ユニット1 超音波・エアスケーラーを用いたスケーリング操作 術者1人目 ［相互実習］	1）超音波スケーラーとエアスケーラーを安全に操作できる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) 口腔内で、超音波スケーラーを安全に操作できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) 口腔内で、エアスケーラーを安全に操作できる。 (5) スケーリング後の患者説明ができる。	教科書1.P209-220を精読しまとめる。 患者説明用資料を作成する。 （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （模倣） 情意 （受入）

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標 (GIO)	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
5 6	A班 10/12 (水) 1,2限 B班 10/13 (金) 3,4限	川尻 黒木 南 奥村 川尻 黒木 南 奥村	ユニット1 超音波・エアスケーラーを用いたスケーリング操作 術者2人目 ［相互実習］	1）超音波スケーラーとエアスケーラーを安全に操作できる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) 口腔内で、超音波スケーラーを安全に操作できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) 口腔内で、エアスケーラーを安全に操作できる。 (5) スケーリング後の患者説明ができる。	教科書1.P209-220を精読しまとめる。 患者説明用資料を作成する。 （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （模倣） 情意 （受入）
7 8	A班 10/18 (水) 1,2限 B班 10/20 (金) 1,2限	川尻 後藤 黒木 森 奥村 岡崎 川尻 泉 後藤 森	ユニット1 超音波・エアスケーラーを用いたスケーリング操作 術者3人目 ［相互実習］	1）超音波スケーラーとエアスケーラーを安全に操作できる。	(1) 超音波スケーラーの準備ができる。 (2) 口腔内で、超音波スケーラーを安全に操作できる。 (3) エアスケーラーの準備ができる。 (4) 口腔内で、エアスケーラーを安全に操作できる。 (5) スケーリング後の患者説明ができる。	教科書1.P209-220を精読しまとめる。 患者説明用資料を作成する。 （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （模倣） 情意 （受入）
9 10	A班 11/1 (水) 1,2限 B班 10/27 (金) 1,2限	黒木 後藤 森 岡崎 黒木 後藤 森 岡崎	ユニット2 PMTC （マネキン） 2人1組 ［実習］	1）PMTCが実施できる。	(1) PMTCで必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。	教科書1. P223-228 を精読する （2時間）	精神 運動 （模倣）
11 12	A班 11/15 (水) 1,2限 B班 11/16 (木) 3,4限	黒木 泉 川尻 奥村 岡崎 黒木 力丸 森 奥村 岡崎	ユニット2 PMTC 術者1人目 ［相互実習］	1）PMTCが実施できる。	(1) PMTCで必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。 (4) PMTC後の患者説明ができる。	教科書1. P223-228を精読する。 （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （コントロール）
13 14	A班 11/17 (金) 1,2限 B班 11/22 (水) 1,2限	黒木 泉 川尻 奥村 岡崎 黒木 泉 川尻 奥村 岡崎	ユニット2 PMTC 術者2人目 ［相互実習］	1）PMTCが実施できる。	(1) PMTCで必要な器具や材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。 (4) PMTC後の患者説明ができる。	教科書1. P223-228を精読する。 （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （コントロール）
15 16	A班 11/29 (水) 1,2限 B班 12/1 (金) 1,2限	石井 川尻 専攻 石井 川尻 専攻	ユニット2 PMTC 術者3人目 ［相互実習］	1）PMTCが実施できる。	(1) PMTCで必要な器具や　材料が準備できる。 (2) 口腔内で、PMTCが安全に実施できる。 (3) PMTC後の手順が説明できる。 (4) PMTC後の患者説明ができる。	教科書1. P223-228を精読する。 （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （コントロール）
17 18	A班 1/11 (木) 3,4限 B班 1/11 (木) 1,2限	森 川尻 井上 黒木 奥村 岡崎 森 川尻 井上 黒木 奥村 岡崎	ユニット3 シーラント 術者1人目 ［相互実習］	1）シーラントの対象歯を選択できる。 2）ラバーダム防湿法が実施できる。 3）シーラントが実施できる。	(1)患者の口腔内において、シーラントの対象歯を選択できる。 (2)シーラント対象歯において、ラバーダム防湿法を安全に実施できる。 (3)患者に対し、シーラントの事前説明が実施できる。 (4)シーラントで必要な器具や材料が準備できる。 (5)シーラントを安全に実施できる。 (6)シーラントに患者説明ができる。	歯科診療補助論Ⅱの第10回目の講義で配布されたプリントを精読する 教科書1.のP200-205、教科書5.のP123-127を精読する （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （コントロール）
19 20	A班 1/17 (水) 1,2限 B班 1/12 (金) 1,2限	森 川尻 井上 南 森 川尻 奥村 岡崎	ユニット3 シーラント 術者2人目 ［相互実習］	1）シーラントの対象歯を選択できる。 2）ラバーダム防湿法が実施できる。 3）シーラントが実施できる。	(1)患者の口腔内において、シーラントの対象歯を選択できる。 (2)シーラント対象歯において、ラバーダム防湿法を安全に実施できる。 (3)患者に対し、シーラントの事前説明が実施できる。 (4)シーラントで必要な器具や材料が準備できる。 (5)シーラントを安全に実施できる。 (6)シーラントに患者説明ができる。	歯科診療補助論Ⅱの第10回目の講義で配布されたプリントを精読する 教科書1.のP200-205、教科書5.のP123-127を精読する （2時間）	認知 （解釈） 精神運動 （コントロール）

歯科保健指導論（講義）Ⅰ

開講時期：　2年次前期
授業時間数：　10コマ；20時間1単位
受験資格要件：　2/3（7コマ）以上の出席
科目番号：　DH021231
評価責任者：　石井綾子
授業担当者：　石井綾子、高木未沙稀

１．一般目標
地域口腔保健活動を実施する中で対象者の生活の質（QOL）の向上を目的として、個人や特定の小集団が抱える問題を発見、解決するための知識を修得する。

２．教育方法
講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ･ラーニングを行う。
医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

３．教育教材
教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

４．学修方法
授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げること。
授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。
本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組むことを期待する。
【単位修得に必要な授業外学修時間：25時間】

５．評価
[形成的評価]ミニテスト・レポート
[フィートバック]不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。
基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。
[総括的評価]記述試験（80%）、ミニテスト・レポート（10%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（10%）
[フィードバック〕総括的評価の結果（成績）は掲示する。

６．教科書
１．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論･歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 2021
２．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　口腔保健管理　第2版 医歯薬出版　2019
３．全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生士テキスト 保健生態学　第3版　医歯薬出版　2019
４．荒川浩久他　歯科衛生士テキスト 「口腔衛生学」　第4版

７．参考書
１．歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集　2024年対応　クインテッセンス出版 2023
２．全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典　永末書店　2019

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
1	4/12 (水) 1限	石井	オリエンテーション ユニット1-1 地域口腔保健活動(集団対象)の基礎知識1 ［講義］	1）地域口腔保健活動の変遷について理解する。	(1)地域保健の考え方の変遷について述べることができる。 ・プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、ノーマライゼーションなど (2)地域保健を担う組織の仕組みを述べることができる。 (3)地域口腔保健活動の目標について述べることができる。	教科書3. P216-231、教科書4. P141-148、152-153、160-163、 を精読し、プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、ノーマライゼーションについてまとめる。 事前学修　1時間	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
2	4/12 (水) 2限	石井 高木	ユニット1-2 地域口腔保健活動(集団対象)の基礎知識2 ［講義］	2）地域口腔保健活動の対象と地域の特性について理解する。 3）地域口腔保健活動の対象者と現場で果たす歯科衛生士の役割を理解する。 4）健康教育の進め方を理解する。	(1)地域口腔保健における健康教育の概要を述べることができる。 (2)地域口腔保健活動の進め方を述べることができる。 (3)地域口腔保健活動と関連法規を述べることができる。 (1)対象者の特性、ニーズの把握を踏まえた健康教育の進め方について述べることができる。 (2)地域口腔保健活動で果たす歯科衛生士の役割を述べることができる。 (1)PDCAサイクルについて以下の項目について述べることができる。 ・目標と計画の立案 ・実施と評価、改善	教科書１．P390-412 教科書3．P232-247、教科書4．P148-151を精読し、PDCAサイクル、「健康日本21」(第2次)の6分野について調べる。 事前学修　2時間	認知 (想起)
3	4/14 (金) 4限	石井	ユニット2 歯科保健指導技術(個人対象）の理解 ［講義］	１）歯科保健行動への支援、並びに対象の把握と予防管理を理解する。 2）健康教育の方法を理解する。	(1)オーラルセルフケアを成功させる方法として以下の項目について説明できる。 ・プラークコントロールプログラムの活用 ・指導型健康教育と学習援助型健康教育の違い ・プリシード/プロシードモデルの基本的特徴 (1)教育の方法と活用媒体について分類できる。 ・話の組み立て、媒体の活用、話法	教科書2 Ｐ1-22を精読し、指導型健康教育と学修援助型健康教育の手法について調べる。 事前学修　1時間	認知 (想起)
4	4/18 (火) 3限	石井	ユニット3 歯科衛生教育活動の現場の理解1 ［講義］	1）保健所、地域保健センターにおける歯科衛生士の役割を理解する。	(1)母子歯科保健の意義と歯科衛生士の果たす役割として以下の項目について説明できる。 ・妊産婦健診における歯科の役割 ・妊産婦の特性 ・乳幼児健診における歯科の役割 ・乳幼児の特性	教科書3．P248-262、教科書4．P164-173を精読し、1.6歳児、3歳児のう蝕罹患型の分類と各指導内容を調べる。 事前学修　1時間	認知 (想起)
5	4/26 (水) 1限	石井	ユニット4-1 各ライフステージ別の口腔保健管理1 ［講義］	1）妊産婦期・新生児期における口腔保健管理について理解する。	(1）妊産婦期・新生児期における口腔保健管理として以下の項目について説明できる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・プロフェッショナルケアの目標 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	教科書1．P304-332を精読し、妊産婦期・新生児期の口腔の特徴と望ましい歯科保健行動についてまとめる。 事前学修　1時間	認知 (解釈)
6	4/26 (水) 2限	石井	ユニット4-2 各ライフステージ別の口腔保健管理2 ［講義］	2）乳児期・幼児期における口腔保健管理について理解する。	(1）乳児期・幼児期における口腔保健管理として以下の項目について説明できる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・プロフェッショナルケアの目標 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	教科書１．P304-332を精読し、乳児期・幼児期の口腔の特徴と望ましい歯科保健行動についてまとめる。 事前学修　2時間	認知 (解釈)
7	4/27 (木) 3限	石井	ユニット4-3 各ライフステージ別の口腔保健管理3 ［講義］	3）学童期・青年期における口腔保健管理について理解する。	(1）学童期・青年期における口腔保健管理について説明できる ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・プロフェッショナルケアの目標 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	教科書１．P304-332を精読し、学童期・青年期の口腔の特徴と望ましい歯科保健行動についてまとめる。 事前学修　2時間	認知 (解釈)
8 9	6/14 (水) 1,2限	石井	ユニット4-4 対象者把握と理解 ［講義・演習、 相互学習］	1）対象者が抱える問題を理解する 2）対象者に応じた支援法を修得する。	(1）対象者が抱える問題を示すことができる。 (2）対象者に合わせたコミュニケートができる。 (3）対象者に合わせたモチベーションを与えることができる。 (4）媒体を活用し、対象者に合わせた支援ができる。	ユニット4-１､2､3の対象者が抱える問題点を抽出する。 事前学修　1時間 抽出した問題点に対する支援策を考える。(宿題) 事後学修　1時間	認知 (問題解決) 態度 (受入)
10	7/5 (水) 2限	石井	ユニット4-５ 各ライフステージ別の口腔保健管理のまとめ４ ［演習、 グループワーク］	1）対象者に合わせた支援を示す。	(1）各ライフステージにおける対象者に合わせた支援法を実際に例示することができる。 ・妊産婦並びに新生児 ・乳幼児 ・学童(低学年) ・学童(高学年) 【授業アンケートの実施】	4症例の評価をまとめ提出する。 (宿題) 事後学修 定期試験対策　13時間	認知 (問題解決) 態度 (反応)

歯科保健指導論（講義）Ⅱ

開講時期：　2年次後期
授業時間数：　9コマ；18時間　1単位
受験資格要件:　2/3（6コマ）以上の出席
科目番号:　DH021232
評価責任者：　石井　綾子
授業担当者：　石井　綾子、南レイラ
森　沙耶香、川尻　望

１．一般目標

各ライフステージの特徴と生活習慣を把握し、その対象者が抱える問題について科学的思考をもって解決を図り、望ましい歯科保健行動に導くための手法として歯科衛生過程を学ぶ。また、口腔保健管理の実施記録（歯科衛生業務記録）の記載を修得する。

２．教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ･ラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

４．学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げること。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。　【単位修得に必要な授業外学修時間：28.5時間】

５．評価

形成的評価：ミニテスト・レポート
フィードバック：不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。

基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。

総括的評価：記述試験（70%）、ミニテスト・レポート（20%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（10%）
フィードバック：総括的評価の結果（成績）は掲示する。

６．教科書

１．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 2021
２．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　口腔保健管理　第2版 医歯薬出版　2018
３．荒川浩久他　歯科衛生士テキスト 「口腔衛生学」　第4版

７．参考書

１．歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集　2024年対応　クインテッセンス出版 2023
２．全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典　永末書店　2019

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/21 (木) 3限	石井	ユニット1 健康教育の手法 講義・演習 グループワーク 討論	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育の手法を理解する。	(1)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育の内容を評価し、改善することができる。	幼児・学童を対象とした健康教育の改善を図る。 (宿題) 事後学修　２時間	認知 (問題解決) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
2	10/11 (水) 4限	石井	ユニット2-1 歯科衛生過程1 歯科衛生アセスメント	1) 歯科衛生過程に必要な情報を収集し、問題点を抽出する。	(1)相互実習で収集した情報から問題点を抽出することができる。 ・主観的情報と客観的情報 ・研究用模型、口腔内写真 ・口腔内の状況（歯式、EPP値、BOP値、PCR値、う蝕のリスク判定など）	教科書1. P77-129を参考に、収集した情報から問題点を抽出する。 長期目標と短期目標の違い、タイプ別診断について調べる。 事前学修　1時間 友達の情報から診断、目標の設定、計画を立案し、指導案を作成する。 (宿題) 事後学修　2時間	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
3	10/12 (木) 3限	石井	ユニット2-2 歯科衛生過程2 歯科衛生診断、計画立案 講義・演習	2) 歯科衛生過程における診断・計画立案の手法について理解する。	(1)抽出した問題点を分析し、タイプ別診断による優先順位をつける。 ・実存型 ・リスク型 ・ヘルスプロモーション型 (2)診断から対象者の現状に沿った目標と計画を立案することができる。 ・長期目標、短期目標の設定 ・ケア計画、教育計画、観察計画		
4	10/18 (水) 4限	石井	ユニット2-3 歯科衛生過程3 介入と評価 講義・演習	3) 介入結果から歯科衛生過程を評価する。 4) 評価の結果から目標、計画の立て直し、または目標、計画のステップアップを図る。	(1)介入した結果から立案した計画の妥当性を評価する。 家庭における自己介入の結果から評価する。 ・生活習慣の改善 ・PCR値の比較 ・短期目標、長期目標の達成状況 (1) 新たな目標の設定並びに計画の立案をすることができる。	モデルケース1（歯周疾患の管理）によるアセスメントから介入計画まで立案する。 (宿題) 事後学修　2時間	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
5	10/25 (水) 4限	石井	ユニット2-4 歯科医療保険制度における歯科衛生介入の位置づけ 講義・演習 グループワーク	1) 歯科医療保険制度における歯科衛生介入について理解する。	(1) モデルケースを基に歯科衛生過程に沿った記録の記載ができる。 ・SOAPを活用した書面化 (2)モデルケース2（う蝕・歯周病の管理）による衛生過程の介入計画が作成できる。 ・アセスメントから介入計画まで立案する。	モデルケース1による保健指導案を作成する。 する。 事前学修　0.5時間 モデルケース2による保健指導案を作成する。 する。 (宿題) 事後学修　2時間	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (模倣)
6	11/29 (水) 4限	石井	ユニット2-5 歯科衛生過程における事例検討 講義・演習 グループワーク 討論	1) モデルケースから歯科衛生過程について検討する。	(1) 12/2(月)2限の歯科予防処置論で提示されたモデルケースを基に、歯科衛生過程のプレゼンテーションが作成できる。 ・口腔内の状況 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・プロフェッショナルケアの目標 ・家庭での療養管理指導	モデルケースを基にアセスメントから介入計画まで立案する。 事前学修　2時間	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (コントロール)
7 8	12/8 (金) 1,2限	石井 南 森	ユニット2-6 歯科衛生過程における事例発表 講義・演習 グループワーク 討論	1) モデルケースから歯科衛生過程について検討した内容を発表する。	(1) 検討した内容の発表ができる。 (2) 他者が発表した内容を評価し、アドバイスができる。 （ルーブリック等の評価用紙を活用して自己・他者を評価する。） (3) 他者からのアドバイスを参考にモデルケースの発表内容の改善が図れる。	モデルケースの発表内容を改善する。 (宿題) 事後学修　2時間	認知 (問題解決) 情意 (反応) 精神運動 (自動化)
9	1/19 (金) 2限	石井 南 川尻	ユニット2-7 歯科衛生過程まとめ 講義・演習 グループワーク 討論	1) モデルケースの改善内容を検討する。	(1) モデルケースの改善内容を改めて評価することができる。 【授業アンケートの実施】	モデルケースの最終手直しを図る。 事前学修　2時間 定期試験対策 13時間	認知 (問題解決) 情意 (反応) 精神運動 (自動化)

栄養学

開講時期：　２年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間　１単位
受験資格要件：2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021233
評価責任者：　中園　栄里
授業担当者：　中園　栄里

１．一般目標
　将来、歯科衛生士として対象者の生活の質（QOL）の向上のため、基本的な栄養学の知識と食事摂取基準や食生活に関連した制度を理解する。

２．教育方法
　講義・演習
　管理栄養士として栄養相談などに携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

３．教育教材
　教科書、プリント、配布資料、PC＋プロジェクター。

４．学修方法
　授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、口腔生化学の知識が必要であり、本授業は食育の理解に不可欠である。
［単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間］

５．評価方法
［形成的評価］ミニテスト
［フィードバック］採点後、答案を返却するとともに正解例を掲示する。
［総括的評価］記述試験（70%）・ミニテスト（20%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）
［フィードバック］試験結果のフィードバックは採点後、試験結果（成績）を掲示する。

６．教科書
１.「最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能２　栄養と代謝」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版、2021 年

７．参考書
１.「日本人の食事摂取基準　2020 年版」佐々木 敏・伊藤貞嘉（監修）、第一出版、2020 年

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/4 (火) 3 限	中園	オリエンテーション ユニット１ 栄養素の種類と働き （五大栄養素） （栄養素の消化・吸収） ［講義］	１）五大栄養素の種類と概要を理解する。 ２）栄養素の消化・吸収の概要を理解する。	（１）五大栄養素の種類を列挙できる。 （２）栄養素の消化・吸収のしくみを列挙できる。	「五大栄養素とは何か」をレポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
2	4/11 (火) 3限	中園	ユニット１ 栄養素の種類と働き （糖質） ［講義］	１）糖質の構造を理解する。 ２）糖質の種類を理解する。 ３）糖質の働きを理解する。 ４）糖質の不足と過剰による体への影響を理解する。	（１）糖質の構造を列挙できる。 （２）糖質の種類を列挙できる。 （３）糖質の働きを列挙できる。 （４）糖質の不足と過剰による体への影響を述べることができる。	糖質の種類と構造を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
3	4/19 (水) 1 限	中園	ユニット１ 栄養素の種類と働き （タンパク質） ［講義］	１）タンパク質の構造を理解する。 ２）アミノ酸の種類を理解する。 ３）タンパク質の働きを理解する。 ４）タンパク質の不足と過剰による体への影響を理解する。	（１）タンパク質の構造を列挙できる。 （２）アミノ酸の種類を列挙できる。 （３）タンパク質の働きを列挙できる。 （４）タンパク質の不足と過剰による体への影響を述べることができる。	アミノ酸の種類を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
4	4/25 (火) 3限	中園	ユニット１ 栄養素の種類と働き （脂質） ［講義］	１）脂質の構造を理解する。 ２）脂肪酸の種類と特徴を理解する。 ３）脂質の働きを理解する。 ４)脂質の不足と過剰による体への影響を理解する。	（１）脂質の構造を列挙できる。 （２）脂肪酸の種類と特徴を列挙できる。 （３）脂質の働きを列挙できる。 （４）脂質の不足と過剰による体への影響を述べることができる。	脂肪酸の種類を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
5	5/2 (火) 3限	中園	ユニット１ 栄養素の種類と働き （ビタミン） ［講義］	１）ビタミンの種類を理解する。 ２）ビタミンの働きを理解する。 ３）ビタミンの過剰症を理解する。 ４）ビタミンの欠乏症を理解する。	（１）ビタミンの種類を列挙できる。 （２）ビタミンの働きを列挙できる。 （３）ビタミンの過剰症を述べることができることができる。 （４）ビタミンの欠乏症を述べることができる。	ビタミンの種類を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
6	5/9 (火) 3限	中園	ユニット１ 栄養素の種類と働き （ミネラル） ［講義］	１）ミネラルの種類を理解する。 ２）ミネラルの働きを理解する。 ３）ミネラルの不足と過剰による体への影響を理解する。	（１）ミネラルの種類を列挙できる。 （２）ミネラルの働きを列挙できる。 （３）ミネラルの不足と過剰による体への影響を述べることができる。	ミネラルの種類を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
7	5/16 (火) 3限	中園	ミニテスト ユニット ２ 水分、核酸、フィトケミカルの働き ［講義］	ユニット１に関する知識習得を確認する。 １）水分の働きを理解する。 ２）核酸の体への影響を理解する。 ３）フィトケミカルの体への影響を理解する。	ユニット１に関する重要な栄養素の種類と働きを確認することができる。 （１）水分の働きを列挙できる。 （２）核酸の体への影響を述べることができる。 （３）フィトケミカルの体への影響を述べることができる。	ユニット１の復習をする。 （１時間）	認知 (想起)
8	5/23 (火) 3限	中園	ユニット ３ 食中毒の予防 ［講義］	１）食中毒の種類を理解する。 ２）食中毒の症状を理解する。 ３）食中毒の予防を理解する。	（１）食中毒の種類を列挙できる。 （２）食中毒の症状を述べることができる。 （３）食中毒の予防を列挙できる。	食中毒とはなにかをレポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
9	5/30 (火) 3限	中園	ユニット ４ 食品の分類と表示 （食品成分表・食品の分類・保健機能食品） ［講義］	１）食品成分表を理解する。 ２）食品の分類（三分類、四分類、六分類）を理解する。 ３）保健機能食品の分類を理解する。	（１）食品成分表を列挙できる。 （２）食品の分類（三分類、四分類、六分類）を列挙できる。 （３）保健機能食品の分類を列挙できる。	保健機能食品の種類を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
10	6/6 (火) 3限	中園	ユニット ４ 食品の分類と表示 （食品成分表・食品の分類・保健機能食品） ［講義］	１）栄養成分表示を理解する。 ２）食物アレルギー患者の健康被害を防止するための「食品表示基準」を理解する。	（１）栄養成分表示を列挙できる。 （２）食物アレルギー患者の健康被害を防止するための「食品表示基準」を列挙できる。	３大食物アレルギーを調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
11	6/13 (火) 3限	中園	ユニット ４ 食品の分類と表示 （代用甘味料） ［講義］	１）代用甘味料の種類を理解する。 ２）代用甘味料の特徴を理解する。	（１）代用甘味料の種類を列挙できる。 （２）代用甘味料の特徴を列挙できる。	代用甘味料が使われている食品や飲料を調べ、レポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
12	6/20 (火) 3限	中園	ユニット ５ 食生活指導 （食生活と健康の関連） ［講義］	１）食生活の変遷と疾病構造の変化を理解する。 ２）健康日本２１（第２次）の食生活についての目標を理解する。	（１）食生活の変遷と疾病構造の変化を列挙できる。 （２）健康日本２１（第２次）の食生活についての目標を列挙できる。	教科書“Ⅳ編　食生活と食品”の“１章 食生活と健康 ①国民の健康と栄養の状況”を熟読。講義内で口頭試問する。 （１時間）	認知 (想起)
13	6/27 (火) 3限	中園	ユニット ５ 食生活指導 （国民健康・栄養調査） ［講義］	１）国民健康・栄養調査の目的を理解する。 ２）国民健康・栄養調査の結果から現在の日本人の食生活を考察する。	（１）国民健康・栄養調査の目的を列挙できる。 （２）国民健康・栄養調査の結果から現在の日本人の食生活を述べることができる。	教科書“Ⅳ編　食生活と食品”の“１章 食生活と健康 ②望ましい食生活”を熟読。講義内で口頭試問する。 （１時間）	認知 (想起)
14	7/4 (火) 3限	中園	ユニット ５ 食生活指導 （日本人の食事摂取基準） ［講義］	１）「日本人の食事摂取基準」を理解する。 ２）「日本人の食事摂取基準」の活用方法を理解する。	（１）「日本人の食事摂取基準」を列挙できる。 （２）「日本人の食事摂取基準」の活用方法を述べることができる。	「食事摂取基準とはなにか？」をレポート用紙に書く。 （１時間）	認知 (想起)
15	7/11 (火) 3限	中園	ユニット ５ 食生活指導 （食事バランスガイドの活用） ［講義・演習］	１）食事バランスガイドを理解する。 ２）食事バランスガイドを活用し、自分の食事内容を書き出し、問題点を調べる。	（１）食事バランスガイドを列挙できる。 （２）食事バランスガイドを活用し、自分の食事内容の問題点を述べることができる。 （３）自分の食事内容の問題点から改善できることを示す。	自分の１日の食事を記録する。 （１時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣)

食育

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　12 コマ；24 時間 1 単位
受験資格要件：2/3（8 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021234
評価責任者：　中園　栄里
授業担当者：　中園　栄里

1．一般目標
　将来、歯科衛生士として対象者の生活の質（QOL）の向上ために、新生児期から老年期に至るまでのライフステージ別の食生活の問題や健康を維持するためのエネルギーや栄養素摂取、また食生活に関する施策を理論的に分析・考察する能力を修得する。

2．教育方法
　講義・演習
　管理栄養士として栄養相談などに携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3．教育教材
　教科書、プリント、配布資料、PC＋プロジェクター

4．学修方法
　授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守ること。本授業を理解する上で、栄養学の知識が必要であり、本授業は歯科保健指導実習の理解に不可欠である。
［単位修得に必要な授業外学修時間：21 時間］

5．評価方法
［形成的評価］レポート
［フィードバック］模範解答を示し、不十分な部分についてコメントを付して返却する。
［総括的評価］記述試験（70%）・課題レポート（20%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）
［フィードバック］試験結果のフィードバックは採点後、試験結果（成績）を掲示する。

6．教科書
　1．「最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第 2 版」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版、2020 年

7．参考書
　1．「最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能２　栄養と代謝」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版、2021 年

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
1	9/25 （月） 1 限	中園	オリエンテーション ユニット1 食育基本法 ［講義］	1）食育基本法を理解する。 2）食育推進基本計画の目標を理解する。	（1）食育基本法を説明できる。 （2）食育推進基本計画の目標を述べることができる。	食育推進計画の重点項目をレポート用紙に書く。 （2 時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣）
2	10/2 （月） 1限	中園	ユニット2 妊産婦期 ［講義］	1）妊産婦期の体の特徴を理解する。 2）妊産婦期の食生活の問題を理解する。 3）妊産婦期の食生活指導を理解する。	（1）妊産婦期の体の特徴を列挙できる。 （2）妊産婦期の食生活の問題を列挙する。 （3）妊産婦期の食生活指導を述べることができることができる。	妊産婦のための食生活指針と食事バランスガイドをレポート用紙に書く。 （2時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣）
3	10/16 （月） 1 限	中園	ユニット3 新生児期・乳児期 ［講義］	1）新生児期・乳児期の体の特徴を理解する。 2）新生児期・乳児期の食生活の問題を理解する。 3）新生児期・乳児期の食生活指導を理解する。	（1）新生児期・乳児期の体の特徴を列挙できる。 （2）新生児期・乳児期の食生活の問題を列挙する。 （3）新生児期・乳児期の食生活指導を述べることができる。	教科書の「新生児期・乳児期」の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 （1.5時間）	認知 （想起）

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
4	10/23 (月) 1限	中園	ユニット3 新生児期・乳児期 [講義]	1）離乳までの栄養摂取を理解する。 2）授乳・離乳の支援を理解する。 3）離乳期の食生活指導を理解する。	（1）離乳までの栄養摂取を列挙できる。 （2）授乳・離乳の支援を列挙できる。 （3）離乳期の食生活指導を述べることができる。	「離乳食の進め方の目安」をレポート用紙に書く。 (1.5時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
5	10/30 (月) 1限	中園	ユニット4 幼児期 [講義]	1）幼児期の体の特徴を理解する。 2）幼児期の食生活の問題を理解する。 3）幼児期の食生活指導を理解する。	（1）幼児期の体の特徴を列挙できる。 （2）幼児期の食生活の問題を列挙する。 （3）幼児期の食生活指導を述べることができる。	課題レポートを次回までに提出する。 (2時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
6	11/6 (月) 1限	中園	ユニット5 学齢期 [講義]	1）学齢期の体の特徴を理解する。 2）学齢期の食生活の問題を理解する。 3）学齢期の食生活指導を理解する。	（1）学齢期の体の特徴を列挙できる。 （2）学齢期の食生活の問題を列挙する。 （3）学齢期の食生活指導を述べることができる。 （4）演習問題を記述する。	教科書の「学齢期」の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (1.5時間)	認知 (想起)
7	11/13 (月) 1限	中園	ユニット6 青年期 [講義] [演習]	1）青年期の体の特徴を理解する。 2）青年期の食生活の問題を理解する。 3）青年期の食生活指導を理解する。 4）自分の食生活の問題を見つける。	（1）青年期の体の特徴を列挙できる。 （2）青年期の食生活の問題を列挙する。 （3）青年期の食生活指導を述べることができる。 （4）自分の食生活の問題を示す。	課題レポートを次回までに提出する。 (2時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
8	11/20 (月) 1限	中園	ユニット7 成人期 [講義]	1）成人期の食生活の問題を理解する。 2）成人期の食生活指導を理解する。 3）糖尿病の病態と食事を理解する。	（1）成人期の食生活の問題を列挙できる。 （2）成人期の食生活指導を列挙できる。 （3）糖尿病の病態と食事を列挙できる。	教科書の「成人期」の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (1.5時間)	認知 (想起)
9	11/27 (月) 1限	中園	ユニット7 成人期 [講義]	1）生活習慣病・メタボリックシンドロームと食生活の関連を理解する。 2）生活習慣病予防のための食生活を理解する。	（1）生活習慣病・メタボリックシンドロームと食生活の関連を列挙できる。 （2）生活習慣病予防のための食生活を述べることができる。	課題レポートを次回までに提出する。 (2時間)	認知 (想起)
10	12/4 (月) 1限	中園	ユニット8 老年期 [講義]	1）老年期の体の特徴を理解する。 2）老年期の食生活の問題を理解する。 3）老年期の食生活指導を理解する。	（1）老年期の体の特徴を列挙できる。 （2）老年期の食生活の問題を列挙する。 （3）老年期の食生活指導を述べることができる。	教科書の「老人期」の項目を熟読する。講義内で口頭試問する。 (1.5時間)	認知 (想起)
11	12/11 (月) 1限	中園	ユニット8 老年期 [講義]	1）老年期の咀嚼・嚥下機能を理解する。 2）嚥下食を理解する。	（1）老年期の咀嚼・嚥下機能を列挙できる。 （2）嚥下食を分類する。	嚥下食の種類をレポート用紙に書く。 (1.5時間)	認知 (想起)
12	12/18 (月) 1限	中園	ユニット9 スポーツ栄養 [講義]	1)スポーツ時の代謝を理解する。 2)スポーツアスリートに必要な栄養素を理解する。 3)スポーツアスリートの食育の問題点を考える。	（1）スポーツ時の代謝を列挙できる。 （2）スポーツ時に必要な栄養素を列挙できる。 （3）スポーツ時の食育の問題点を記述する。	事例を熟読。講義内で口頭試問する。 (2時間)	認知 (想起)

歯科保健指導実習Ⅲ

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間　1 単位
受験資格要件:　4/5（12 コマ）以上の出席
科目番号:　DH021237
評価責任者：　石井綾子
授業担当者：　石井綾子、泉喜和子、後藤加寿子
南レイラ、高木未沙稀
川尻　望、山下雅美、森沙耶香
岡崎晴菜、奥村明日香

１．一般目標
将来、歯科衛生士として 3 年次に実施する臨床・臨地実習の中で各診療科における患者指導が実践できることを目的に、う蝕や歯周疾患のリスクに応じた口腔保健管理を実施するために必要な資料の収集・媒体の作成・支援の手法を修得する。また、対象者にあわせたコミュニケーションが図れる能力を獲得する。

２．教育方法
講義・演習、実習・相互学習・グループワーク・討論等のアクティブラーニングを行う。
医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動や臨床に従事した実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

３．教育教材
教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

４．学修方法
授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げること。
授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。
本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。
【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

５．評価
[形成的評価]　ミニテスト・レポート
[フィートバック]不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。
基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。
内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。
[総括的評価]　記述試験（60%）、ミニテスト・レポート・授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（40%）
[フィードバック] 総括的評価の結果（成績）は掲示する。

６．教科書
全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論･歯科保健指導論第2版 医歯薬出版 2020
全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　口腔保健管理　第2版 医歯薬出版　2019
荒川浩久他　歯科衛生士テキスト 口腔衛生学　第5版　学研書院　2019

７．参考書
全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版 医歯薬出版　2018
全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　歯科材料学　第2版 医歯薬出版　2019
歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集2024年対応 クインテッセンス出版　2023
全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典　永末書店　2019

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/14 (金) 3限	南 山下	オリエンテーション ユニット 1-1 口腔保健管理に必要な用具の理解1 【講義】	1) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを理解する。	(1) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを説明できる。 ・デンタルフロス ・ポイントブラシ ・歯間ブラシ ・ラバーチップ ・電動歯ブラシ ・音波ブラシ ・ジェット水流洗口器	補助的清掃用具の特徴について調べる。 【1時間】	認知 (解釈)
2 3	4/20 (木) 3,4限	南 川尻 高木 奥村 岡崎	ユニット 1-2 口腔保健管理に必要な用具の理解2 【実習】	2) 補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを評価する。	(1)補助的清掃用具による口腔清掃効果の違いを評価することができる。 ・デンタルフロス ・ポイントブラシ ・歯間ブラシ ・ラバーチップ ・電動歯ブラシ ・音波ブラシ ・ジェット水流洗口器	補助的清掃用具の清掃効果の違いをまとめる。 (宿題) 【2時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (模倣) 情意 (受け入れ)
4	4/27 (木) 4限	石井 高木 奥村 岡崎	ユニット 2-1 個人指導用媒体の作成1 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を作成する。	(1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を活用し、以下の項目についてまとめることができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	妊産婦・新生児対象の指導媒体を作成するための資料を収集する。 【1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
5	4/28 (金) 3限	石井 南 森 奥村 岡崎	ユニット 2-2 個人指導用媒体の作成2 【実習】	1) 乳幼児対象の指導媒体を作成する。	(1) 乳幼児対象の指導媒体を活用し、以下の項目についてまとめることができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	乳幼児対象の指導媒体を作成するための資料を収集する。 【1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
6	4/28 (金) 4限	石井 南 森 奥村 岡崎	ユニット 2-3 個人指導用媒体の作成3 【実習】	1) 学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を作成する。	(1) 学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を活用し、以下の項目についてまとめることができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を作成するための資料を収集する。 【1時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
7 8	5/10 (水) 1,2限	石井 南	ユニット 2-4 個人指導用原稿の作成 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導原稿を作成する。 2) 乳幼児対象の指導原稿を作成する。 3) 学童(低学年・高学年)対象の指導原稿を作成する。	(1) 各対象に合わせた指導原稿を以下の項目に沿って作成し、それを活用して説明ができる。 ・一般的特徴と口腔の特徴 ・望ましい歯科保健行動 ・セルフケアの目標 ・食生活の特徴と指導	各対象の指導原稿を作成するための資料を収集する。 【2時間】	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
9	6/2 (金) 3限	石井 森 高木 奥村 岡崎	ユニット 3-1-1 媒体を活用した指導の実際1 グループワーク討論 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を活用して指導する。 媒体の作成・リハサール	(1) 妊産婦・新生児対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【1時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
10	6/20 (火) 4限	石井 南 森 奥村 岡崎	ユニット 3-1-2 媒体を活用した指導の実際1 グループワーク討論 【実習】	1) 妊産婦・新生児対象の指導媒体を活用して指導する。 媒体の作成・リハサール	(1) 妊産婦・新生児対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【1時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
11 12	7/14 (金) 3,4限	石井 後藤 南 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット 3-2 媒体を活用した指導の実際2 グループワーク討論 【実習】	1)乳幼児対象の指導媒体を活用して指導する。	(1)乳幼児対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。 (3) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【2時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
13 14	7/19 (水) 3,4限	石井 泉 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット 3-3 媒体を活用した指導の実際3 グループワーク討論 【実習】	1)学童(低学年・高学年)対象の指導媒体を活用して指導する。	(1)学童(低学年・高学年)対象の個人指導ができる。 (2) 相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。相手の指導内容を評価し、アドバイスができる。(ルーブリック等の評価用紙・視覚媒体を活用して自己・他者を評価する。) (3) アドバイスを参考に実施した指導内容の改善が図れる。	指導媒体・原稿の手直し。 (宿題) 【2時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
15	7/21 (金) 3限	石井 森 南	ユニット 3-4 媒体を活用した指導の実際4 グループワーク討論 【実習】	1) 手直し後の媒体・原稿の検討	(1)手直しをした媒体・原稿を用いて各グループで検討し、優れたものを選択し、保健指導論Ⅱのユニット4-５で発表するための準備をする。 【授業アンケートの実施】	媒体・原稿の必要な箇所の改善を図る。 (宿題) 【1時間】	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (内面化)

歯科保健指導実習Ⅳ

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件:4/5（12 コマ）以上の出席
科目番号:　DH021238
評価責任者：　石井綾子
授業担当者：　堀部晴美、松尾忠行、力丸哲也
泉喜和子、後藤加寿子、古野みはる
黒木まどか、中園栄里、秋竹　純
南レイラ、石井綾子、井上庸子
川尻　望、森沙耶香
岡崎晴菜、奥村明日香

１．一般目標

将来、地域保健活動の中で対象者のQOLの向上を図るためには、個人や集団の特性を理解し、対象者に合わせた口腔保健管理を主体とする健康教育のプレゼンテーションが実施できる技能を修得する。

２．教育方法

講義・演習、実習・相互学習・グループワーク・討論等のアクティブラーニングを行う。

医療機関において歯科衛生士・歯科医師として地域保健活動や臨床に従事した実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

４．学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げること。

授業には、教科書と配布プリントを必ず持参すること。

本科目は他の主要3科目や関連科目で学習したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより他の科目との関連性を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組むことを期待する。　【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

５．評価

[形成的評価]　ミニテスト・レポート
[フィートバック]不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。
基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習、または、講義内容の確認として授業開始直後・終了直前に実施する。内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に答案の返却で行う。
[総括的評価]　記述試験（60%）、ミニテスト・レポート、授業参加状況（予習・復習の実施状況含む）（40%）
[フィードバック] 総括的評価の結果（成績）は掲示する。

６.教科書

１．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論･歯科保健指導論第2版 医歯薬出版 2020
２．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　口腔保健管理　第2版 医歯薬出版　2019
３．荒川浩久他　歯科衛生士テキスト 口腔衛生学　第5版　学研書院　2019

７.参考書

１．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版 医歯薬出版　2018
２．全国歯科衛生士教育協議会 監修 最新歯科衛生士教本　歯科材料学　第2版 医歯薬出版　2019
３．歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集2024年対応 クインテッセンス出版 2023
４．全国歯科衛生士教育協議会 監修 歯科衛生学辞典　永末書店　2019

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/28 (木) 1限	石井 黒木 南 川尻 森 岡崎 奥村	オリエンテーション ユニット1-1 幼児・学童を対象とした集団指導 講義・演習	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を理解する。	(1)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育の項目を説明できる。 ・対象とする集団の特性 ・話の組み立て ・媒体の活用 ・話法	幼児・学童を対象とした集団指導を実施するための資料を収集する 事後学修１時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
2	10/4 (水) 4限	石井 黒木 南 川尻 森 岡崎 奥村	ユニット1-2 幼児・学童を対象とした集団指導 講義・演習	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を理解する。	(2)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育に必要な媒体を作成することができる。 (3)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育に必要な原稿を作成することができる。	幼児・学童を対象とした集団指導の原稿を作成するために必要な資料を収集する 事後学修2時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
3	10/19 (木) 3限	石井 川尻 森 黒木 南 岡崎 奥村	ユニット1-2 幼児・学童を対象とした集団指導 講義・演習 グループワーク	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を実施する。	(4)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を作成した媒体を活用して実施することができる。 (5)他者が作成した幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を検討することができる。	幼児・学童を対象とした集団指導の改善を図る。 事後学修１時間	認知 (問題解決) 精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
4	11/10 (金) 4限	石井 南 川尻 岡崎 奥村	ユニット1-2 幼児・学童を対象とした集団指導 講義・演習 グループワーク	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を実施する。	(4)幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を作成した媒体を活用して実施することができる。 (5)他者が作成した幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を検討することができる。	幼児・学童を対象とした集団指導の改善を図る。 事後学修１時間	認知 (問題解決) 精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
5 6 7	11/30 (木) 1,2,3限	石井 南 川尻 森 岡崎 奥村	ユニット1-2 幼児・学童を対象とした集団指導 グループワーク 討論	1) 幼児・学童を対象とした集団に対する健康教育を実施する。	(6) 検討した内容の発表ができる。 (7) 他者が発表した内容を評価し、アドバイスができる。 （ルーブリック等の評価用紙を活用して自己・他者を評価する。） (8) 他者からのアドバイスを参考に発表内容の改善が図れる。	幼児・学童を対象とした集団指導を仕上げる。 事後学修4時間	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
8	12/14 (木) 1限	石井 南 森	ユニット2-1 成人・有病者を対象とした集団指導 講義・演習	1) 成人・有病者を対象とした集団に対する健康教育を理解する。	(1)成人・有病者に対する歯科的支援を説明できる。 ・歯周病と全身疾患の関連 メタボ、糖尿病、喫煙者、妊産婦、誤嚥性肺炎 ・話の組み立て ・媒体の活用 ・話法	成人・有病者を対象とした集団指導を実施するための資料を収集する。 事後学修１時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
9 10	12/22 (金) 1,2限	石井 南 森 岡崎 奥村	ユニット2-2 成人・有病者を対象とした集団指導 演習	1) 成人・有病者を対象とした集団に対する健康教育を理解する。	(2)成人・有病者に対する健康教育に必要な媒体を作成することができる。 (3)成人・有病者を対象とした集団に対する健康教育に必要な原稿を作成することができる。	成人・有病者を対象とした集団指導の原稿を作成するために必要な資料を収集する。 事後学修2時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール) 情意 (受入)
11 12 13	1/18 (木) 1,2,3限	石井 松尾 力丸 後藤 古野 井上 黒木 中園 秋竹 南 川尻 森 岡崎 奥村	ユニット2-3 成人・有病者を対象とした集団指導 グループワーク 討論	1) 健康教育の方法を理解する。	(4)成人・有病者を対象とした集団に対する健康教育の内容を発表する。 (5) 他者が発表した内容を評価し、アドバイスができる。 （ルーブリック等の評価用紙を活用して自己・他者を評価する。） (6) 他者からのアドバイスを参考に発表内容の改善が図れる。	成人・有病者を対象とした集団指導を仕上げる。 事後学修3時間	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
14 15	1/22 (月) 1,2限	井上 堀部 黒木 石井 森	ユニット3 口腔機能発達不全症の理解 演習	１）小児の口腔機能発達不全症を理解する。	(1) 小児の口腔機能管理の指導ができる。 (2) 口腔機能発達不全症について説明できる。 (3) 口腔機能発達不全症にトレーニングについて説明できる。 【授業アンケートの実施】	口腔機能発達不全についてレポートのまとめる。 事後学修１時間	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)

歯科診療補助論（講義）Ⅱ

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　12 コマ；24 時間 1 単位
受験資格要件：2/3（8 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021242
評価責任者：　泉　喜和子
授業担当者：　力丸　哲也、泉　喜和子
後藤加寿子、井上　庸子
南　レイラ、森　沙耶香
森田　浩光
岡崎　晴菜、奥村明日香

１．一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者を支援するために、専門歯科領域ごとの歯科診療補助業務における歯科衛生士の役割についての知識を修得する。

２．教育方法

講義を行う。

大学病院等において、歯科医師として歯科治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

大学病院等において、歯科衛生士として歯科診療補助業務に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

４．学修方法

授業には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、口腔外科学、材料学、歯科補綴学、保存修復学、歯内治療学、歯周病治療学、歯科矯正学、解剖学、高齢者歯科学の理解が必要となる。　【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：21時間】

５．評価方法

［総括的評価］：記述試験（80%）・確認テスト（20%）で実施する。

［フィードバック］：試験結果ならびに正解例は、試験終了後に掲示する。

６．教科書

1　全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版　2018
2　上田雅俊、音琴淳一、栢　豪洋 他著：新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 クインテッセンス出版　2018
3　笠原悦男、林　宏行、吉田隆一 著：新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療 クインテッセンス出版　2020
4　片山直、小松正志、松尾敬志 著：新・歯科衛生士教育マニュアル　保存修復 クインテッセンス出版　2018
5　赤川安正 編著：最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1　歯科補綴　第２版　医歯薬出版　2021
6　歯科衛生学シリーズ『歯科機器』 医歯薬出版　2023
7　氷室利彦 編著：最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常２　歯科矯正　第１版　医歯薬出版　2022
8　古森孝秀 編著：歯科衛生士講座　口腔外科学　第2版　永末書店　2017
9　歯科衛生士テキスト　わかりやすい歯科放射線学　第3版　学建書院　2019

7. 参考書

1　松浦 正朗、矢島 安朝 編著: 歯科衛生士が知っておきたい　よくわかる口腔インプラント　医歯薬出版　2012
2　新刊　歯科衛生士講座 口腔外科の治療と診療補助　永末書店　2023

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/27 (水) 4限	力丸	ユニット1 保存修復治療・歯内治療・歯周治療時における診療補助業務 ［講義］	1) 保存修復治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。 2) 歯内治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。 3) 歯周治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 保存修復治療の特徴を説明できる。 (2) 保存修復治療の手順を説明できる。 (3) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。 (4) 歯内治療の特徴を説明できる。 (5) 歯内治療の手順を説明できる。 (6) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。 (7) 歯周治療の特徴を説明できる。 (8) 歯周治療の手順を説明できる。 (9) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。	教科書1. の P111-124、教科書4. の指定された項目を精読する (1時間)	認知 (解釈)
2	9/28 (木) 2限	後藤	ユニット２ 補綴治療時における診療補助業務 ［講義］	1) 補綴治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 補綴治療の特徴を説明できる。 (2) 補綴治療の手順を説明できる。 (3) 処置後の患者への説明事項を列挙できる。	教科書1. の P138-148、教科書5. の関連項目を精読する (予習1時間・復習1時間)	認知 (解釈)
3	9/29 (金) 2限	泉	ユニット４ 口腔外科治療時における診療補助業務 ［講義］	1) 口腔外科治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 口腔外科治療（手術）の特徴と流れを説明できる。 (2) 普通抜歯・難抜歯の手順と必要器材を列挙できる。 (3) 抜歯術における偶発症、術後患者指導を説明できる。	教科書1.のP 153-164、教科書7.のP 153-173を精読する (予習1時間・復習1時間)	認知 (解釈)
4	9/29 (金) 4限	井上	ユニット３ 矯正歯科治療時における診療補助業務 ［講義］	1）矯正治療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1)矯正治療の特徴を説明できる。 (2)矯正治療の手順を説明できる。 (3)処置後の患者への説明事項を列挙できる。 (4)矯正装置の取り扱いの説明ができる。	教科書１.の P.173-182、教科書８.の P.120-154の関連項目を精読する (予習1時間・復習1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
5	10/3 (火) 2限	森 奥村 岡崎	ユニット５ パステクニック ［講義］	1) 器具の取り扱いや受け渡しについて理解できる。	(1) 器具の受け渡しの注意点を説明できる。 (2) 器具の受け渡しに適している位置を説明できる。 (3) ペングリップとパームグリップによる受け渡しを説明できる。 (4) 小器具等の取り扱いを説明できる。 【確認テスト】授業で配布された資料を復習すること。	教科書1の P 69-71 を精読する。 確認テストの勉強をする。 (2時間)	認知 (解釈)
6	10/24 (火) 2限	森 奥村 岡崎	ユニット６ ラバーダム防湿法 ［講義］	1) ラバーダム防湿法について理解する。	(1) ラバーダム防湿法の目的が説明できる。 (2) ラバーダム防湿法で用いる器具の用途を説明できる。 (3) ラバーダム防湿の術式を列挙できる。	教科書1.のP99-105を精読する (2時間)	認知 (解釈)
7	11/1 (水) 4限	森 奥村 岡崎	ユニット７ トレーセッティング ［講義・演習］	1) インレー修復処置の手順と必要な器材の用途について理解する。 2) 歯髄処置の手順と必要な器材の用途について理解する。 3) 全部鋳造冠作成の手順と必要な器材の用途について理解する。 4) 総義歯作成の手順と必要な器材の用途について理解する。 5) 普通抜歯処置の手順と必要な器材の用途について理解する。 6) 難抜歯処置の手順と必要な器材の用途について理解する。	(1)インレー修復処置の手順と使用器材の用途について説明できる。 (2)歯髄処置の手順と使用器材の用途について説明できる。 (3)全部鋳造冠作成の手順と使用器材の用途について説明できる。 (4)総義歯作成の手順と使用器材の用途について説明できる。 (5)普通抜歯処置の手順と使用器材の用途について説明できる。 (6)難抜歯処置の手順と使用器材の用途について説明できる。	事後学修 教科書1.2. 3.4.5.8.を参考にして作成したプリントの各処置の手順と使用器材を確認する。 (2時間)	認知 (解釈)
8	11/2 (木) 3限	森田 奥村 岡崎	ユニット８ 歯科訪問時における診療補助業務 ［講義］	1) 歯科訪問診療時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 歯科訪問診療の概要を述べることができる。 (2) 必要な器材・薬剤と治療の流れを説明できる。 (3) 診療時の適切な患者対応を説明できる。 (4) 訪問診療における感染予防対策を説明できる。 (5) 訪問診療における口腔健康管理を説明できる。	教科書1.の P292-305、教科書8.の P 182-186を精読する (予習1時間・復習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
9	11/8 (水) 4限	井上 奥村 岡崎	ユニット9 周術期における口腔機能管理 ［講義］	1) 周術期における口腔機能管理の内容を理解する。	(1) 周術期における口腔機能管理を概説できる。 (2) 周術期の歯科治療時の役割を説明できる。 (3) 手術における術前・術中・術後の歯科衛生士の対応を説明できる。	教科書1.の P286-291を精読する (予習1時間・復習1時間)	認知 (解釈)
10	12/4 (月) 2限	南 中田	ユニット10 歯の漂白時における診療補助業務 ［講義］	1) 歯の漂白時における歯科診療補助業務の内容を理解する。	(1) 生活歯漂白法の手順を説明できる。 オフィスブリーチ法とホームブリーチ法 (2) 漂白法で用いる器具や薬剤の用途を説明できる。	教科書1. の P121-124、教科書4. のP146-157を精読する (予習1時間・復習1時間)	認知 (解釈)
11	12/15 (金) 1限	力丸	ユニット11 エックス線撮影時における診療補助業務 ［講義］	1) 画像検査法とその補助について理解する。	(1) エックス線写真撮影装置と方法について説明できる。	教科書1. の P90- 92 教科書9. の P54-74を精読する (2時間)	認知 (解釈)
12	12/15 (金) 2限	力丸	ユニット12 エックス線撮影時における診療補助業務 ［演習］	2) 口腔内エックス線画像について理解する。	(2) 正常および基本的な病変のエックス線画像を読影できる。	教科書9. の P144-161を精読する (2時間)	認知 (解釈)

歯科診療補助実習Ⅲ

開講時期：　2 年次前期
授業時間数：　20 コマ；40 時間　1 単位
受験資格要件：4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021246
評価責任者：　後藤加寿子
授業担当者：　力丸哲也、後藤加寿子、石井綾子
泉喜和子、井上庸子、南レイラ
川尻　望、森沙耶香、高木未沙稀
岡崎晴菜、奥村明日香

1．一般目標
　歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な口腔内の情報収集を実施するための知識や技術を修得する。また、多様な対象者を支援するために必要な歯科診療における共同動作を修得する。

2．教育方法
　講義・演習・実習を行う。
大学病院等において、歯科医師、歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3．教育教材
　教科書、プリント、配布資料、PC＋プロジェクター、DVD、各種実習器材

4．学修方法
　実習には、該当する指定の教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習(復習)を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、歯科材料学、歯科補綴学、保存修復学の理解が必要となる。　［単位修得に必要な授業外学修時間：10 時間］

5．評価方法
［形成的評価］確認テスト・レポート
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。
［総括的評価］記述試験（80%）・小テスト・レポート・授業参加状況（20%）
［フィードバック］以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6．教科書
1．　最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　2020

7．参考書
1.　最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常1　歯科補綴　第2版　医歯薬出版　2022
2.　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　2021
3.　歯科衛生学シリーズ　歯科機器　医歯薬出版　2023
4.　最新歯科衛生士教本　歯科材料　医歯薬出版　2018
5.　新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復 クインテッセンス出版　2020

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	5/9 (火) 4 限	後藤 岡崎 奥村	ユニット 1 スタディモデルの作成 ［講義］	1）印象採得・咬合採得について理解できる。 2）歯科用石膏について理解できる。	（1）印象採得・咬合採得の手順を説明できる。 （2）印象採得・咬合採得で用いる器材と用途を説明できる。 （3）歯科用石膏の特徴・種類・用途を説明できる。	教科書 1 の P192-202、P 214-221を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈）

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
2 3	5/10 （水） 3,4 限	石井 後藤 井上 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1 スタディモデルの作成1 アルジネート印象材練和の復習 ［実習］	1）アルジネート印象材の取り扱いについて理解できる。	（1）アルジネート印象材を練和し、トレーに盛り付けることができる。	第1回目の講義で配布された資料と、教科書の関連項目を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
4 5 6	5/17 （水） 1-3 限	後藤 泉 井上 南 川尻 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1 スタディモデルの作成2 印象採得・咬合採得(3人一組：1人目) ［実習］	1）印象採得と咬合採得を実施し、石膏を用いて模型が作製できる。	（1）印象採得とその対応を実施できる。 （2）歯科用石膏の練和と管理を実施できる。	第1回目の講義で配布された資料と教科書の関連項目を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
7 8 9	5/24 （水） 1-3 限	後藤 力丸 泉 井上 黒木 川尻 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1 スタディモデルの作成3 印象採得・咬合採得(3人一組：2人目) ［実習］	1）印象採得と咬合採得を実施し、石膏を用いて模型が作製できる。	（1）印象採得とその対応を実施できる。 （2）歯科用石膏の練和と管理を実施できる。	第1回目の講義で配布された資料と教科書の関連項目を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
10 11 12	5/31 （水） 1-3 限	後藤 力丸 泉 井上 黒木 川尻 森 高木 岡崎 奥村	ユニット1 スタディモデルの作成4 印象採得・咬合採得(3人一組：3人目) ［実習］	1）印象採得と咬合採得を実施し、石膏を用いて模型が作製できる。	（1）印象採得とその対応を実施できる。 （2）歯科用石膏の練和と管理を実施できる。	第1回目の講義で配布された資料と教科書の関連項目を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
13	6/14 （水） 3 限	力丸	ユニット２ 成形歯冠修復材の取り扱い （レジン充填・隔壁法） ［講義］	1）レジン充填について理解する。 2）隔壁法について理解する。	（1）レジン充填に必要な器具や材料を説明できる。 （2）レジン充填の手順が説明できる。 （3）隔壁法に必要な器具や材料を説明できる。 （4）隔壁法の手順が説明できる。 （5）レジン充填後の患者への説明事項を列挙できる。	教科書1のP111-114，教 参考書3のP88-90,参考書4のP90-93，参考書5のP 44-47，P 82-95を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈）
14 15	A:6/21 （水） 3,4 限 B:6/28 （水） 3,4 限	力丸 泉 岡崎 奥村 森	ユニット２ 成形歯冠修復材の取り扱い （レジン充填・隔壁法） ［実習］	1）レジン充填が実施できる。 2）隔壁法が実施できる。	（1）レジン充填で必要な器具や材料が準備できる。 （2）レジン充填が実施できる。 （3）隔壁法で必要な器具や材料が準備できる。 （4）隔壁法が実施できる。 （5）レジン充填後の患者説明ができる。	13回の講義で配布されたプリントを精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （模倣）
16	6/27 （火） 4 限	後藤 森 岡崎 奥村	ユニット3 寒天印象材・精密印象材の取り扱い ［講義］	1）寒天-アルジネート連合印象について理解できる。 2）合成ゴム質印象材について理解る。 3）歯肉圧排について理解する。	（1）寒天-アルジネート連合印象の手順を説明できる。 （2）寒天-アルジネート連合印象で用いる器具と用途を説明できる。 （3）精密印象採得の手順を説明できる。 （4）精密印象採得で用いる器具と用途を説明できる。 （5）歯肉圧排法の手順を説明できる。 （6）歯肉圧排法で用いる器具と用途を説明できる。	教科書1のP 203-210を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈）
17 18	6/29 （木） 3,4 限	森 後藤 石井 南 川尻 岡崎 奥村	ユニット３ 寒天印象材の取り扱い ［実習］	1）寒天-アルジネート連合印象採得が実施できる。	（1）マネキン模型上で、寒天-アルジネート連合印象採得が実施できる。	16回目の講義で配布された資料と、教科書の関連項目を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
19 20	7/12 （水） 3,4 限	後藤 川尻 石井 森 岡崎 奥村	ユニット３ 精密印象材の取り扱い ［実習］	1）合成ゴム質印象材による精密印象採得が実施できる。 2）歯肉圧排が実施できる。	（1）合成ゴム質印象材による精密印象採得で必要な器具・材料が準備できる。 （2）合成ゴム質印象材による精密印象採得が実施できる。 （3）歯肉圧排法で必要な器具・材料が準備できる。 （4）歯肉圧排法が実施できる。	16回目の講義で配布された資料と、教科書の関連項目を精読する。 （1 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）

歯科診療補助実習Ⅳ

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　20 コマ；40 時間　1 単位
受験資格要件：4/5（16 コマ）以上の出席
科目番号：　DH021247
評価責任者：　森　沙耶香
授業担当者：　泉　喜和子、力丸　哲也、川尻　望
北村　強志、堀部　晴美、後藤加寿子
石井　綾子、井上　庸子、南　レイラ
高木未沙稀、森　沙耶香
岡崎　晴菜、奥村明日香

１．一般目標
　歯科衛生士として多様な対象者を支援するために、専門歯科領域ごとの歯科診療補助業務に関する知識・技術・態度を修得する。

２．教育方法
　講義・演習・実習を行う
大学病院等において、歯科医師、歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材
　教科書、プリント、PC プロジェクター

４．学修方法
　授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。本授業を理解するうえで、口腔外科学、材料学、歯科補綴学、歯科保存学、保存修復学、解剖学、小児歯科学の理解が必要となる。
［単位修得に必要な授業外学修時間：20 時間］

５．評価方法
［形成的評価］確認テスト・レポート
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。
［総括的評価］記述試験（70%）、実技試験（20%）、小テスト・レポート・授業態度（10%）
［フィードバック］以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。
尚、詳細は各ユニットの初日に説明する。

６．教科書
１．最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第 2 版 医歯薬出版　2020

７．参考書
１．新・歯科衛生士教育マニュアル 歯周病学 クインテッセンス出版　2018
２．新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療 クインテッセンス出版　2020
３．新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復 クインテッセンス出版　2020
４．最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常 1　歯科補綴　医歯薬出版　第 2 版　2020
５．新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学 クインテッセンス出版　2013
６．歯科衛生学シリーズ　歯科機器　医歯薬出版　2023
７．最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版　第 2 版　2020

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	A:10/5（木）1,2限	後藤 井上 森 岡崎	ユニット1 義歯の取り扱い ［実習］	1）義歯の取り扱いを説明できる。 2）義歯の保管方法について説明できる。	(1) 義歯の取り扱いを説明できる。 (2) 義歯の保管方法について説明できる。 (3) 義歯の洗浄を実施できる。	参考書4Ｐ134-143, 参考書7Ｐ281-282を精読する （2 時間）	認知 （解釈） 精神運動 （模倣）
2	B:10/6（金）1,2 限						

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3 4	A:10/11 （水） 1,2限 B:10/4 （水） 1,2限	泉 力丸 井上 奥村	ユニット2 口腔外科器具の取扱い ［演習］	1）口腔外科処置時の器具、器材の準備ができる。 2）器具の取り扱いを説明できる。	(1) 局所麻酔に必要な器具を列挙し準備ができる。 (2) 縫合処置に必要な器材を列挙し準備ができる。 (3) 抜歯術や小手術に必要な器材を列挙できる。	教科書1のP153-172を精読する 1時間 （2 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （模倣）
5 6	A:10/13 （金） 1,2限 B:10/12 （木） 1,2限	井上 後藤 森	ユニット3 矯正治療に用いる器具・装置の取り扱い	1）Ⅰ期治療に用いる器具・装置の取り扱いができる。 2）マルチブラケット治療に用いる器具の取り扱いができる。	（1）可撤式矯正装置に用いる器具と装置の取り扱いについて説明できる。 （2）固定式矯正装置に用いる器具と装置の取り扱いについて説明できる。 （3）マルチブラケット治療に用いる器具が準備できる。	教科書◯のP64-79, P127-154 を精読する 教科書６のP150-166を精読する （2時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神運動 （模倣）
7 8	10/25 （水） 1,2限	後藤 黒木 森 奥村 岡崎	ユニット4 パステクニック ［実習］	1）安全に器具の取り扱いや受け渡しができる。	(1) マネキン模型上で、安全に器具の取り扱いが実施できる。	教科書1のP 69-71 を精読する （2 時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神 運動 （模倣）
9 10	11/2 （木） 1,2限	森 黒木 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット6 ラバーダム防湿法 (1歯露出) ［実習］	1）ラバーダム防湿法が実施できる。	(1) ラバーダム防湿法で必要な器具が準備できる。 (2) ラバーダム防湿法の手順を説明できる。 (3) マネキン模型上で、1歯露出のラバーダム防湿法が実施できる。 【確認テスト】事前講義（歯科診療補助論Ⅱの第10回目の講義で配布されたプリント）を復習すること。	ラバーダム防湿法の講義で配布されたプリントを精読する （2 時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神 運動 （コントロール）
11 12	11/8 （水） 1,2限	森 黒木 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット6 ラバーダム防湿法 (多数歯露出) ［実習］	1）ラバーダム防湿法が実施できる。	(1) ラバーダム防湿法で必要な器具が準備できる。 (2) ラバーダム防湿法の手順を説明できる。 (3) マネキン模型上で、多数歯露出のラバーダム防湿法が実施できる。 【確認テスト】事前講義（歯科診療補助論Ⅱの第10回目の講義で配布されたプリント）を復習すること。	ラバーダム防湿法の講義で配布されたプリントを精読する （2 時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神 運動 （コントロール）
13 14	A:11/9 （木） 3,4限 B:11/9 （木） 1,2 限	後藤 高木 サンメディカル 北村 奥村 岡崎	ユニット5 Tec（テンポラリークラウン）の作製 ［実習］	1）テンポラリークラウンが作製できる。	(1) マネキン模型上で、テンポラリークラウンが作製できる。	参考書4のＰ89-90を精読する （2 時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
15 16	11/10 （金） 1,2限	森 後藤 井上 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット5 Tec（テンポラリークラウン）装着時の準備、余剰セメントの除去 (3人一組) ［実習］	1）テンポラリークラウン装着時の対応ができる。	(1) 仮着時で必要な器材が準備できる。 (2) マネキン模型上で、テンポラリークラウンを仮着できる。 (3) 余剰セメントの除去を確実に実施できる。	教科書1. のP144-148を精読する （2時間）	認知 （解釈） 精神 運動 （コントロール）
17 18	11/16 （木） 1,2限	森 力丸 黒木 川尻 奥村 岡崎	ユニット7 トレーセッティング① 保存修復治療 歯内治療 ［実習］	1）インレー修復治療の準備ができる。 2）根管治療・根管充填の準備ができる。	(1) インレー修復で必要な器具や材料が準備できる。 (2) インレー修復処置後の患者説明ができる。 (3) 根管治療・根管充填に必要な器具や材料が準備できる。 (4) 根管治療・根管充填後の患者説明ができる。	教科書1. のP115-120、参考書3. のP96-113を精読する 教科書1. のP125-132、 参考書2. のP55-61, P82-101、参考書6のP92-102を精読する （2時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神 運動 （自動化）
19 20	12/6 （水） 1,2限	森 泉 井上 川尻	ユニット7 トレーセッティング② 補綴治療 ［実習］	1）ＦＭＣ作成および合着の準備が出来る。 2）義歯の作成および装着の準備ができる。	（1）ＦＭＣ形成および合着に必要な器材や材料の準備が出来る。 （2）義歯の作成および装着に必要な器材や材料の準備が出来る。 （3）補綴治療時における患者説明が出来る。 【確認テスト】事前講義（歯科診療補助論Ⅱの第11回目の講義内容とレポート）を復習すること。当日実習内容からも出題する。 **授業評価アンケート実施**	教科書1のP138-148 を精読する 参考書4の P78-92、P111-131 （2時間）	認知 （解釈） 情意 （反応） 精神運動 （自動化）

実技試験は、ユニット 12 以降に行なう。（実施日： / （ ） ， 限）

介護研修Ⅰ

開講時期：　２年次前期
授業時間数：　20 コマ；30 時間１単位
受験資格要件：20 コマの出席
科目番号：　DH021251
評価責任者：　古野　みはる
授業担当者：　古野　みはる、末松美保子

１．一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域包括ケアシステムの中で社会や他者のために責任ある行動がとれ、多職種と連携・協働し、根拠や理論に基づいた口腔介護（口腔衛生管理および口腔機能管理）の提供ができる能力を修得することを到達目標とする。

２．教育方法

講義・演習（福岡県の「介護職員初任者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）

高齢者施設、病院、行政機関等で介護福祉士、社会福祉士、看護師として高齢者や障害者の支援に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、PC＋プロジェクター。

４．学修方法

介護職員初任者研修修了のためには、全20コマの出席が必要である。

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、介護研修Ⅱ、口腔・全身介護論、口腔・全身介護技術と密接な関係があり、臨床・臨地実習での患者や利用者理解に不可欠である。【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

５．評価

［総括的評価］レポート（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。
※介護職員初任者研修修了のためには、「介護研修Ⅱ」「口腔・全身介護論」「口腔・全身介護技術」終了後に修了試験を行い、70点以上を合格とする。

６．教科書

1.「介護職員初任者研修テキスト 1～介護のしごとの基礎」中央法規出版、2020
2.「介護職員初任者研修テキスト 2～自立に向けた介護の実際」中央法規出版、2020

７．参考書

特になし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1 2	4/4 (火) 4限 4/11 (火) 4限	古野 末松	オリエンテーション ユニット１ 職務の理解 講義	1）多様なサービスを理解する （３時間）	(1) 介護保険による居宅サービスの種類とサービスが提供される場を説明できる。 (2) 介護保険による施設サービスの種類とサービスが提供される場を説明できる。 (3) 介護保険外のサービスの種類とサービスが提供される意義や目的を説明できる。	居宅・施設サービスの種類を調べてノートにまとめる。 （1.5時間）	認知 (想起)
3 4	4/13 (木) 1限 4/18 (火) 4限	古野 末松		2）介護職の仕事内容や働く現場を理解する （３時間）	(1) 各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を説明できる。 (2) ケアマネジメントと、介護サービス提供に至るまでの流れを説明できる。 (3) チームアプローチの必要性と、具体的な連携方法を説明できる。	介護に携わるチームメンバーを調べてノートにまとめる。 （1.5時間）	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
5 6	4/20 (木) 1限 4/25 (火) 4限	古野 末松	ユニット２ 介護における尊厳の保持・自立支援 講義	1) 人権と尊厳を支える介護について理解する （３時間）	(1) 介護の目標や展開について、尊厳の保持、ＱＯＬ、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて説明できる。	人権と尊厳を守る上で重要なことをノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
7 8	4/27 (木) 1限 5/2 (火) 4限	古野 末松		1) 人権と尊厳を支える介護について理解する （３時間）	(1) 虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。	虐待の種類と定義をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
9 10	5/11 (木) 1限 5/18 (木) 1限	古野 末松		2) 自立に向けた介護について理解する （３時間）	(1) 介護における自立とは何かを説明できる。 (2) 「その人らしさ」を尊重するために、歯科衛生士として配慮すべき点について説明できる。 (3) 介護予防の考え方について概説できる。	歯科衛生士が介入する介護予防の内容をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
11 12	5/25 (木) 1限 6/1 (木) 1限	古野 末松	ユニット3 介護の基本 講義	1) 介護職の役割、専門性と多種職との連携を理解する 2) 介護職の職業倫理について理解する （３時間）	(1) 介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について説明できる。 (2) 介護職に共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について説明できる。 (3) 介護に関わる際の職業倫理の重要性を理解し、利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙できる。	医療・看護・福祉との連携に必要な職種と連携の必要性をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
13 14	6/8 (木) 1限 6/15 (木) 1限	古野 末松		3) 介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する 4) 介護職の安全について理解する （３時間）	(1) 生活支援の場で出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。 (2) 介護職におこりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を列挙できる。	介護事故の事例を調べてノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
15 16	6/22 (木) 1限 6/29 (木) 1限	古野 末松	ユニット4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 講義	1) 介護保険制度について理解する （３時間）	(1) 生活全体のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。 (2) 介護保険制度や障害者の自立支援の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。 (3) ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。	介護保険制度の目的を調べてノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
17 18	7/6 (木) 1限 7/13 (木) 1限	古野 末松		2) 障害者総合支援制度及びその他の制度について理解する （３時間）	(1) 高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。	障害者総合支援法の目的をtと対象者を調べノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
19 20	7/20 (木) 1限 7/27 (木) 1限	古野 末松		3) 医療との連携とリハビリテーションについて理解する （３時間）	(1) 医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる。 (2) リハビリテーションの意義・目的、その種類について列挙できる。	医行為の種類とリハビリテーションの種類をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)

介護研修Ⅱ

開講時期：　２年次後期
授業時間数：　35 コマ；48 時間２単位
受験資格要件：　35 コマの出席
科目番号：　DH021252
評価責任者：　秋竹　純
授業担当者：　秋竹　純、齊田直樹、古野みはる
中園栄里、川上泰伸、吉田一生
雪野綾子、満本純二、黒木祐子
前田風真、野田明日香、北村亮介
津野崎裕太

１．一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域包括ケアシステムの中で社会や他者のために責任ある行動がとれ、多職種と連携・協働し、根拠や理論に基づいた口腔介護（口腔衛生管理および口腔機能管理）の提供ができる能力を修得することを到達目標とする。

２．教育方法

講義・演習（福岡県の「介護職員初任者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）
高齢者施設で介護福祉士として高齢者や障害者の支援に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、PC＋プロジェクター。

４．学修方法

介護職員初任者研修修了のためには、全35コマの出席が必要である。

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、介護研修Ⅰ、口腔・全身介護論、口腔・全身介護技術と密接な関係があり、臨床・臨地実習での患者や利用者理解に不可欠である。　【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：42時間】

５．評価

［総括的評価］レポート（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。
※介護職員初任者研修修了のためには、「介護研修Ⅰ」「口腔・全身介護論」「口腔・全身介護技術」終了後に修了試験を行い、70点以上を合格とする。

６．教科書

1.「介護職員初任者研修テキスト 1～介護のしごとの基礎」中央法規出版、2020
2.「介護職員初任者研修テキスト 2～自立に向けた介護の実際」中央法規出版、2020

７．参考書

特になし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目 標領域
1 2	10/17 (火) 2限 10/23 (月) 3限	川上 吉田	ユニット1 基本知識の学習 講義・演習	1) 介護の基本的な考え方について理解する （３時間）	1) 主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。	予習：要介護度の種類を調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：施設生活の１日（代表例）の流れをノートにまとめる。（1時間）	認知 (想起)
3 4	10/23 (月) 4限 10/30 (月) 3限	川上 吉田		2) 介護に関するこころのしくみを基礎的に理解する （３時間）	1)利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。	予習：環境整備とは何か調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：環境整備が生活へ及ぼす影響についてノートにまとめる。（1時間）	認知 (想起)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目 標領域
5 6 ※7	10/30 (月) 4限 10/31 (火) 1,2限	川上 吉田		3) 介護に関するからだのしくみを基礎的に理解する （４時間）	1) 人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。 2) 人体の構造や機能が列挙き、何故行動が起こるのかを概説できる。	予習：記憶の種類を調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：人体の部位をノートに図示する。 （1時間）	認知 (想起)
8 9 ※10 ※11	11/6 (月) 3,4限 11/7 (火) 1,2限	中園 雪野 満本 黒木	ユニット2 生活支援技術1 講義・演習	1) 生活と家事について理解する （５時間）	1) 家事援助の機能と基本原則について列挙できる。 2) 家事援助とは何か具体的に説明できる。	予習：家事の種類を調べノートにまとめる。 （2時間） 復習：生活における家事の役割をノートにまとめる。 （2時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入・反応)
12 13 ※14 ※15	11/13 (月) 3,4限 11/14 (火) 1,2限	中園 雪野 満本 黒木		2) 快適な居住環境整備について理解する （５時間）	1) 快適な居住環境のポイントを列挙できる。 2) 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用方法が列挙できる。	予習：自身が住む家で快適と感じる場所をノートにまとめる。（2時間） 復習：福祉用具の活用事例をノートにまとめる。 （2時間）	認知 (想起) 情意 (受入・反応)
16 17 ※18 ※19	1/10 (水) 4限 1/12 (金) 4限 1/15 (月) 1,2限	秋竹 齊田	ユニット3 生活支援技術２ 講義・演習	1) 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護について理解する （５時間）	1) ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点，本人・家族への説明と了解，介護職や他の職種との連携（ボランティアを含む）について列挙できる。	予習：ターミナルケアとは何か調べてノートにまとめる。 （2時間） 復習：授業で視聴するVTRの感想をレポートにまとめる。（2時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入・反応)
20 21	1/15 (月) 3,4限	秋竹 齊田	ユニット4 総合生活支援技術 講義・演習	1)介護過程を基礎的に理解する （３時間）	1) 支援を行う際の思考過程を具体的に説明できる。 2) アセスメントの重要性について説明できる。	予習：介護過程のサイクルを調べノートにまとめる。 （2時間） 復習：アセスメントの重要なポイントをノートにまとめる。（2時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入・反応)
22 23	1/16 (火) 1,2限	秋竹 齊田 津野崎 北村 前田 野田		2) 総合生活支援技術について理解する　（３時間）	1) 介護過程の基本を踏まえ、課題解決に向けたアセスメントを展開できる。	予習：ニーズとデマンドの違いをノートにまとめる。 （2時間） 復習：授業中に指示された事例をノートにまとめる。 （2時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入・反応)
24 25 ※26	1/16 (火) 3,4限	秋竹 齊田 津野崎 北村 前田 野田		3) 総合生活支援技術について理解する　（４時間）	1) アセスメントを踏まえ、事例における具体的な課題を抽出できる。	予習：提示された事例を熟読する。（2時間） 復習：アセスメントシートに必要事項の追加書込みを行い完成させる。 （2時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入・反応)
27 28 29 30 31		秋竹	ユニット5 介護実習 実習	1) 要介護者とコミュニケーションを図り、自立を目指した支援が実施できる 2) 介護実践を通じて利用者の生活を理解することができる （８時間）	1) 施設での生活支援について説明できる。 2) 介護者の役割について説明できる。	予習：実習目標を立て、記録用紙に記入する。 （1時間） 復習：実習目標に沿った評価・考察を行う。 （5時間）	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (受入・反応)
32 33		古野 秋竹	ユニット6 振返り 講義・演習	1) 研修全般の総括及び学びを振返る （３時間）	1) 要介護高齢者への支援に必要な基本知識が概説できる。	予習：提示された課題を熟読する。（2時間） 復習：初任者研修全般の振返りをレポートにまとめる。（2時間）	認知 (想起)
※34 ※35		古野 秋竹	ユニット7 就業への備えと研修修了後における継続的な研修 講義	1) 就業及び実習にむけた準備を理解する（２時間）	1) 介護職員初任者研修修了後の継続研修やスキルアップの方法が理解できる。	予習：提示された課題を熟読する。（1時間） 復習：授業で配布された課題を読みレポートを作成する。（1時間）	認知 (想起)

※は 60 分 1 コマ

口腔・全身介護論

開講時期：　2 年次後期
授業期間数：　15 コマ；24 時間 1 単位
受験資格要件：　15 コマの出席
科目番号：　DH021253
評価責任者：　古野　みはる
授業担当者：　古野　みはる、末松　美保子
田口　智章、松元　幸一郎
下新　愛、中ノ森　輝久
藤城　義博

1．一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域包括ケアシステムの中で社会や他者のために責任ある行動がとれ、多職種と連携・協働し、根拠や理論に基づいた口腔介護（口腔衛生管理および口腔機能管理）の提供ができる能力を修得することを到達目標とする。

2．教育方法

講義・演習（福岡県の「介護職員初任者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）

行政機関、医療機関、障害者施設、高齢者施設等において介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、医師、看護師、介護支援専門員、民生・児童委員として高齢・障害者等の支援に関わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3．教育教材

教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

4．学修方法

介護職員初任者研修修了のためには、全15コマの出席が必要である。

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、介護研修Ⅰ、介護研修Ⅱ、口腔・全身介護技術と密接な関係があり、臨床・臨地実習での患者や利用者理解に不可欠である。　【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：21時間】

5．評価

［総括的評価］レポート（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。
※介護職員初任者研修修了のためには、「介護研修Ⅰ」「介護研修Ⅱ」「口腔・全身介護論」「口腔・全身介護技術」終了後に修了試験を行い、70点以上を合格とする。

6．教科書

1.「介護職員初任者研修テキスト 1～介護のしごとの基礎」中央法規出版、2020
2.「介護職員初任者研修テキスト 2～自立に向けた介護の実際」中央法規出版、2020

7．参考書

特になし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目 標領域
1 2	9/19 (火) 1,2限	古野 末松	オリエンテーション ユニット1 介護におけるコミュニケーション技術 講義	1) 介護におけるコミュニケーション技術を理解する。 （３時間）	(1) コミュニケーションの意義、目的、役割を説明できる。 (2) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術を説明できる。	言語的・非言語的コミュニケーションの種類を調べノートにまとめる。 （１時間） 事例の人とのコミュニケーション方法をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
3 4	9/25 (月) 3,4限	古野 末松		2) 介護におけるチームのコミュニケーションを理解する。 （３時間）	(1) 記録における情報の共有化の意義を説明できる。 2) チームにおける報告・連絡・相談の必要性を説明できる。	介護現場での記録の種類を調べノートにまとめる。 （１時間） 報告・連絡・相談の留意点をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
5 6	9/26 (火) 1,2限	古野 末松	ユニット3 認知症の理解 講義	1) 認知症を取り巻く状況（環境）を理解する。 2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理について理解する。 （３時間）	(1) 認知症ケアの理念を説明できる。 (2) 認知症の原因疾患とその形態を列挙できる。	「新オレンジプラン」を調べてノートにまとめる。 (1.5時間) 認知症と間違いやすい疾患をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
7 8	10/2 (月) 3,4限	古野 末松		3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活について理解する。 4) 家族への支援について理解する。 （３時間）	(1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴を説明できる。 (2) 家族へのレスパイトケアの種類や方法について説明できる。	「認知症カフェ」について調べノートにまとめる。 (1.5時間) 認知症予防になることをノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
9 10	10/3 (火) 1限 10/10 (火) 1限	田口 松元	ユニット2 老化の理解 講義	1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常を理解する。（３時間）	(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴を列挙できる。 (2) 老化に伴う日常生活への影響について説明できる。	代表的な老化学説をノートにまとめる。 (1.5時間) 記憶の種類をノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
11	10/10 (火) 2限	古野 藤城	ユニット5 人権研修 講義	1) 高齢者問題をはじめとする人権問題を理解する。 (1.5時間)	(1) 高齢者や障害者が守られるべき人権について説明できる。	人権意識を持つために大切なことをノートにまとめる。 （１時間）	認知 (想起)
12 13	10/16 (月) 3,4限	下新 中ノ森	ユニット4 障害の理解 講義	1) 障害の基礎的な理解をする。 2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的な理解をする。 3) 家族の心理、関わり支援について理解する。 (4.5時間)	(1) 障害の概念とICFについて説明できる。 (2) 障害種別毎の特性を説明できる。 (3) 家族の理解と障害受容支援の必要性について説明できる。	「医学モデル」と「生活モデル」の違いをノートにまとめる。 (1.5時間) レスパイトサービスの種類を調べノートにまとめる。 (1.5時間)	認知 (想起)
14 15	10/17 (火) 1限 10/24 (火) 1限	田口 松元	ユニット2 老化の理解 講義	2) 高齢者と健康について理解する。 （３時間）	(1) 高齢者の症状・疾患の特徴を列挙できる。 (2) 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点を説明できる。	生活習慣病の種類と原因を調べノートにまとめる。 (1.5時間) 介護保険の特定疾病をノートにまとめる。 (1.5時間]	認知 (想起)

※60 分１コマ

口腔・全身介護技術

開講時期：　２年次後期
授業期間数：　25 コマ；32 時間１単位
受験資格要件：25 コマの出席
科目番号：　DH021254
評価責任者：　秋竹　純
授業担当者：　秋竹　純、齊田直樹、竹村芽久実
辻本祥平、原口和也、下城さやか
村上歩惟、前田風真、野田明日香
杉山綱紀、北村亮介

１．一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者を支援するための基礎的知識や技術（身体介護・生活援助・多様な対象者とのコミュニケーション技術）を理解することで、対象者のQOLの向上支援を行う視点を身に付ける。また、地域包括ケアシステムの中で社会や他者のために責任ある行動がとれ、多職種と連携・協働し、根拠や理論に基づいた口腔介護（口腔衛生管理および口腔機能管理）の提供ができる能力を修得することを到達目標とする。

２．教育方法

講義・演習（福岡県の「介護職員初任者研修」事業の指定を受けた内容に基づいて実施する）
高齢者施設において介護福祉士として高齢・障害者等の支援に関わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

３．教育教材

教科書、プリント、DVD、PC＋プロジェクター

４．学修方法

介護職員初任者研修修了のためには、全25コマの出席が必要である。

授業は求められた予習項目を予習していることを前提に開始するので、授業開始までに予習しておくこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認と復習をその日のうちに行うこと。課題がある場合は締め切り期日を守ること。

本授業は、高齢者・障害者歯科学、介護研修Ⅰ、介護研修Ⅱ、口腔・全身介護論と密接な関係があり、臨床・臨地実習での患者や利用者理解に不可欠である。　【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：13時間】

５．評価

［総括的評価］レポート（80%）、授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（20%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。
※介護職員初任者研修修了のためには、「介護研修Ⅰ」「介護研修Ⅱ」「口腔・全身介護論」「口腔・全身介護技術」終了後に修了試験を行い、70点以上を合格とする。

６．教科書

1.「介護職員初任者研修テキスト1～介護のしごとの基礎」中央法規出版、2020
2.「介護職員初任者研修テキスト2～自立に向けた介護の実際」中央法規出版、2020

７．参考書

特になし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育目 標領域
1 2 ※3 ※4	11/20 （月） 3,4限 11/21 （火） 1,2限	竹村 辻本 秋竹 原口 下城 齊田	ユニット１ 口腔介護技術１ 講義・演習	１）整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について理解する （５時間）	(1) 装うことや整容の意義について解説できる。 (2) 指導を受けながら根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。	予習：整容とは何か調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：演習内容のまとめと振返りのレポートを作成 （1時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣） 情意 （受入・反応）
5 6 ※7 ※8	11/27 （月） 3,4限 11/28 （火） 1,2限	辻本 秋竹 杉山 齊田 下城 原口	ユニット２ 口腔介護技術２ 講義・演習	1) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について理解する （５時間）	(1)体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説できる。 (2)体位変換と移動・移乗に関すからだのしくみが理解され、指導に基づいて介助を行うことができる。	予習：移動手段の種類を調べノートにまとめる。 （2時間） 復習：演習内容のまとめと振返りのレポートを作成 （1時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣） 情意 （受入・反応）
9 10 11 12 ※13	12/1 （金） 4限 12/4 （月） 3,4限 12/5 （火） 1,2限	秋竹 村上 杉山 齊田 前田 竹村	ユニット３ 口腔介護技術３ 講義・演習	1) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について理解する （７時間）	(1) 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指導に基づいて介助を行うことができる。 (2) 口腔ケアの重要性について列挙でき、具体的な介助を行うことができる。 (3) 喀痰吸引が必要な高齢者の食事助を行う際に必要な注意点が列挙できる。	予習：食事の目的を調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：演習内容のまとめと振返りのレポートを作成 （1時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣） 情意 （受入・反応）
14 15 ※16 ※17	12/11 （月） 2-4限 12/12 （火） 1限	秋竹 竹村 辻本 齊田 村上 原口	ユニット４ 口腔介護技術４ 講義・演習	1) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について理解する （５時間）	(1)入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙できる。 (2)入浴に関わるからだのしくみが理解でき、指導に基づいて介助を行うことができる。	予習：清潔の目的を調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：演習内容のまとめと振返りのレポートを作成 （1時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣） 情意 （受入・反応）
18 19 ※20 ※21	12/12 （火） 2限 12/18 （月） 2-4限	村上 秋竹 杉山 野田 齊田 下城	ユニット５ 口腔介護技術５ 講義・演習	1) 排泄に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について理解する （５時間）	(1)排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指導に基づいて介助を行うことができる。	予習：排泄介助時の注意点を調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：演習内容のまとめと振返りのレポートを作成 （1時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣） 情意 （受入・反応）
22 23 ※24 ※25	12/19 （火） 1,2限 1/9 （火） 1,2限	北村 杉山 秋竹 村上 原口 齊田	ユニット６ 口腔介護技術６ 講義・演習	1) 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護について理解する （５時間）	(1)睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指導に基づいて介助を行うことができる。	予習：睡眠の重要性を調べノートにまとめる。 （1時間） 復習：演習内容のまとめと振返りのレポートを作成 （1時間）	認知 （想起） 精神運動 （模倣） 情意 （受入・反応）

※は 60 分 1 コマ

コミュニケーションスキル

開講時期：　2 年次後期
授業時間：　15 コマ；30 時間 2 単位
受験資格要件：　２/３(10 コマ)以上の出席
科目番号：　DH022301
評価責任者：　松尾　忠行
担当教員：　長野　奈穂美

１．一般目標
歯科衛生士として仕事をし、大人として社会生活を営む上での必要なマナーを修得する。さらに公私ともに良好な人間関係を構築し、社会で活躍していくための「自己表現」「相手への働きかけ力」「情報交換、共有」の手法を学ぶ事でコミュニケーション能力を獲得する。

２．教育方法
講義・演習・グループワーク・実践

３．教育教材
教科書・プリント

４．学修方法
授業には、指定教科書を持参すること。演習・実践は積極的に行い身につけること。講義内容を日常生活に活かすこと。本講義は、３年次の「臨床実習」でのコミュニケーションに不可欠である。
【単位修得に必要な授業外学修時間：60時間】

５．評価
［形成的評価］出席状況、授業態度（挨拶・発問・質疑・グループワークでの取り組む姿勢など）30％
［フィードバック］不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める
［総括的評価］ミニテスト20%、レポート50%、授業参加状況（予習復習の実施状況等）30%
［フィードバック］成績は評価後に掲示する。

６．教科書
コミュニケーション技法　　株式会社ウイネット出版　2020

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 (金) 3限	長野	オリエンテーション ユニット１ 講義概要の説明 自己紹介・他人紹介 講義・実践	１）コミュニケーションの基本を理解する ２）自己紹介の雛形を作る	（１）自分自身を知り、効果的に良さを相手に伝えることができる （２）他人の良さを認め、その良さを他者に伝えることができる	教科書 P9-14を 精読する 4時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
2	9/29 (金) 3限	長野	ユニット２ コミュニケーションの基本を身につける 講義・実践	１）コミュニケーションの中の「言葉」の重要性を知る	（１）言葉が人間関係に影響することがわかる （２）表情・態度・挨拶が感じよくできる （３）伝えよう・聞こうとする気持ちの重要さを理解する	教科書 P15-29を 精読する 4時間	認知 (解釈) 情意 (受入)
3	10/6 (金) 3限	長野	ユニット３ 効果的な表現力を身につける 講義・実践	１）第一印象の重要性を理解する	（１）好印象に結びつく姿勢や態度ができる （２）清潔感を与える身だしなみができる	教科書 ｐ100-108 を精読する 4時間	認知 (解釈) 情意 (表現)
4	10/13 (金) 3限	長野	ユニット4 話す能力 明確で聞き取りやすい話し方 講義・実践	１）話す能力を育成する ２）間違った現代言葉を認識する	（１）話し方の癖を知ることで、改善に繋げることができる （２）「話す」「書く」の違いを認識することにより、正確に話すことの難しさを知り努力ができる	教科書 Ｐ30-51を 精読する 4時間	精神運動 (模倣)
5	10/20 (金) 3限	長野	ユニット5 正しい言葉遣い 講義・演習	１）敬語の必要性を理解し、その役割と種類を知る	（１）公私における敬語の良さを知り、修得しようとする高い意識を持つ	教科書 P52-56を 精読する 4時間	認知 (解釈)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
6	10/27 (金) 3限	長野	ユニット6 敬語の種類 正しい敬語を身につける 講義・演習	1）尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく理解し、認識（区別）できるようになる 2）間違いの多い敬語の使い方を理解する	（1）普通表現を尊敬語・謙譲語・丁寧語にすることができる	教科書 P57-63を 精読する 4時間	認知 (対比)
7	11/10 (金) 3限	長野	ユニット7 敬語をマスターするには ビジネス会話の慣用表現 講義・演習	1）演習により敬語を自分のものにする	（1）T・P・0に合わせた敬語表現ができる （2）社会人としてビジネス会話の慣用表現を修得し、使えるようになる	教科書 p64-68を 精読する 4時間	認知 (表現)
8	11/17 (金) 3限	長野	ユニット８ 医療機関の患者接遇とは 講義・演習	1）ホスピタリティの意味を理解する 2）チームワークの促進要因を知り、その重要性を理解する 3）医療スタッフとして働く意識を強くする	（1）歯科衛生士として働く自覚を新たにする （2）チームワークに大切な報告・連絡・相談ができる （3）働くことの意味を明確にし、将来への希望と期待を持つ	プリント 4時間	認知 (解釈) 情意 (協調)
9	11/24 (金) 3限	長野	ユニット9 信頼関係を築く言葉遣い 患者応対のグループワーク 講義・演習	1）相手への心配りを示す言葉について理解する 2）患者様やその家族、スタッフ同士の呼び方の意味を知る	（1）クッション言葉、依頼形、プラス表現等を使い信頼関係を築くことができる （2）正しい呼び方で相手に話しかけることができる	プリント 4時間	認知 (解釈) 情意 (相互作用)
10	12/1 (金) 3限	長野	ユニット10 聞き上手を目指す（基礎） 講義・実践	1）コミュニケーションに占める「聞くこと」の重要性を理解する 2）聞き手の理解を考えた話し方を意識する	（1）相手の状況により、話題や話し方を変えることができる （2）効果的な聴き方（聞く態度）を身につける	教科書 P122-134を 精読する 4時間	精神運動 (模倣)
11	12/8 (金) 3限	長野	ユニット11 聞き上手を目指す（応用） ※レポート課題を発表	1）相手が話しやすくなる聴き方ができる	（1）自分の聴き方を具体的に考え、修正すべき点はなぜそうなのか、納得できる （2）話を促進する聴き方ができる	教科書 P135-142を 精読する 4時間	認知 (解釈)
12	12/15 (金) 3限	長野	ユニット12 患者応対（受付・窓口業務） 講義・実習・演習 ※レポート課題第1回提出日	1）歯科衛生士が受付を兼務する医院があることを理解する 2）相手が話しやすくなる話し方を修得する 3）相手の話を引き出すための方法を知る 4）患者様の気持ちを考えることができる	（1）必要ならば受付業務を進んで行うことができる （2）相手の立場、価値観を理解し、注意点を知る （3）開いた質問・閉じた質問の場面に応じた使い分けができる （4）患者様の気持ちを考えた聴き方ができる	プリント 4時間	認知 (解釈/応用)
13	12/22 (金) 3限	長野	ユニット13 状況対応能力の実践 電話応対 講義・演習 レポート課題第2回提出日	1）電話応対の基本を知る 2）医療機関での電話応対の仕方を身につける	（1）一般的なビジネス電話の用語を知る （2）患者様や外部からの電話の対応ができる （3）対面と電話とのコミュニケーションの取り方の違いを理解する	プリント 確認テストに向けて 4時間	認知 (相互作用)
14	1/12 (金) 3限	長野	ユニット14 ※確認テスト 就業中のマナー① 講義 レポート課題最終提出日	1）確認テストで授業の認知度を確認する 2）人間関係を良好にし、互いが気持ちよく仕事をするためにマナーが必要なことを理解する	（1）確認テストで理解できなかった箇所をはじめ全体の復習をする （2）現在の自分の行動を振り返り、修正すべき点を発見し、改善に向けての努力ができる	確認テスト復習 プリント 4時間	認知 (解釈)
15	1/19 (金) 3限	長野	ユニット15 就業中のマナー② 総括 講義・演習	1）１日のそれぞれの場面での常識的なマナーを知る 2）医療機関のマナーについて知る	（1）出勤～離席・外出・休憩中～退社時の適切な行動ができる （2）廊下・室内環境・守秘義務などについて医療機関での重要性を理解し行動できる	プリント 4時間	認知 (解釈)

接遇

開講時期：　2 年次後期
授業時間数：　15 コマ；30 時間 2 単位
受験資格要件：　2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH022302
評価責任者：　松尾　忠行
担当教員：　藏田　純子

１．一般目標
本授業は将来歯科衛生士として活躍する為に、豊かな教養と人間性を備え周りから信頼される人間形成を目指す。多様な対象者に対し感じの良い対応をする為に必要な接遇能力を修得する。また、社会人基礎力の一つである傾聴力を身につけ、誰からも信頼され、より良い人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につける。学生と社会人の違いを理解し、社会人としての自覚をもって行動できる為のビジネスマナーを身に付ける。

２．教育方法
講義、演習、ペアワーク、ロールプレイング、グループディスカッション

３．教育教材
教科書、プリント

４．学修方法
授業には指定教科書とノートを持参する。配布プリントは綴って保管する。事前学習として下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読み、主体性をもって授業に臨むこと。授業中個人作業ではノートを取り不明な点は積極的に質問する。共同作業では協調性を意識した上で積極的に発言し、相手の言動を尊重する。授業はその日のうちに授業内容の復習をし、学んだことは日常生活に取り入れ習慣化する。本講義は、3年次の「臨床実習」の患者・利用者・スタッフとのコミュニケーションに不可欠である。　【単位修得に必要な授業外修時間：60時間】

５．評価方法
［形成的評価］小テスト
［フィードバック］小テストは次回に授業で返却して振り返りをする。特に間違いが多かった箇所は改めて説明する。
［総括的評価］記述試験（50%）、小テスト・授業態度（50%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。

６．教科書
歯科スタッフのマナーと実践マニュアル（第2版）編集・発行　一般財団法人　口腔保健協会

７．参考書
なし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/22 (金) 3限	藏田	ユニット１ 接遇の基本と意義 【講義・グループディスカッション】	１）接遇の基本と意義を理解する	（１）明るい笑顔で挨拶をすることができる（自己紹介） （２）相手の目を見てはきはきと話すことができる	１）接遇の基本と意義を理解する 4時間	認知 (想起) 情意 (受入)
2	9/29 (金) 3限	藏田	ユニット２ デンタルスタッフの一員として１ 【講義・ペアワーク・グループディスカッション】	１）職種ごとの仕事の内容や役割を理解する ２）患者が感じる印象について理解する	（１）何を患者が求めているのかを理解し行動できる （２）患者から感じがよいと思われる行動を理解し、行動できる （３）感謝の気持ちを持ち、表現することができる	教科書P2～P７を精読する 日常生活で習慣化する 4時間	認知 (想起) 情意 (受入)
3	10/6 (金) 3限	藏田	ユニット２ デンタルスタッフの一員として２ 【講義・ペアワーク・ロールプレイング】	１）職場での人間関係について理解する ２）命令の受け方と報告の仕方を理解する	（１）報告・連絡・相談の重要性を理解し、行動化することができる （２）素直な態度で注意を受けることができる （３）迅速かつ簡潔な報告ができる (5W3Hを理解している)	教科書P8～12を精読する 日常生活で習慣化する 4時間	認知 (解釈) 情意 (受入)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/13 (金) 3限	藏田	ユニット３ 社会人としての基本的なマナー１ 【講義・ペアワーク・グループディスカッション】	1）社会や職場で求められるマナーについて理解する	（1）社会人と学生の違いを説明できる （2）欠勤、早退、遅刻などの注意点を理解し、社会人として適切な行動ができる （3）職場での適切な身だしなみを心掛けることができる （清潔感・調和・機能性）	教科書P14～P19を精読する 日常生活で習慣化する 4時間	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神 運動 (模倣)
5	10/20 (金) 3限	藏田	ユニット３ 社会人としての基本的なマナー２ 【講義・演習・ペアワーク】	1）第一印象の重要性について理解する 2）好印象を与える5原則について理解する	（1）明るい笑顔で挨拶ができる （2）清潔感のある身だしなみができる （3）正しい立ち方ができる （4）正しい姿勢でお辞儀ができる	プリント使用 4時間	認知 (解釈) 精神 運動 (模倣)
6	10/27 (金) 3限	藏田	ユニット３ 社会人としての基本的なマナー３ 【講義・演習】	1）敬語の種類について理解する 2）好感の持たれる話し方について理解する	（1）敬語の種類を理解し、立場や状況を考えた話し方ができる （2）社会人として求められる適切な敬語で話せる （3）相手に合わせたスピードや声量で話せる	教科書P18～P19を精読する 日常生活で習慣化する プリント使用 4時間	認知 (解釈) 精神 運動 (自動化)
7	11/10 (金) 3限	藏田	ユニット３ 社会人としての基本的なマナー４ 【講義・演習】	1）状況に応じた言葉遣いを理解する 2）和食のマナー（箸の使い方）	（1）改まった接客用語が使える （2）接遇者としての感じの良い適切な言い回しができる （3）クッション言葉を遣い、優しく安心感を与える話し方ができる	教科書P20～P21を精読する 日常生活で習慣化する 4時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
8	11/17 (金) 3限	藏田	ユニット３ 社会人としての基本的なマナー４ 礼儀正しい来客応対 【講義・演習】	1）来客へお応対の基本を理解する 2）訪問のマナー 3）席次のマナー 4）ドアの開閉とノックのマナー	（1）TPOに合わせたお辞儀ができる（会釈・敬礼・最敬礼） （2）名刺の正しい受け方ができる （3）案内の基本を理解し実践することができる（廊下での案内・ドア操作） （4）迅速・安全かつ丁寧なお茶出しができる	プリント使用 4時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
9	11/24 (金) 3限	藏田	ユニット4 傾聴の基本 「聞く」と「聴く」の違いについて 【講義・ペアワーク】	1）　聴く側に必要な心構えを理解する 2）　アクティブリスニングの手順を理解する	（1）「聞く」と「聴く」の違いを理解し、傾聴の基本と重要性を理解することができる （2）ノンバーバルコミュニケーションが相手に与える印象が強いことを理解することができる	プリント使用 4時間	認知 (解釈) 精神 運動 (自動化)
10	12/1 (金) 3限	藏田	ユニット４ 傾聴の効果と技法 【講義・ペアワーク】	1）　患者様の話を引き出すための方法を知る 2）　積極的な傾聴により信頼関係の構築をする	（1）相手の立場や価値観を十分理解し、患者様の気持ちに寄り添った聴き方ができる （2）あいづち・うなずきをタイミングよく入れ、共感の気持ちを伝えることができる	プリント使用 4時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
11	12/8 (金) 3限	藏田	ユニット５ 患者との応対例４ 【講義・ペアワーク】	1）　電話応対の基本・特性を理解する 2）　電話の受け方、かけ方、取次ぎ方を理解する	（1）明るい声や表情で応対ができる （2）予約や予約変更の応対ができる （3）予約キャンセルの応対ができる （4）院長やスタッフへの取次ができる （5）活舌表現	教科書P52～P59 精読する 4時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
12	12/15 (金) 3限	藏田	ユニット５ 患者との応対例４ 【講義・演習】	1）電話のかけ方を理解する 2）苦情電話について理解する	（1）患者宅へ電話をかけることができる （2）苦情電話を迅速にかつ誠実に処理することができる	教科書P52～P59 を精読する 4時間	情意 (受入) 精神 運動 (自動化)
13	12/22 (金) 3限	藏田	ユニット５ 患者との応対例１ 【講義・グループディスカッション】	1）患者の立場に立った応対を理解する 2）初診、再診、子供の受付の違いを理解する	（1）すべての患者に対して公平かつ平等に応対できる （2）初診、再診、子供に対して分かりやすく適切な言葉遣いで対応することができる	教科書P30～P31を精読する 日常生活で習慣化する 4時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コントロール)
14	1/12 (金) 3限	藏田	ユニット５ 患者との応対例２ 【講義・ロールプレイング】	1）診療室での応対を理解する 2）診療後の対応を理解する	（1）診察開始から終了まで優しい言葉で患者に安心感を与える声掛けができる （2）次の予約から会計まで適切な接客用語で説明することができる （3）物の受け渡しができる（診察券や薬など）	教科書P32～P37を精読する 4時間	情意 (受入) 精神 運動 (コントロール)
15	1/19 (金) 3限	藏田	ユニット５ 患者との応対例３ 【講義・ペアワーク】	1）　ユニバーサルマナーについて理解する 2）　ビジネス文書の書き方 3）　冠婚葬祭のマナー	（1）泣き叫ぶ子供の対応が説明できる（患者の目線に合わせた対応） （2）高齢者の対応が説明できる （3）身体の不自由な患者の対応が説明できる（視覚、聴覚、妊婦、子供連れなど） （4）祝儀袋や不祝儀袋の取り扱いについて（表書きや水引、のしについて）	教科書P50～P51を精読する 4時間	認知 (解釈) 精神 運動 (コントロール)

中国語

開講時期：　2年次後期
授業時間数：　15コマ；30時間　2単位
受験資格要件：2/3（10コマ）以上の出席
科目番号：　DH022303
評価責任者：　松尾　忠行
授業担当者：　王　毓雯（オウ　イクブン）

１．一般目標
初心者として、中国語の発音の仕方を習得し、基本的な文法の仕組みを理解する。将来、初歩的な中国語によるコミュニケーションを行うための基礎作りを目標とする。

２．教育方法
講義・ペアワーク・グループワークを行う。

３．教育教材
教科書、プリント、DVD、プロジェクター

４．学修方法
授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は発音練習などに積極的に参加すること。授業後は、教科書にあるCDを聴き、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。本講義は、３年次の「臨床実習」の患者・利用者の理解に不可欠である。　【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：60時間】

５．評価
［形成的評価］確認テスト・レポート・授業態度（発問・質疑・ペアワークでの暗誦や協力等）（40%）
確認テストは、各ユニットの終了時に行う。授業時間内においてミニテストを５～６回実施する予定。
［フィードバック］採点後、答案を返却し、模範解答を示し、解説を行う。
［総括的評価］定期試験：記述試験（60%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

６．教科書
＜最新版＞『１年生のコミュニケーション中国語』劉穎　著、白水社、2014

７．参考書
なし

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/20 (水) 3限	王	オリエンテーション ユニット１ 中国、中国語 講義・グループワーク・ビデオ供覧	映像資料を交えて、 1、中国事情の概要 2、中国語の特徴を理解する。	1、中国について関心を持ち、基本的な事情を理解することができる。 2、中国語の発音の特徴を理解し、真似して発音できる。	教科書にあるCDを聴きながら、p6を読む 4時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
2	9/27 (水) 3限	王	ユニット２ 発音編1－3・簡体字 講義・グループワーク・ビデオ供覧	1、単母音、声調、子音の発音の仕組みを理解する。 2、映像資料を通して、中国語の漢字（簡体字）と日本語の漢字の違いを理解する。	1、真似する練習を通して、中国語の発音の仕方を理解し、発音記号を判別し、正確に発音できる。 2、簡体字を正しく書くことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p6－7を読む 4時間	精神運動 (模倣) 認知 (想起)
3	10/4 (水) 3限	王	ユニット３ 発音編3－5・第1課 自己紹介 講義・ペアワーク	1、子音、複母音、鼻母音の発音の仕組みを理解する。 2、名前の言い方、様々な呼び方を理解する。	1、練習を重ねて、中国語の発音の仕方を理解し、発音記号を判別し、正確に発音できる。 2、自己紹介や人を紹介する文の構造を理解し、正しく簡体字で書くことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p7－8とp10－13を読む 4時間	精神運動 (模倣) 認知 (解釈)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/11 (水) 3限	王	ユニット４ 発音編5－8・第1課人称代名詞、動詞の「是」 講義・ペアワーク・ビデオ供覧	1、鼻母音、軽声、声調の変化、「ｒ化」音の読み方を理解する。 2、人称代名詞、「是」の文を理解する。	1、練習を重ねて、中国語の発音の仕方を理解し、発音記号を判別し、自分の名前などを中国語で正確に発音できる。 2、例文の和訳や練習問題を通して、人称代名詞と「是」の文を正しく書くことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p8－9と12－15を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
5	10/18 (水) 3限	王	ユニット５ 第1課会話、助詞「呢」、副詞「也」、「请」 講義・ペアワーク	1、会話本文の意味と助詞「呢」、副詞「也」、「请」の使い方を理解する。 2、本文や練習問題の文を真似して文を作る。	1、例文練習を通して、助詞「呢」、副詞「也」、「请」を使って、正しい文を書くことができる。 2、ペアを組んで、初対面の場面での会話ができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p12－15を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
6	10/25 (水) 3限	王	ユニット６ 第2課指示代名詞（1）、疑問詞「吗」、否定の副詞「不」 講義・ペアワーク・ビデオ供覧	1、指示代名詞（1）、疑問詞「吗」、副詞「不」を使う動詞述語の否定文の仕組みを理解する。 2、会話本文の内容を真似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、指示代名詞（1）、疑問詞「吗」、副詞「不」を使う動詞述語の否定文を正しく使うことができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作った文を言うことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p16－18を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
7	11/1 (水) 3限	王	ユニット７ 第2課疑問詞「什么」、～の…（「的」） 講義・ペアワーク・グループワーク	1、疑問詞「什么（何）」を使う文や、～の…（「的」）の表現を理解する。 2、イラストを活用し、ものをたずね・説明する。	1、例文の和訳を通して、疑問詞「什么」や、～の…（「的」）を使って正しい文を書くことができる。 2、リスニングの練習を重ねて、中国語の単語や文を正確に書き取ることができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p16－19を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
8	11/8 (水) 3限	王	ユニット８ 第3課指示代名詞（2）、形容詞述語文 講義・ペアワーク・ビデオ供覧	1、指示代名詞（2）の使い方や、形容詞述語文の仕組みを理解する。 2、会話本文の内容を真似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、指示代名詞を正しく使うことと、形容詞述語文を活用することができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作った文を言うことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p20－22を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
9	11/15 (水) 3限	王	ユニット９ 第3課形容詞述語文、疑問詞「怎么样」 講義・ペアワーク・グループワーク	1、形容詞述語文の仕組みを確認し、疑問詞「怎么样」の使い方を理解する。 2、イラストを活用し、人やものについて評価する表現を使いこなす。	1、例文の和訳を通して、形容詞述語文と、疑問詞「怎么样」を使って、事物の様態を評価し、活用することができる。 2、リスニングの練習を重ねて、中国語の単語や文を正確に書き取ることができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p20－23を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
10	11/22 (水) 3限	王	ユニット10 第4課数詞、助詞「吧」 講義・ペアワーク・ビデオ供覧	1、日本語の数詞との違いを理解し、助詞「吧」を使う文の意味を理解する。 2、会話本文の内容を真似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、「吧」を使う文を正しく書くことができる。 2、中国語で数を言うことができ、日付や時刻を数字で言える。 3、ペアを組んで、会話文本文を真似して作った文を言うことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p24－26を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
11	11/29 (水) 3限	王	ユニット11 第4課数量を表わす語、数詞、人民元の数え方 講義・ペアワーク	1、数詞と数量を表わす語の組み合わせの仕方や、人民元に関する知識を理解する。 2、イラストを活用し、買い物に用いる表現を使いこなす。	1、例文の和訳を通して、物の数や金額を正確に言うことができる。 2、リスニングの練習を重ねて、数詞や金額などを正確に書き取ることができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p24－27を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
12	12/6 (水) 3限	王	ユニット12 第5課場所指示代名詞、動詞「在」 講義・ペアワーク・ビデオ供覧	1、場所指示代名詞の使い方や、動詞「在」の文の仕組みを理解する。 2、会話本文の内容を真似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、場所指示代名詞を活用することと、動詞「在」の文を正確に書くことができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作った文を言うことができ、人や物の所在について説明できる。	教科書にあるCDを聴きながら、p28－30を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
13	12/20 (水) 3限	王	ユニット13 第5課動詞「在」、助動詞「想」、方位詞 講義・ペアワーク	1、方位詞を使って、動詞「在」の文の仕組みを再確認し、助動詞「想」の使い方を理解する。 2、イラストを活用し、自分の居場所やモノの所在地をたずね・説明する。	1、例文の和訳を通して、動詞「在」の文と助動詞「想」を使う文を活用することができる。 2、リスニングの練習を重ねて、場所を示す部分を聞き分けることができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p28－31を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (自動化)
14	1/10 (水) 3限	王	ユニット14 第6課動詞「有」、何の～（「什么」＋名詞） 講義・ペアワーク・ビデオ供覧	1、動詞「有」の文の仕組みや、何の～（「什么」＋名詞）の使い方を理解する。 2、会話本文の内容を真似して文を作る。	1、例文の和訳を通して、動詞「有」の文を正確に書くことと、（「什么」＋名詞）を活用することができる。 2、ペアを組んで、会話文本文を真似して作った文を言うことができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p32－３４を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
15	1/17 (水) 3限	王	ユニット15 第6課助数詞、総合復習 講義・ペアワーク	1、日本語にある助数詞との違いを理解する。 2、イラストを活用し、どこに・何が・どのくらいあるかが言える。 3、第１－６課の学習ポイントをまとめる。	1、助数詞の表現を動詞「有」の文に組み入れて、ものを数えることができる。 2、リスニングの練習を重ねて、助数詞を示す部分や「有り・なし」の意味を聞き分けることができる。	教科書にあるCDを聴きながら、p32－35を読む 4時間	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)

韓国語

開講時期：　2年次後期
授業時間数：　15コマ；30時間 2単位
受験資格要件：2/3（10コマ）以上の出席
科目番号：　DH022304
評価責任者：　松尾忠行
授業担当者：　朴　明美

１．一般目標
　韓国語の［講義］を通じて異文化を理解し、幅広いコミュニケーション能力の修得とともに歯科衛生士としての豊かな教養と人間性を修得する。

２．教育方法
［講義］・演習・グループワークを行う。

３．教育教材
プリント等

４．学修方法
授業は、プリントを使って、韓国語を学び、そして、YouTubeを使って韓国歴史、事情、文化などについて学ぶ。授業には必ず前に配ったプリントを持参すること。 事前学修としては、復習と予習を怠らないこと（特に、復習）。授業中はノートを取ること。授業後は、配布プリント等で［講義］内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。本講義は、３年次の「臨床実習」の患者・利用者の理解に不可欠である。
【単位修得に必要な授業外学修時間：60 時間】

５．評価方法
［形成的評価］授業態度（宿題、読み、小テスト、会話のやり取りなど）
［フィードバック］都度振り返りを行う。
［総括的評価］定期試験：平常点50%，記述と口述試験（50%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。注意：毎回の授業はとても大切です。無断欠席しないこと。欠席した場合は必ずその理由を報告すること。特に、最初の文字を習う段階では必ず出席すること。

６．教科書
プリントを使用。

７．参考書
辞書（自由。日/韓又は、韓/日辞典）

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/20 （水） 3限	朴	ユニット1 韓国語について ［講義］	1)　韓国語について理解する。 2)　基本母音字を習う	1. 文字がわからなくても会話ができる。ハングルの仕組み、基本母音を覚える。 2. 会話練習：「~は~です。」 「ここは~です。」など。	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （想起） 情意 （受入）
2	9/27 （水） 3限	朴	ユニット2-1 文字と発音 1 ［講義］	1)　二重母音字を習う 2)　基本子音字を習う 3)　「子音＋母音」構造の読み方を理解する。	前の週の会話の復習 1. 簡単な挨拶ができる。 2. 会話練習「～は～が好きです」	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （想起） 情意 （受入）
3	10/4 （水） 3限	朴	ユニット 2-2 文字と発音 2 ［講義］	日本語の固有名詞をハングルで書く	1. 「子音＋母音」構造の文字が読め、発音できる。 2. 前の週の会話の復習 3. 会話：「~は~にあります」を覚える。	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （想起） 情意 （受入）
4	10/11 （水） 3限	朴	ユニット 2-3 文字と発音 3 ［講義］	「子音＋母音＋子音」構造の読み方を理解する。	1．自分の名前と日本語の固有語をハングルで書く。 2. 韓国語の数字を覚える。 3. 会話:「今何をしていますか」 「～は今～をしています」	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
5	10/18 （水） 3限	朴	ユニット 2-4 会話：現在進行形と希望形 ［講義］	復習1時間目に習った会派の「~は~です」の韓国語の文章を書く。	1.　自己紹介ができる。 ・確認テストの実施 2. 曜日を覚える 3. 会話：「私は～がしたいです。」	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
6	10/25 （水） 3限	朴	ユニット 2－5 ［講義］	自己紹介や進行形、希望（～がしたい）に関する会話のまとめ	1回から5回まで習った会話を使ってグループで質問や答えなどの練習。	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
7	11/1 （水） 3限	朴	ユニット 3－1 文法 ［講義］	動詞を用いて １． 命令形 ２． 基本形 ３． 敬語	１． 会話:習った文法に従って「命令形、基本形、敬語」の会話の練習。	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
8	11/8 （水） 3限	朴	ユニット 3－2 過去形 ［講義］	1. 過去形	１．過去形の会話。 「昨日は～をしました」	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
9	11/15 （水） 3限	朴	ユニット 3－3 漢数詞 ［講義］	１．日にちと曜日	2. 漢数詞文を用いて会話ができる。 「今日は何月何日です」 「今日は何曜日です」	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
10	11/22 （水） 3限	朴	ユニット4－1 まとめ ［講義］	動詞	1. 動詞を使っての文章を作る。 ・確認テストの実施	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
11	11/29 （水） 3限	朴	ユニット4－2 韓国語の文章を読む ［講義］	動詞と形容詞１	１． 動詞と形容詞を使った文章を作る。 ２． それを活用して会話の練習をする。	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （問題解決） 情意 （受入）
12	12/6 （水） 3限	朴	ユニット 4－3 韓国語の文章を書く１ ［講義］	１．動詞と形容詞２ ２．否定文	練習した会話を韓国語で書く。	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （問題解決） 情意 （受入）
13	12/20 （水） 3限	朴	ユニット 5-1 まとめ ［講義］	韓国語の文章を書く	今まで習った文法を使って作文をする	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
14	1/10 （水） 3限	朴	ユニット5－2 まとめ ［講義］	韓国語の文章を書く	今まで習った文法を使って作文をする	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （解釈） 情意 （受入）
15	1/17 （水） 3限	朴	ユニット 6-2 まとめ ［講義］	まとめ	定期試験に向けて復習	学んだことをまとめる。 4時間	認知 （問題解決） 情意 （受入）

心理学

開講時期：　２年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間　2 単位
受験資格要件：　2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH022307
評価責任者：　松尾忠行
授業担当者：　鳥羽智惠

１．一般目標
　将来、歯科衛生士として、豊かな教養と人間性を備えるとともに、人の心の仕組みやストレス等を理解して多様な対象者との幅広いコミュニケーションを図り、対人関係能力を身につけた治療技術を行使するため、心理学の基礎知識を修得する。

２．教育方法
　教科書に基づいたパワーポイントによる説明・解説を行う。また，学生には資料を配布し，適宜記入をしてもらう。授業の最後には感想を書いてもらう。
　併せて，数回小テストを実施し，学修成果を確認する。

３．教育教材
　教科書、講義内配付プリント　など

４．学修方法
　授業には，指定教科書を持参すること。下記，予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど，事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は，配布されたプリントを完成させ，授業後は，学修した内容の振り返りや自分なりの理解をまとめること（事後学修・復習）。
　本講義は、３年次の「臨床実習」の患者・利用者の理解に不可欠である。
［単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15 時間］

５．評価方法
［形成的評価］平常評価（小テスト等）（20%）授業態度（20%）
［フィードバック］授業後に行う感想に関して、フィードバックが必要な場合には次回授業にてフィードバックを行う。
［総括的評価］記述・穴埋め試験（60%）
［フィードバック］試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は［講義］の初日に説明する。

６．教科書
１.『歯科衛生学シリーズ　心理学』　医歯薬出版　2023

７．参考書
１．水原幸夫編（2016）『入門心理学－実験室からフィールドまで－』ナカニシヤ出版
２．松田幸弘編著（2018）『心理学概論－ヒューマンサイエンスへの招待－』ナカニシヤ出版
３．宮沢秀次・二宮克美・大野裕明編（2007）『自分でできる心理学』ナカニシヤ出版
４．古城和子編著（2002）『生活にいかす心理学 ver.2』ナカニシヤ出版

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/13 (木) ２限	鳥羽	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ ユニット１ 心理学の歩みと研究法 ［講義］	1）心理学の歴史を学ぶ 2）心理学の研究法を学ぶ 3）心理学で用いられる統計法について学ぶ	1）心理学の流れを説明することができる 2）心理学実験におけるデータ収集の方法を説明することができる 3）集めたデータの結果の分析方法について説明することができる	教科書のP199-208を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
2	4/20 (木) ２限	鳥羽	ユニット２ 見る・聞く・感じるこころ ［講義］	1）知覚の成立を学ぶ 2）知覚の特徴を学ぶ 3）知覚への影響要因を学ぶ	1）知覚の成立について説明することができる 2）知覚の特徴を説明することができる 3）知覚への影響要因を説明することができる	教科書のP1-14を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。１時間	認知 (知識・理解)
3	4/27 (木) ２限	鳥羽	ユニット３ 学ぶ・覚えるこころ ［講義］	1）ヒトの学習プロセスを学ぶ 2）記憶のメカニズムを学ぶ 3）記憶の病理や歪みを学ぶ	1）学習がどのように成立しているかを説明することができる 2）記憶のメカニズムを説明することができる 3）忘却や記憶の歪みについて説明することができる	教科書のP15-26を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)

回	授業日	授　業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	5/11 (木) 2限	鳥羽	ユニット4 やる気の心理 ［講義］ 小テスト	1）動機づけの機能と種類を学ぶ 2）欲求を学ぶ	1）動機づけの機能や種類を説明することができる 2）欲求の種類と特徴を説明することができる	教科書のP27-37を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解) 態度・主体性
5	5/18 (木) 2限	鳥羽	ユニット5 喜怒哀楽のこころ ［講義］	1）感情の理論とメカニズムを学ぶ 2）フラストレーションと防衛機制を学ぶ 3）ストレスとその対処法を学ぶ	1）感情の理論とメカニズムを説明することができる 2）フラストレーションとどのようにしてフラストレーションに対処するかを説明することができる 3）ストレスに対処することができる	教科書のP39-52を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解) 態度・主体性
6	5/25 (木) 2限	鳥羽	ユニット6 パーソナリティ ［講義］	1）パーソナリティの概念を学ぶ 2）パーソナリティの調べ方を学ぶ 3）パーソナリティに関わる障害を学ぶ	1）これまで提唱されてきたパーソナリティの概念を説明することができる 2）パーソナリティについて調べることができる 3）パーソナリティに関わる障害を説明することができる	教科書のP53-66を精読する。またわからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
7	6/1 (木) 2限	鳥羽	ユニット7 かしこさの心理 ［講義］ 小テスト	1）知能とその構造について学ぶ 2）知能の測定方法を学ぶ 3）知的能力障害を学ぶ	1）知能とはどういうもので，どういう構造になっているかを説明することができる 2）知能の測定方法を説明することができる 3）知的能力障害の症状や診断基準を説明することができる	教科書のP67-80を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
8	6/8 (木) 2限	鳥羽	ユニット8 考えるこころ ［講義］	1）考えるとはどういうことかを学ぶ 2）問題解決方法について学ぶ 3）創造する過程とその方法を学ぶ	1）考えるとはどういうことかを説明することができる 2）問題解決法について説明することができる 3）創造する過程とその方法について説明することができる	教科書のP82-92を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
9	6/15 (木) 2限	鳥羽	ユニット9 発達するこころ （1） ［講義］	1）発達に影響する要因を学ぶ 2）各発達段階の発達課題について学ぶ 3）各発達段階の特徴を学ぶ	1）発達に影響する要因を説明することができる 2）発達課題についての理論を説明することができる 3）各発達段階の特徴を説明することができる	教科書のP93-110を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
10	6/22 (木) 2限	鳥羽	ユニット10 発達するこころ （2） ［講義］	1）青年期の特徴を学ぶ 2）成人期の特徴を学ぶ 3）高齢期の特徴を学ぶ	1）青年期の特徴を説明することができる 2）成人期の特徴を説明することができる 3）高齢期の特徴を説明することができる	教科書のP111-124を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
11	6/29 (木) 2限	鳥羽	ユニット11 人と関わるこころ ［講義］ 小テスト	1）他者の特徴の捉え方と印象形成について学ぶ 2）ヒトの行動帰属について学ぶ 3）他者を好きになる要因を学ぶ	1）他者の特徴をどのように捉えて，印象を形成しているかを説明することができる 2）ヒトが自他の行動をどのように帰属しているかを説明することができる 3）他者を好きになる要因について説明することができる	教科書のP125-134を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
12	7/6 (木) 2限	鳥羽	ユニット12 人と集うこころ ［講義］	1）集団の特徴を学ぶ 2）リーダーシップについて学ぶ 3）集団がヒトの行動に及ぼす影響について学ぶ	1）集団の特徴にはどのようなものがあるかを説明することができる 2）リーダーシップとそれに関わる理論を説明することができる 3）集団がヒトの行動に及ぼす影響についてどのようなものがあるのかを説明することができる	教科書のP135-148を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)
13	7/13 (木) 2限	鳥羽	ユニット13 健康なこころ ［講義］	1）心の健康，その測定法を学ぶ 2）心の健康を保つことの役割について学ぶ 3）様々な心理療法を学ぶ	1）心の健康とその測定方法について説明することができる 2）心の健康を保つことの意義を説明することができる 3）代表的な心理療法について説明することができる	教科書のP149-164を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	態度・主体性 (コミュニケーション)
14	7/20 (木) 2限	鳥羽	ユニット14 カウンセリングのこころ ［講義］ 小テスト	1）歯科医療に関わるカウンセリングのホスピタリティを学ぶ 2）カウンセリングマインドを学ぶ 3）具体的な心理的援助について学ぶ	1）歯科医療に関わるカウンセリングのホスピタリティを説明することができる 2）クライエント中心療法の考え方や技法を説明することができる 3）歯科医療における心理的支援の意義について説明することができる	教科書のP165-182を精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	態度・主体性 (コミュニケーション)
15	7/27 (木) 4限	鳥羽	ユニット15 まとめ ［講義］	1）様々な理論について理解を深める 2）様々な障害について理解を深める 3）様々な用語を振り返る	1）心理学の授業で学んだ理論について説明することができる 2）心理学の授業で学んだ障害について説明することができる 3）心理学の授業で学んだ専門用語の意味を説明することができる	教科書およびこれまで配付されたプリントを精読する。また，わからない単語があれば調べておく。1時間	認知 (知識・理解)

倫理学

開講時期：　２年次前期
授業時間数：　15 コマ；30 時間　2 単位
受験資格要件：　2/3（10 コマ）以上の出席
科目番号：　DH022308
評価責任者：　松尾　忠行
授業担当者：　永嶋　哲也

１．一般目標

医療人としての自覚と倫理観を得るために、「尊厳」と生命倫理学の観点からそれらの問題について学び、豊かな教養と人間性を持つための基礎を得ることによって、日常のさまざまな事柄や医療における倫理的問題について自分の意見を持つことを到達目標とする。

２．教育方法

板書による講義を中心に、ネット検索によるミニレポート作成など
（私語や内職、居眠りなど禁止。遅刻も許容しない。倫理的態度で受講できない者は本講義を選択しないこと。）

３．教育教材

黒板、プリント、iPad＋プロジェクターなど（受講生は、講義を書き取るためのノートを用意しておくこと）。

４．学修方法

授業では説明内容を集中して聞くこと。板書はノートに書き写し、他に重要と必要と思われる点をそこに書き加えること。本講義は、3 年時の「臨床実習」の患者・利用者の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修時間：60 時間】

５．評価方法

［形成的評価］
［フィードバック］
［総括的評価］学期末試験（60%、論述形式）＋ミニレポート・出席点・授業態度（40%）
［フィードバック］ミニレポートは次週講義時に返却され、不備がある場合は再提出が課される。

６．教科書

使用せず。授業において適宜プリントが詳細資料として配付される。

７．参考書

参考文献は講義中に適宜紹介される。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	4/13 (木) 2 限	永嶋	ユニット 1 はじめに ［講義］	1) 倫理学とはどういう学問か理解する	⑴倫理学の成り立ちについて説明できる	「倫理」「道徳」の意味・用い方を調べる ［4 時間］	認知 (解釈)
2	4/20 (木) 2 限	永嶋	ユニット 1 はじめに ［講義］	1) 尊厳について基本的人権との関連から理解する	⑴「尊厳」の意味について歴史的変遷を説明できる	「尊厳」を調べる ［4 時間］	認知 (解釈)
3	4/27 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 終末期と尊厳死 ［講義］	1) 自然死と積極的安楽死について理解する	⑴アメリカの自然死法と尊厳死法について説明できる ⑵ヨーロッパでの尊厳死法、事前指示法、自己決定権法について説明できる	CA 州「自然死法」、OR 州「尊厳死法」を調べる ［4 時間］	認知 (想起)
4	5/11 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 終末期と尊厳死 ［講義］	1) 安楽死と自殺幇助の違いとの関係について理解する	⑴安楽死について説明できる ⑵自殺幇助について説明できる ⑶日本での「尊厳死」の意味について説明できる	「自殺幇助」「終末期の治療停止」を調べる ［4 時間］	認知 (想起) 情意 (受入)
5	5/18 (木) 2 限	永嶋	ユニット 2 終末期と尊厳死 ［講義］	1) 尊厳死に関する日本での法的状況について理解する	⑴日本尊厳死協会の主張について説明できる ⑵尊厳死法案の案について説明できる	「日本尊厳死協会」「尊厳死法案」を調べる ［4 時間］	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 ［授業方法］	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
6	5/25 (木) 2限	永嶋	ユニット 2 終末期と尊厳死 ［講義］	1)終末期における患者の意思決定について理解する	⑴DNAR 指示について説明できる ⑵ACP について説明できる	「DNAR 指示」「ACP」「人生会議」を調べる ［4 時間］	認知 (想起)
7	6/1 (木) 2限	永嶋	ユニット 3 職業倫理 ［講義］	1)プロフォッショナリズムについて理解する	⑴プロフェッションの要件について説明できる ⑵職業倫理の必要性についてプロフェッショナリズムとの関係から説明できる	「プロフェッション」を調べる ［4 時間］	認知 (想起)
8	6/8 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)生命倫理学の始まりについて理解する	⑴伝統的な医療倫理と新しい生命倫理との関係について説明できる	「生命倫理学」と“Bioethics”を調べる ［4 時間］	認知 (解釈)
9	6/15 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)生命の始まりの倫理について理解する	⑴人工妊娠中絶について生命の尊厳との関連から説明できる ⑵人工妊娠中絶について自己決定の尊重との関連から説明できる	母体保護法について調べる ［4 時間］	認知 (想起) 情意 (受入)
10	6/22 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)生命の始まりの倫理について理解する	⑴出生前診断と選択的中絶について説明できる	「出生前診断」「選択的中絶」を調べる ［4 時間］	認知 (想起) 情意 (受入)
11	6/29 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)医の倫理原則について理解する	⑴与益、無加害、正義、自律尊重原則について説明できる	「生命医学倫理の四原則」について調べる ［4 時間］	認知 (想起)
12	7/6 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)正義原則について理解する	⑴医療資源の公平配分についてについて正義原則との関連から説明できる ⑵トリアージについて人間の尊厳との関連から説明できる	「トリアージ」を調べる ［4 時間］	認知 (想起)
13	7/13 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)インフォームドコンセントについて理解する	⑴インフォームドコンセントについて自律尊重原則との関連から説明できる	“informed-consent”を調べる ［4 時間］	認知 (解釈)
14	7/20 (木) 2限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)患者の意思決定支援について理解する	⑴パターナリズムについて説明できる ⑵インフォームドアセントについて説明できる ⑶SDM について説明できる	「パターナリズム」“informed-assent”「共同意思決定」を調べる ［4 時間］	認知 (解釈)
15	7/27 (木) 4限	永嶋	ユニット 4 生命倫理学 ［講義］	1)プライバシーについて理解する	⑴プライバシーについて自律尊重原則との関連から説明できる	“privacy”を調べる ［4 時間］	認知 (解釈)

福　岡　医　療　短　期　大　学

〒814-0193　福岡市早良区田村二丁目15番１号
電　話　092（801）0439
ＦＡＸ　092（801）4473